

アジア太平洋障害者センタープロジェクト (フェーズ2) 中間レビュー調査報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

| |
|--------|
| 人間 |
| JR |
| 10-116 |

アジア太平洋障害者センタープロジェクト
(フェーズ2)
中間レビュー調査報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

アジア太平洋地域には、およそ4億人の障害者（10人に1人）がいるといわれていますが、その多くは教育や就労などの社会参加の機会も乏しく、必要なサービスを受けられない環境にあるとされています。このような状況の改善のため、国連による「障害者の十年（1983～1992年）」、UNESCAPが主導する「第1次・第2次アジア太平洋障害者の十年（1993～2002年／2003年～2012年）」といった取り組みがなされてきています。そのなかで、我が国は「アジア太平洋障害者の十年」の共同提案国であり、障害者支援分野にかかわる国際協力において指導的役割を果たすことが求められています。

このような背景のもと我が国は2002年8月より、タイ国政府からの要請に応え、「アジア太平洋障害者センタープロジェクト」を5年間実施し、アジア太平洋の30カ国以上における障害者のエンパワメントとバリアフリー社会の促進に大きく貢献してきています。2006年9月には同プロジェクト終了時評価を実施し、タイ国のみならず周辺各国がアジア太平洋障害者センターの活動を高く評価し、大きな期待を寄せていることを確認しました。一方、組織の持続性及び障害のより多様なニーズに応えていくことについては課題が残っており、それらのより一層の強化のために、タイ国政府より日本政府に対しアジア太平洋障害者センタープロジェクト（フェーズ2）の要請が寄せられました。

この要請を受け我が国は2007年7月から5年間のプロジェクトを開始しました。現在、長期専門家3名（チーフアドバイザー、ネットワーク連携／人材育成、ネットワーク連携／ナレッジマネジメント）、業務調整員1名が現地で活動中であり、各分野の技術移転については短期専門家派遣および研修員受入を中心とした協力を展開しています。

今般、同プロジェクトの中間レビュー調査を行うことを目的として、2010年1月から2月にかけて調査団を派遣し、タイ国政府および関係機関との間で、プロジェクトの進捗の確認と今後の方向性にかかる協議を行いました。本報告書は同調査結果をとりまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に、さらには類似のプロジェクトに活用されることを願うものです。

ここに、本調査にご協力をいただいた内外関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成22年2月

独立行政法人国際協力機構

人間開発部長 萱島 信子

目 次

序 文

目 次

プロジェクト所在地図

現地写真

略語表

評価調査結果要約表

| | |
|---------------------|----|
| 第1章 中間レビュー調査の内容 | 1 |
| 1-1 プロジェクトの背景 | 1 |
| 1-2 中間レビュー調査の目的 | 1 |
| 1-3 調査団構成 | 1 |
| 1-4 調査日程 | 1 |
| 1-5 面談者リスト | 2 |
| 1-6 調査の方法と項目 | 2 |
| 第2章 プロジェクト概要 | 5 |
| 2-1 プロジェクトの要約 (PDM) | 5 |
| 2-2 PDM 改訂の経緯 | 5 |
| 第3章 プロジェクトの実績 | 7 |
| 3-1 投入実績 | 7 |
| 3-2 活動実績 | 9 |
| 3-3 成果の達成状況 | 12 |
| 3-4 プロジェクト目標の達成状況 | 16 |
| 3-5 上位目標の達成状況 | 17 |
| 3-6 実施プロセス | 18 |
| 第4章 評価5項目による評価結果 | 20 |
| 4-1 妥当性 | 20 |
| 4-2 有効性 | 21 |
| 4-3 効率性 | 22 |
| 4-4 インパクト | 23 |
| 4-5 持続性 | 24 |
| 4-6 結論 | 25 |
| 第5章 提言 | 26 |
| 5-1 マスタープランの作成 | 26 |

| | | |
|-----|--|----|
| 5-2 | APCD にかかる情報発信・広報活動の充実 | 26 |
| 5-3 | フォローアップ体制の充実 | 26 |
| 5-4 | クロス・ディスアビリティとイシュー・ベースの活動促進 | 26 |
| 5-5 | アジア太平洋地域におけるサブリージョナル・メカニズムの形成促進 | 27 |
| 5-6 | プロジェクト活動におけるリソースパーソンとしての障害当事者の 参加促進 | 27 |
| 5-7 | 民間セクターとの連携促進 | 27 |
| 5-8 | 国連障害者権利条約への理解促進 | 27 |

付属資料

| | | |
|----|--|-----|
| 1. | 協議議事録 (M/M) | 31 |
| | ANNEX 1 : プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (第 II 版) | |
| | ANNEX 2 : プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (第 III 版) | |
| | ANNEX 3 : PDM の改訂について (新旧対照表) | |
| | ANNEX 4 : APCD 関係者リスト | |
| | ANNEX 5 : Focal Point 機関リスト (フェーズ 2) | |
| | ANNEX 6 : Associate Organization リスト (フェーズ 2) | |
| | ANNEX 7 : 面談者リスト | |
| | ANNEX 8 : 日本人専門家派遣実績 | |
| | ANNEX 9 : 国別カウンターパート研修参加者リスト | |
| | ANNEX 10 : 活動計画 (アクションプラン) リスト | |
| | ANNEX 11 : 本プロジェクトにかかるローカル・コスト内訳 | |
| | ANNEX 12 : 活動計画 (PO) | |
| | ANNEX 13 : APCD 活動実績 (ワークショップ、セミナー、ドキュメンテーション) | |
| | ANNEX 14 : SbKM 活動の評価 | |
| | ANNEX 15 : APCD が行う研修に対する評価 | |
| 2. | 評価グリッド | 98 |
| 3. | 質問票及び同調査結果 | 113 |

プロジェクト所在地図



現地写真



障害者自助団体強化ワークショップ（CDSHOD）の様子



アジア太平洋障害者センター（APCD）館内視察の様子



ダオルアン（タイ初の知的障害者自助グループ）の活動風景



APCD内のプロジェクト執務室

略 語 表

| | | |
|---------|--|------------------------|
| AO | Associate Organization | 協力団体 |
| AP | Asia-Pacific | |
| APCD | Asia-Pacific Development Center on Disability | アジア太平洋障害者センター |
| BMF | Biwako Millennium Framework | びわこミレニアムフレームワーク |
| CBR | Community-based Rehabilitation | 地域に根ざしたリハビリテーション |
| CDSHOD | Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities | 障害者自助団体強化ワークショップ |
| CLMV | Cambodia, Lao PDR, Myanmar, Vietnam | カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム |
| C/P | Counterpart | カウンターパート |
| DNRSH | Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital | ダナン・リハビリテーション病院 (ベトナム) |
| FP | Focal Point | 政府フォーカルポイント |
| ID | Intellectual Disability | 知的障害 |
| IDEA | Inclusive Development on Action | 「インクルーシブ開発と活動」 (ベトナム) |
| KM | Knowledge Management | ナレッジマネジメント |
| LDPA | Lao Disabled People's Association | ラオス障害者協会 |
| M/M | Minutes of Meeting | 協議議事録 |
| MOU | Memorandum of Understanding | 覚書 |
| NCCD | National Coordinating Committee on Disability | 国内障害者調整委員会 (ベトナム) |
| NEP | National Office for Empowerment of Persons with Disabilities | 障害者エンパワメント局 (タイ) |
| NHE | Non-Handicap Environment | — |
| PDM | Project Design Matrix | プロジェクト・デザイン・マトリックス |
| PWDs | Persons With Disabilities | 障害者 |
| TICA | Thailand International Development Cooperation Agency | タイ国際協力開発庁 |
| SbKM | Story-based Knowledge Management | ストーリーに基づく知識創造 |
| SHOs | Self-help Organizations | 自助団体 |
| SM | SM Supermalls | SM スーパーモール (フィリピン) |
| UNESCAP | United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific | 国連アジア太平洋社会経済委員会 |
| VCDPA | Vientiane Capital Disabled People's Association | ビエンチャン障害者協会 (ラオス) |
| WFD | World Federation of the Deaf | 世界ろうあ協会 |

評価調査結果要約表

| | |
|--|---|
| 1. 案件の概要 | |
| 国名：タイ | 案件名：アジア太平洋障害者センタープロジェクト（フェーズ2） Asia-Pacific Development Center on Disability Project（Phase 2） |
| 分野：障害者支援 | 援助形態：技術協力プロジェクト |
| 所轄部署：人間開発部 | 協力金額：4億円（中間レビュー時） |
| 協力期間：（R/D）： 2007年7月12日署名 2007年8月1日から 2012年7月31日（5年間） | 先方関係機関： アジア太平洋障害者センター（Asia-Pacific Development Center on Disability：APCD）、社会開発・人間の安全保障省 障害者エンパワメント局（Ministry of Social Development and Human Security, National Office for Empowerment of Persons with Disabilities：NEP） |
| 他の関連協力（国内協力機関）：厚生労働省、障害者支援分野国内支援委員会、障害分野NGO等 | |
| <p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>アジア太平洋地域には、およそ4億人の障害者（10人に1人）がいるといわれているが、その多くは教育や就労など社会参加の機会も乏しく、必要なサービスを受けられない状況にあると推測されている。このような状況の改善のため、国連による「障害者の十年（1983-1992）」、国連アジア太平洋社会経済委員会（United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific：UNESCAP）を中心とする「アジア太平洋障害者の十年（1993-2002）」、さらにそれに引き続く10年を「第2次アジア太平洋障害者の十年（2003-2012）」とし、行動課題を「びわこミレニアムフレームワーク（Biwako Millenium Framework：BMF）」として決議されている。同取り組みにおいては、我が国は指導的役割を果たしており、障害者支援分野にかかわる国際協力においても指導的な役割を果たすことが期待されている。</p> <p>このような背景を受け、2002年8月から2007年の5年間、日タイ合同の広域プロジェクトとしてタイ国の社会開発・人間の安全保障省をカウンターパート（Counterpart：C/P）機関とし、アジア太平洋地域の障害者のエンパワメントを通じ「障害者の社会参加と平等化の実現」を目指した「アジア太平洋障害者センター（APCD）プロジェクト」が実施され、センター建物は無償資金協力により2004年11月に竣工した。</p> <p>2006年9月に実施した終了時評価において、おおむね想定していた成果は達成されていることが確認されたが、APCDの持続可能性及び主な裨益者の偏りに関して改善の余地があると確認されたため、タイ国政府は我が国政府に対しフェーズ2に関する技術協力を要請し、2007年8月から2012年までの5年間の本フェーズ2が開始されている。現在、長期専門家を3名（チーフアドバイザー、ネットワーク連携／人材育成、ネットワーク連携／ナレッジマネジメント（Knowledge Management：KM））、業務調整員を1名派遣しており、障害者当事者のネットワーク作りと連携、情報支援、人材育成を目的とし活動を実施している。</p> | |
| <p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p><目標></p> <p>アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと、2) 「障害者が権利を保障され非</p> | |

障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」(an inclusive, barrier-free and rights-based society) に向けての変化が促進される。

<指標・目標値>

- 1) 上位目標達成に向け、APCD 及び APCD と協力関係にあるアジア太平洋地域の政府調整・窓口機関 (政府フォーカルポイント (Focal Point : FP))、非政府機関である協力団体 (Associate Organization : AO) およびその他の関係団体が行う活動の数
- 2) 上記 (1) 以外の組織/人による、上位目標達成に向けた組織の数および活動の数

(2) プロジェクト目標

<目標>

アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと、2) 「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できる社会」に向けて、APCD が、障害当事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センターとして機能する。

<指標・目標値>

- 1) APCD に言及した公式文書や宣言の数
- 2) 草の根レベルの組織も含めた障害当事者組織と障害者支援組織により APCD が認知されている数

(3) 成果

<成果 1 >

APCD、FP、AO、その他の関連団体との間で、より効率的で持続的な連携が進展する。

<指標・目標値>

- 1) 2009 年 8 月までに 7 つの FP が役割について文書で合意する。
- 2) 2009 年 8 月までに 30 の AO が役割について文書で合意する。
- 3) 2009 年 8 月までに 30 の行動計画が作られ、そのうち 60% が FP または AO とともに実施される。
- 4) 2012 年までにサブリージョナルなネットワークと連携を促進するためにサブリージョナルワークショップが 5 回開催される。すべての成果とインパクトが記録・文書化され、広く共有される。
- 5) 2012 年までに 30 のモデル活動 (Good Practice) が分析されるなかで文書化され、FP と AO と関係者と連携するなかで広く共有される。
- 6) APCD の活動に参加した者の 60% がコミュニケーションのアクセシビリティに満足する。
- 7) 研修受講者の 80% が満足している。
- 8) 研修受講者の 70% が、学んだことを共有し、活動のイニシアティブをとり、または、活動を強化する。

<成果 2 >

国際化に向けて APCD の運営管理能力が強化される。

<指標・目標値>

- 1) APCD 財団化に向けた手順や戦略を 2008 年 8 月までにまとめる。
- 2) 国際的な助言を APCD の運営に反映させるシステムが 2009 年 8 月までに定着・機能する。
- 3) APCD の国際化にかかる手順、戦略を 2009 年 8 月までにドラフトとしてまとめる。
- 4) APCD 関連活動のために APCD 財団や他の関係機関によって実施される 4 つのファンドレイジング支援活動を 2009 年 8 月までに実施する。
- 5) 7 つの FP が実施する APCD 国際化のための支援を 2009 年 8 月までに書面で確認する。

(4) 投入 (評価時点)

日本側

1) 専門家派遣 (日本人専門家)

・長期専門家

チーフアドバイザー、業務調整、ネットワーク連携/人材育成、ネットワーク連携/KM

・短期専門家

知的障害ワークショップ支援、聴覚障害ワークショップ支援、知的障害ネットワーク連携、知的障害者エンパワメント、KM、セルフ・アドボカシー促進、自助グループ強化

2) 機材供与

・なし

3) C/P 研修

・本邦研修 14 名 (計 3 回～自助グループ活動促進、知覚障害および自閉症にかかる自助グループのマネジメント、KM 等にかかる研修)

タイ側

1) C/P 及びその他スタッフの配置

・C/P (APCD 職員、APCD 理事会、障害当事者・障害当事者組織・支援組織)

・秘書 (各日本人専門家対応) およびプログラム・オフィサー

2) 土地、建物、プロジェクト・オフィス (APCD センター)、その他追加的な施設や機材

3) プロジェクト活動に必要な経費

2. 評価調査の概要

調査期間：2010 年 1 月 17 日 (日) ～同年 2 月 6 日 (土)

評価種類：中間レビュー評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 成果 (アウトプット)

成果 1 は、中間レビュー現時点まで「順調に進捗している」。APCD は既に対象国において、障害当事者組織や支援グループおよび政府組織との組織間連携を活発に促進し、着実な成果を上げている。これは、成果 1 の活動で取り組んできたワークショップや研修活動、KM にかかる各種の活動が効果的に作用してきた結果と考えられる。

成果 2 は、C/P 機関の APCD 財団移行にあたるタイ国政府側の手続に時間を要したこともあり、当初計画より若干の遅れがみられるが、2009 年 10 月に実施主体が APCD 財団に移行し、APCD の運営管理能力強化のための様々な取り組みがなされていることから、その達成に向けて「着実に進捗している」と判断できる。今後は今後全面的に改訂された新たな活動項目に基づいて、成果 2 が示す「APCD の運営管理能力」の更なる強化に向けて、各種活動が展開されてゆくこととなる。

(2) プロジェクト目標

プロジェクト目標は、中間レビュー現時点まで「順調に進捗している」。APCD は、プロジェクト目標である「障害当事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センター」として活発に活動を展開しており、その成果は活動対象国において、より強固もしくは新たな組織間の連携を育んでいる。とりわけ、組織間の接点を構築することが困難であった障害当事者組織と政府機関との間で、APCD は中間者としての立場を有効に活用し、両者間の連携を促進している現状は高く評価される。

(3) 上位目標

APCD および FP/AO など関係団体との協同活動を通して、アジア太平洋地域における障害者のエンパワメントとバリアフリー社会促進に向けて漸進していると判断できる。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

(政策との整合性)

タイ国は国連障害者権利条約を ASEAN においていち早く批准した国でもあり、障害者支援セクターは重要政策の1つとして位置づけられている。また、外交政策の側面からも域内の国際協力促進が謳われており、本件のような広域案件は外交政策の方向性にも整合している。

また、アジア太平洋地域では障害者支援政策の柱として「第2次アジア太平洋障害者の10年(2003~2012年)」、「行動のためのびわこミレニアム・フレームワーク (BMF)」および「びわこプラス5 (BMF+5)」などが掲げられており、域内の障害者支援を促進する動きは顕著である。

さらに日本の対タイ国別援助計画および対タイ国事業展開計画(ローリングプラン)において、障害者支援セクターは「人間の安全保障」および「社会的弱者支援」のキーコンポーネントとして位置づけられている。また、援助アプローチの有効な手段として「南々協力」の積極的な活用も謳われている。

以上の点から、本プロジェクトはタイ国、国際的政策・動向、並びに日本国の政策の各側面において整合している。

(ターゲットグループのニーズとの整合性)

1) APCD のニーズ

APCD は将来の自立発展性を見据えた組織形態を目指しており、そのための組織移行及び組織強化にかかる技術支援ニーズを有していた。また、フェーズ1において研修を受けた人々との連携を深め、当事国において活動を展開することが APCD の活動指針の1つとして掲げられていた。

2) 障害当事者組織・支援組織のニーズ

アジア太平洋地域における障害当事者組織の連携といった動きは、プロジェクト計画当時には依然として限定的であった。そのため、APCD を通じて組織間連携を促進する本プロジェクトは、障害当事者・支援組織のニーズに整合していたものといえる。また、プロジェクトフェーズ1終了時に明らかとなった聴覚障害者および知的障害者に対する更なる支援のニーズについて、フェーズ2では主にこの2つの障害に活動の焦点を当てており、この点もターゲットグループのニーズに合致したプロジェクトデザインとなっている。

(プロジェクト対象地の規模にかかる適切性)

本プロジェクトはタイ周辺国である CLMV (Cambodia, Lao PDR, Myanmar, Vietnam : カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム) 諸国に重点を置きながら、日本人専門家およびタイ国のリソースパーソンによる研修・ワークショップを実施している。CLMV 諸国以外についてもその濃淡こそあるものの研修や地域セミナーの開催等を通じて支援を行っている。プロジェクト目標を達成するためにこのような規模の選定は妥当であり、その規模に即した濃淡のある対応は適切と判断できる。

(2) 有効性

(プロジェクト目標および成果の達成度/達成見込み)

本プロジェクト目標並びに成果1はこれまで順調に進捗しており、プロジェクト終了時までに達成する可能性が高い。APCD の組織運営能力強化にかかる成果2についてのみ、今般調査

を契機に APCD マスタープランの作成等新たな活動が加えられたため、その達成見込みについては今後の活動進捗に委ねられる。

(プロジェクト目標・成果達成にかかる貢献要因)

本プロジェクトでは障害当事者および障害当事者組織が各種の活動において、リソースパーソンとして活躍しており、成果の発現に大きな貢献をしている。

また、UNESCAP や WHO との連携による会議、ワークショップの開催を契機として、APCD の知名度の向上や関係団体との新規／フォローアップ活動が促進された点も貢献要因として挙げられる。

(プロジェクト目標・成果達成にかかる阻害要因)

APCD 財団移行への法的プロセスが想定以上の時間を要する結果となり、成果 2 に関連する組織強化の活動進捗に影響を与えた。

(3) 効率性

(人的投入)

日本人長期専門家の投入は適切な投入であったと判断される。特に SbKM (Story-based Knowledge Management : ストーリーに基づく知識創造) 手法など新たな情報支援にかかるツールは、タイ国側に技術の蓄積が少なかった分野であり、効果的な投入と評価できる。また、短期専門家も適切な投入であったが、とりわけ障害当事者の短期専門家派遣は障害者エンパワメントという観点から対象国に対して大きな効果をもたらした、実際に各国で当事者セルフヘルプグループが立ち上がっている点は特筆するに値する。

タイ国側人的投入については、これまで数少ない職員で活動を展開してきたが、活動の大きな支障にはなっていない。他方、プロジェクトの活動に際して障害当事者がリソースパーソンとして活躍しており、効果的かつ効率性の高い投入として特筆される。

(本邦研修)

APCD 職員や理事会メンバーは、日本での経験をプロジェクト活動に直接的、間接的に活用している。また、障害当事者・支援者については、日本で得た知見を自らの障害当事者組織の活動に導入し始めており、本邦研修の成果が着実に生まれている。タイ国で初の知的障害者セルフヘルプグループ (Dao Ruang) も本邦研修の参加者が中心となって発足している。

(補完活動)

様々な国際機関、行政機関、NGO や民間企業との連携が APCD の活動成果を広めており、大きな補完効果をもたらしている。

(4) インパクト

プラス・インパクト (一例)

(一般)

・FP や AO は本プロジェクトの研修参加を通して、障害当事者を中心に据えた活動の重要性・手法といった研修内容そのものの習得に加えて、研修コースの構成や研修実施にかかるロジスティック管理などの研修実施方法もあわせて学び取り、自らの組織が実施する研修に適宜活用し始めている。

(アジア太平洋地域)

・CBR (Community-based Rehabilitation : 地域に根ざしたリハビリテーション) アジア太平洋ネットワークに代表されるように、アジア太平洋において地域間を横断する障害当事者のネットワークが構築され始めている。

(ベトナム社会主義共和国)

- ・ダナン保健局の地方行政官が本プロジェクトでの DVD 作成業務に関わったことを契機として、ベトナム保健省における CBR 委員会のメンバーに選任され、現在では国家の障害者政策立案に携わるようになっている。
- ・本プロジェクトの研修参加者によって自閉症と知的障害の父母団体が結成された。
- ・ワールドヴィジョン・ベトナムでは、同組織のコミュニティ開発プログラムに「インクルーシブ開発と活動 (Inclusive Development on Action : IDEA)」の視点を取り入れるようになった。これは本プロジェクトにおける同上ダナンでの DVD 作成活動への参加を契機としたものであり、今ではベトナム全土の 30 箇所の拠点で採用されているコンセプトとなっている。

(ラオス人民民主共和国)

- ・ラオス最大の障害当事者団体であるビエンチャン障害者協会 (Vientiane Capital Disabled People's Association : VCDPA) が結成された。同団体はプロジェクトの DVD 作成活動を通して、現在では国家の障害者支援政策にかかる策定プロセスにかかわっている。

(フィリピン共和国)

- ・同国最大のショッピングモールである SM スーパーモール (SM Supermalls : SM) と APCD が協同で DVD の作成を行った。同社が経営する映画館において映像が上映されており、社会における啓蒙活動に大きな貢献を果たしている (年間約 700 万人が視聴しているものと推定)。

(パキスタン・イスラム共和国)

- ・教育省および特別教育省における教員研修指針に障害関連の内容が取り入れられることとなった。

(ミャンマー連邦共和国)

- ・プロジェクトによる各種団体が意見交換できるファシリテート活動を積み重ねることによって、全国レベルの障害当事者組織が設立された。

(タイ国)

- ・同国において初めての知的障害者の障害当事者セルフヘルプグループ (Dao Ruang) がプロジェクト活動を契機として発足した。

(キルギス共和国)

- ・様々な障害分野に亘る障害当事者組織の全国組織が、本プロジェクトの活動を契機として発足した。

マイナス・インパクト

- ・特筆すべきマイナスのインパクトは生じていない。

(5) 持続性

(政策面)

タイ国政府が障害者支援セクターについて政策的に支援を継続する可能性は高い。また、APCD が域内の障害支援を行う重要なプレーヤーであるとの認識は、今後も継続される可能性が高い。

(組織面)

APCD の組織体制は本プロジェクトフェーズ 2 が開始されてから着実に強化されている。組織の持続を図るうえで重要な点である APCD の組織的な位置づけ (国際機関、国際 NGO、国際 GO のいずれか) について未だ不透明であるが、APCD 理事メンバー内で早期に位置づけを明確化しようとする動きが生まれつつある。今後、成果 2 にかかる活動を通して、更に組織面での持続性が高まることが期待される。

(財政面)

現時点で APCD の活動資金としてタイ国政府から年間 700 万バーツの予算配分がなされており、プロジェクト終了時 (2012 年) まで配分されることとなっている (2012 年以降の予算措置については現時点では不明)。他方、APCD 自身もファンドレイジングにかかる活動を展開しており、今後は政府以外の資金リソースを積極的に開拓してゆく予定である。

(技術面)

人材育成・研修活動や KM にかかる活用技術は、フェーズ 1 からの C/P を中心に定着する段階に入っており、一定の持続性が認められる。今後は 2009 年 10 月より新規入職したスタッフに対する技術移転を進めることで、持続性は更に高まるものと予想される。

3-3 結論

本プロジェクトはこれまで着実に目標、成果の達成に向けて進展している。特に成果 1 については、上記のとおり顕著な進展が確認された。成果 2 にかかる組織強化については、今後更に取り組むべき組織強化への課題も残されているものの、APCD が財団に移行した事実は重要な成果実績の 1 つとして特筆されるべきものである。

また、広域案件である本プロジェクトにおいては、数多くの対象国で多数のインパクトが発現していること (障害当事者組織・支援組織・政府組織間の連携等) も強調されるべき成果といえる。

このように多くの成果とインパクトを上げてきた APCD であるが、今後も障害者支援にかかる重要な地域センターとして機能を果たしてゆくために、これまで以上に確固たる組織の目標、戦略並びに持続可能な運営体制を構築・強化してゆくことが求められている。

3-4 提言

(1) マスタープランの作成

APCD が更に強固かつ継続性の高い組織となるために、APCD の組織運営体制、財政計画、人材育成計画および活動戦略・計画を含んだマスタープランの作成を提言する。また、同プランの作成に当たっては、作成のためのスケジュール (ロードマップ) 作成が望まれる。

なお、マスタープランでは APCD が目指す組織像 (国際 NGO、国際組織等々) について明確な方向性が示されることが重要である。

(2) APCD にかかる情報発信・広報活動の充実

対象国で発現している成果やインパクトにかかる情報を APCD が体系的に整備し、発信することを提言する。具体的な取り組みとして、外部への発信を視野に入れた APCD 年報の作成等が挙げられる。

(3) フォローアップ体制の充実

FP や AO の活動について、APCD から時宜を得たフォローアップを行うことが重要である。APCD の限られたマンパワーで、各国の AP 及び AO にフォローアップを実施することは容易ではないが、APCD が各国にもたらすインパクトの把握という観点からもフォローアップは重要であり、プロジェクト内で効率的なモニタリング方法を模索し、実施されることが望まれる。

(4) クロス・ディスアビリティとイシュー・ベースの活動促進

各種障害に対する活動も重要であるが、APCD として引き続き、障害種別を問わずクロス・ディスアビリティを基本理念としながら各障害分野を横断する課題への対応を進展させてゆくことが望まれる。またバリアフリーや障害者の人権といった、障害当事者のみならず社会全体の問

題（イシュー・ベース）に対する活動を促進することが望まれる。

(5) アジア太平洋地域におけるサブリージョナル・メカニズムの形成促進

アジア太平洋地域全体の障害者エンパワメント及びバリアフリー社会を促進するために、APCD は引き続き国連機関や他団体との連携活動を通じてサブリージョナルな活動のメカニズムを構築していくことが望まれる。

(6) プロジェクト活動におけるリソースパーソンとしての障害当事者の参加促進

今後も障害当事者がプロジェクト活動のリソースパーソンとして積極的に活用されることが望まれる。

(7) 民間セクターとの連携促進

「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」の実現に向けて、APCD は民間セクターとの連携活動を更に増加させてゆくことが望まれる。

(8) 国連障害者権利条約への理解促進

APCD の活動を通じて各国政府及びステークホルダーが国連障害者権利条約の理解を深め、条約に沿った活動が実行されるために、APCD は今後もファシリテーションの役割を果たしてゆくことが望まれる。

第1章 中間レビュー調査の内容

1-1 プロジェクトの背景

2002年8月から2007年の5年間、日タイ合同の広域プロジェクトとしてタイ王国（以下、「タイ国」と記す）の社会開発・人間の安全保障省をカウンターパート（Counterpart：C/P）機関とし、アジア太平洋地域の障害者のエンパワメントを通じ「障害者の社会参加と平等化の実現」を目指した「アジア太平洋障害者センター（Asia-Pacific Development Center on Disability：APCD）プロジェクト」が実施され、センター建物は無償資金協力により2004年11月に竣工した。

2006年9月に実施したフェーズ1終了時評価において、おおむね想定していた成果は達成されていることが確認されたが、センターの持続可能性及び主な裨益者の偏りに関して改善の余地があると確認されたため、タイ国政府は我が国政府に対しフェーズ2に関する技術協力を要請し、2007年8月から2012年までの5年間の本フェーズ2が開始されている。現在、長期専門家を3名（チーフアドバイザー、ネットワーク連携／人材育成、ネットワーク連携／ナレッジマネジメント（Knowledge Management：KM）、業務調整員を1名派遣しており、障害者当事者のネットワーク作りと連携、情報支援、人材育成、国際的な組織に向けての強化を目的とし活動を実施している。2010年1月現在、プロジェクト開始から約2年半が経過し、プロジェクト終了時までの折り返し地点に差し掛かっており、以下の目的を達成するために中間レビュー調査団を派遣することとなった。

1-2 中間レビュー調査の目的

今次中間レビュー調査の目的は以下のとおりである。

- （1）プロジェクトの進捗および現在までの成果・目標の達成状況を確認する。
- （2）プロジェクトの実施に係る課題を確認するとともに、その対応策を検討する。
- （3）プロジェクトの今後の方向性、および成功に向けて取り組むべき事項について、タイ国側と協議する。
- （4）以上を協議議事録（Minutes of Meeting：M/M）にとりまとめ、タイ国側と署名交換を行う。

1-3 調査団構成

| 氏名 | 担当業務 | 所属・役職 |
|--------|------------|------------------------------|
| 渡辺 雅人 | 総括／団長 | JICA 人間開発部 高等教育・社会保障グループ担当次長 |
| 松井 亮輔 | 障害者ネットワーク | 法政大学現代福祉学部現代福祉学科 教授 |
| 中西 由起子 | 障害者エンパワメント | アジア・ディスアビリティ・インスティテート 代表 |
| 十津川 淳 | 評価分析 | 佐野総合企画株式会社 |
| 松本 幸治 | 協力企画 | JICA 人間開発部 社会保障課 |

1-4 調査日程

| 日付 | 調査内容 |
|----------|--|
| 1月17日（日） | 成田ーバンコクービエンチャン |
| 1月18日（月） | JICA ラオス事務所訪問、Lao Disabled People's Association、Lao National Television インタビュー |

| | |
|----------|--|
| 1月19日(火) | 労働社会福祉省、Vientiane Capital Disabled People Association インタビュー、ビエンチャンーハノイ移動 |
| 1月20日(水) | Hanoi Association of the Deaf、Club of Parents of Autistic Children、National Coordination Council on Disability (NCCD) 訪問、JICA ベトナム事務所にて協議 |
| 1月21日(木) | Reaching Out Handicraft、Inclusive Development on Action (IDEA)、Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital、Hanoi School of Public School インタビュー、CBR Asia-Pacific Network ベトナム担当と協議 |
| 1月22日(金) | World Vision Vietnam インタビュー、プロジェクトフォローアップ活動同行、ハノイーバンコク移動 |
| 1月23日(土) | 資料整理 |
| 1月24日(日) | 資料整理、団内協議 |
| 1月25日(月) | APCD board member インタビュー、CDSHOD 参加者インタビュー |
| 1月26日(火) | 日本人専門家インタビュー、UNESCAP インタビュー |
| 1月27日(水) | CDSHOD 参加者インタビュー、APCD 財団スタッフインタビュー |
| 1月28日(木) | CDSHOD 参加者インタビュー |
| 1月29日(金) | CDSHOD 参加者インタビュー |
| 1月30日(土) | 資料整理、ダオルアン(タイ国の知的障害者セルフヘルプグループ) 活動視察 |
| 1月31日(日) | 団内協議 |
| 2月1日(月) | APCD board member インタビュー、APCD executive board 代表インタビュー、タイ知的障害者連盟・タイ自閉症親の会代表インタビュー |
| 2月2日(火) | (2グループに分かれる) ①UNESCAP インタビュー ②タイ聾啞連盟、Thai deaf children women federation network インタビュー WHO タイオフィスインタビュー |
| 2月3日(水) | APCD board member インタビュー、PDM 改訂にかかる協議 / APCD 財団スタッフに対する調査結果報告及び協議 人間の安全保障省 障害者エンパワメント局インタビュー |
| 2月4日(木) | APCD board member インタビュー、APCD board member への調査結果報告、M/M 協議 |
| 2月5日(金) | M/M 修正、在タイ日本大使館、JICA タイ事務所報告 |
| 2月6日(土) | バンコクー成田 |

1-5 面談者リスト

詳細は付属資料1. M/M の ANNEX 7 参照。

1-6 調査の方法と項目

1-6-1 評価の枠組みと評価基準

JICA 事業評価では、「JICA 事業評価ガイドラインー改訂版」を指針として、プロジェクトの実績と実施プロセスを把握し、プロジェクトの妥当性、効率性、有効性、インパクト、自立発展性を総合的に検証する。

(1) 妥当性

妥当性は、プロジェクトの目標がタイ国の政策、我が国の対タイ国協力方針、ターゲットグル

ープのニーズに合致しているか否か、プロジェクトアプローチとしての適切さ等を評価する。

(2) 有効性

有効性は、プロジェクトによって産出された成果により、どの程度プロジェクト目標が達成されたのか、あるいは達成が見込まれるのか等を評価する。

(3) 効率性

効率性は、実施過程の中で様々な投入がいかにかに効率的に成果に結びつけられたか、人的投入、物的投入、研修等の各側面から評価する。

(4) インパクト

インパクトはプロジェクト実施の結果、起こる影響や変化を評価する視点である。インパクトは上位目標に対する影響のほか、直接的・間接的な影響・変化、望ましい、あるいは望ましくない影響・変化など様々な側面が含まれる。

(5) 持続性

持続性は、外部からの支援がなくなった段階でもプロジェクトの便益が持続するかどうかという視点において評価する（中間レビューについては見込みについて評価）。

1-6-2 データ収集方法と分析

本評価調査にあたっては、評価グリッドにおいて設定した調査項目／サブ項目への調査・検討を中心に据えながら、日本・タイ合同評価団によって調査を実施した。なお、評価グリッドは2008年8月8日に改訂されたプロジェクト・デザイン・マトリクス（Project Design Matrix : PDM）（第II版）および関係資料や情報をもとに、評価設問を検討し作成された。PDM（第II版）はM/MのANNEX 1を参照。

調査は下記のとおり、関係者に対する聞き取り調査および質問票調査を中心として実施した（聞き取り調査の対象者名については付属資料を参照）。

- ①日本人専門家およびタイ国側C/Pに対する質問票・聞き取り調査（計7名）
- ②タイ国側APCD理事メンバーに対する聞き取り調査（計6名）
- ③タイ国、ラオス、ベトナムの政府フォーカルポイント（Focal Point : FP）および協力団体（Associate Organization : AO）に対する現地での聞き取り調査（計16組織）
- ④ASEAN 諸国のAOに対する聞き取り調査（於バンコクー障害者自助団体強化ワークショップ（Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities : CDSHOD）への参加者）（計4組織）
- ⑤上記による聞き取り調査が不可能なFPおよびAOに対する質問票調査（計14通回収）
- ⑥その他関係組織に対する聞き取り調査（タイ国社会開発・人間の安全保障省、国連アジア太平洋社会経済委員会（United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific : UNESCAP）、WHO）

これら聞き取り調査結果および現地調査のファインディングを合同評価団において協議し、評価5項目および提言の取りまとめを行った。評価結果は本調査団が帰国後にAPCD財団理事会において発表され、関係者間での最終合意を得る予定である（2010年3月予定）。

1-6-3 本評価調査実施における制限・制約

本評価調査は上記のとおり調査方法、調査視点に沿って実施されたが、次のような制限・制約があったことを付記する。

(FP および AO に対する聞き取り調査数)

本調査では、APCD との活動を展開している FP および AO からの情報を基礎として、プロジェクトの有効性及びインパクトの発現状況について確認することを試みた。今般調査ではバンコクで実施されていた CDSHOD ワークショップを効果的に利用し、多くの AO に面会する機会を得たが、それでもなお面会できた組織数はプロジェクトが関与する組織のうちの一部にすぎない（フェーズ1からの合計では約 200 の AO が存在する）。

また、面会による聞き取り内容を補完する目的で質問票調査も実施したが、回収数には一定の限界があったことも併せて付記する（回収率 53% = 14 通 / 25 通）。

第2章 プロジェクト概要

2-1 プロジェクトの要約 (PDM)

PDM に示されたプロジェクト概要は以下の通りである。なお、今次調査は 2008 年 8 月 8 日に改定された PDM (第Ⅱ版) に基づいて実施された。また、今回の調査時にプロジェクトの今後の方向性、および成功に向けて取り組むべき事項についてタイ国側と協議し、その結果を反映させる形で PDM の修正を行い、調査団、タイ側双方で合意を得た (PDM 第Ⅱ版については、付属資料 1. M/M の ANNEX 1 を、PDM 第Ⅲ版については、M/M の ANNEX 2 を参照)。

以下、PDM (第Ⅱ版) に基づくプロジェクトの要約である。

(1) 上位目標

アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと 2) 「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」(an inclusive, barrier-free and rights-based society) に向けての変化が促進される。

(2) プロジェクト目標

アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと、2) 「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」に向けて、APCD が、障害当事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センターとして機能する。

(3) 成果

- 1) APCD、FP、AO、その他の関連団体との間で、より効率的で持続的な連携が進展する。
- 2) 国際化に向けて APCD の運営管理能力が強化される。

2-2 PDM 改訂の経緯

2008 年 3 月に合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee : JCC) が実施され、PDM の改訂が行われた (M/M の ANNEX 1 を参照)。今次中間レビュー調査では現地調査において日本側調査団と APCD 財団の間で PDM に関する協議を行い、よりプロジェクトで実施する活動に沿った PDM 内容へと修正が行われ (M/M の ANNEX 2 を参照)、今後残り 2 年半のプロジェクトは PDM 第Ⅲ版に基づき評価を行うことで、日本側調査団、タイ側双方で合意を得た。(PDM の変更点及び変更の背景については M/M の ANNEX 3 を参照)。

今回の PDM 改訂における要点につき言及しておきたい。

(1) 本プロジェクトの上位目標に関して

上位目標は定義上プロジェクト終了から 3～5 年後のあるべき状態を表すものであり、その達成状況は指標を用いて確認される。しかし、これまでの上位目標は「アジア太平洋地域における障害者エンパワメントとバリアフリー社会の促進」とやや漠然とした表現で設定されており、指標を用いて達成状況を確認することが困難であることから、内容により具体性をもたせるために「アジア太平洋地域における障害者エンパワメントとバリアフリー社会が障害者支援団体及び障害当事者団体が APCD の活動を通じて強化される」という書きぶりに変更された。

(2) 成果2に関して

成果2およびその活動と指標に関して、プロジェクトの現況に沿った形で修正を行った。これまでのPDMは、省からAPCD財団へその実施主体が移行する過程の活動に重点がおかれていたが、2009年10月のAPCD財団への移行後プロジェクトで課題となっているのが、APCDの持続可能な運営管理体制の構築であり、プロジェクト終了後の持続性を見据えた財政面、人材育成面の計画策定が今後の活動で重要となる。そのため、具体的にはAPCDのマスタープラン(2011～2015)の作成および実施、評価をプロジェクト活動として位置づけ、またAPCDが行う活動の外部への発信、アカウントビリティの強化という観点から、APCD年報の作成についても新たな活動として取り入れられた。

(3) 成果1の指標に関して

成果1の指標「2012年までに30のモデル活動(Good Practice)がドキュメントとしてまとめられ、関係機関に共有される」について、モデル活動に限定することなく、他ドナーとの連携やその他有益な情報をドキュメントとしてまとめることもプロジェクトとして重要な活動であるため、「モデル活動及び有益な情報を30本ドキュメントとしてまとめる」という書きぶりに変更された。

またAPCD財団側から地域に根ざしたリハビリテーション(Community-based Rehabilitation: CBR)やNHE(Non-Handicap Environment)、KMに関するリージョナルネットワーク構築の重要性が唱えられ、新たな指標として、「3つのリージョナルネットワーク構築」及び、「リージョナルネットワーク連携に係る10の研修と10のフォローアップ活動の実施」が加えられた。

第3章 プロジェクトの実績

3-1 投入実績

3-1-1 日本側の投入

(1) 長短専門家派遣実績

表3-1 派遣専門家一覧

| | 担当分野名 | 派遣人数 | 主たる業務内容 |
|----|-------------------|---------------------------|--|
| 長期 | チーフアドバイザー | 延べ2名 | <ul style="list-style-type: none"> チーフアドバイザーとしてのプロジェクト運営総括 (特に) 成果2にかかる APCD 組織強化・組織移行 |
| | 業務調整 | 延べ2名 | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト運営にかかる調整業務全般 |
| | ネットワーク連携/ 人材育成 | 延べ3名 | <ul style="list-style-type: none"> 成果1にかかる人材育成業務 |
| | ネットワーク連携/ KM | 延べ1名 | <ul style="list-style-type: none"> 成果1にかかる情報・KM 業務 |
| 短期 | 担当分野名* | 派遣期間 | 主たる業務内容 |
| | 知的障害ワークショップ支援 | 2007.11.19 ～2007.12.15 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害関係団体との連携活動の開始時における基礎情報の共有 |
| | 聴覚障害ワークショップ支援 | 2007.11.28 ～2008.12.15 | <ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害関係団体との連携活動の開始時における基礎情報の共有 |
| | 知的障害ネットワーク連携 | 2008.1.20 ～2008.1.26 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害関係団体との連携活動のノウハウの共有 |
| | 知的障害者エンパワメント | 2008.1.20 ～2008.1.26 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害者自身による活動やその支援に焦点を当てた技術移転 |
| | KM | 2008.1.28 ～2008.2.15 | <ul style="list-style-type: none"> KM の基礎情報の共有 |
| | セルフ・アドボカシー促進 | 2008.8.12 ～2008.8.23 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害者による当事者活動の強化や自助グループ立ち上げの支援 |
| | 自助グループ強化 | 2008.8.12 ～2008.8.23 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害者による自助グループ立ち上げ・支援のノウハウ共有・技術移転 |
| | セルフ・アドボカシー促進 | 2009.3.16 ～2009.3.21 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害者による当事者活動の強化や自助グループ立ち上げの支援 |
| | 自助グループ強化 | 2009.3.16 ～2009.3.21 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害者による自助グループ立ち上げ・支援のノウハウ共有・技術移転 |

* 担当分野名は英文標記からの和訳表記

(2) 研修実績

本プロジェクト期間中には下表のと通りの研修が、日本において実施された。(研修参加者の氏名などの詳細は付属資料1. M/M の ANNEX 参照)。

表 3-2 研修実績

| コース名 | コースの内容・ねらい | 実施年 | 期間 | 研修人数 | 研修生の所属 |
|-----------------------------|---|---------------|------|------|----------------------------|
| 自助グループ活動促進 | 日本における自助グループの活動を実見、意見交換等を行う | 2009年 2月 | 10日間 | 7人 | 自助グループ、 APCD スタッフ |
| 知的障害および自閉症にかかる自助グループのマネジメント | 日本における知覚障害、自閉症にかかる自助グループの活動を実見、意見交換等を行う | 2009年 7-8月 | 8日間 | 5人 | 自助グループ |
| KM | KM にかかる理解及びプロジェクト活動への効果的な利用方法等にかかる理解・習得 | 2009年 | 9日間 | 2人 | APCD 理事会メンバー、 APCD スタッフ |

(3) 機材供与実績

本プロジェクトでは特筆すべき機材供与は行っていない。

(4) 日本側投入予算

2007年度のプロジェクト開始以来、下表のとおり現地業務費を支出した。内訳は以下のとおり。

表 3-3 現地業務費（日本側）

(単位：US\$)

| | 航空賃 | 旅費 航空賃以外 | 謝金報酬 スタッフ以外 | 会議費 セミナー 研修等開催費 | 一般業務費 事務用品 公用車燃料費等 | 計 |
|-------|------------|-------------|----------------|-----------------------|--------------------------|------------|
| 2007 | 41,566.15 | 21,051.49 | 1,841.75 | 3,241.89 | 57,762.75 | 125,464.03 |
| 2008 | 84,050.18 | 106,355.71 | 19,583.85 | 15,481.95 | 69,553.45 | 295,025.14 |
| *2009 | 28,359.65 | 45,331.79 | 8,746.34 | 5,196.24 | 52,321.52 | 139,955.54 |
| 計 | 153,975.98 | 172,738.99 | 30,171.94 | 23,920.08 | 179,637.72 | 560,444.71 |
| % | 27.47% | 30.82% | 5.38% | 4.27% | 32.05% | 100.00% |

*2009年4月-11月

1 US\$=32.74003 Baht

注：2009年度は計画額

出所：プロジェクト資料

3-1-2 タイ国側の投入

(1) 人員配置

本プロジェクトでは APCD の財団移行に伴い、2009年10月には本省職員がプロジェクトから離任している。ただし、業務の中核を担っていた現地スタッフの多くは、引き続き APCD 財団に雇用され続けており、技術移転の側面における非効率性は極力低く抑えられている（詳細は後述「効率性」の項参照）。

また本プロジェクトでは、APCD 職員に加えて、AO などの関係団体およびリソースパーソン個人も C/P として位置づけており、裾野の広い関係者／組織が人的投入要素となっていることが特徴である（AO やリソースパーソンが C/P として位置づけられることによって、本邦研修への参加も積極的に行われている）。

さらに、円滑な業務遂行を目的として、タイ国側国際協力窓口機関（Thailand International Development Cooperation Agency : TICA）よりそれぞれの日本人専門家に対してアシスタントが配置されている。

（２）タイ国側投入予算

2007 年度のプロジェクト開始以来、下表のと通りの現地業務費を計上してきた。内訳は以下のとおり。

表 3-4 現地業務費（タイ国側）

（単位：US\$）

| | 給与 | 施設 | 清掃 | 警備 | 秘書給与 燃料費 | 運営管理費 | 計 |
|-------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|
| 2007 年（8 月-12 月） | 33,496.30 | 11,937.49 | 3,817.96 | 4,886.98 | 4,979.23 | 49,247.64 | 108,365.60 |
| 2008 年（1 月）-2009 年（1 月） | 58,354.25 | 25,007.79 | 17,045.11 | 20,581.53 | 3,731.36 | 91,593.08 | 216,313.12 |
| 2009 年（2 月-7 月） | 20,643.54 | 16,669.09 | 5,591.24 | 8,246.79 | 3,359.19 | 101,130.65 | 155,640.50 |
| 2009 年（8 月-11 月） | 26,660.28 | 10,478.58 | 3,727.48 | 5,497.86 | 3,043.06 | 12,310.46 | 61,717.72 |
| 計 | 139,154.37 | 64,092.95 | 30,181.79 | 39,213.16 | 15,112.84 | 254,281.83 | 542,036.94 |

1 US\$=32.74003Baht

注：運営管理費＝会議費、残業費、消耗品、交通費、施設・資機材メンテナンス費等

注：2009 年度は計画額

出所：プロジェクト資料

（３）タイ国側提供の土地、建物、事務所および施設等

プロジェクトオフィスがタイ国側より提供されている。ただし、APCD の財団移行に伴い、APCD の建物やトレーニングセンターの所有権、使用権および運営管理方法等について、タイ国側政府と APCD 財団、およびその他の関係者で現在なお調整が行われている点を付記する。

3-2 活動実績

本プロジェクトでは成果 1 『APCD、FP、AO、その他の関連団体との間で、より効率的で持続的な連携が進展する』に向けて、「人材育成」の側面から研修、国内・域内のワークショップ実施、さらに「情報支援・KM」の側面から、DVD やドキュメンテーションの作成、ニュースレターの発行等の活動を活発に行ってきた。

下表は成果 1 にかかる PDM 「活動項目」内容に即した活動の実績である（ただし、本プロジェクトの活動は PDM の活動カテゴリーと整合させることが難しく、実績表に含まれていない内容もあるため、後述の成果にかかる指標内容や「活動実績表」、「サブリージョナル・ワークショップ」および「SbKM 活動の実績」等も要参照）。

成果 2 『国際化に向けて APCD の運営管理能力が強化される』にかかる活動としては、APCD 財団化

に向けた様々な取り組みがこれまでの主たる活動内容である。成果2に関する活動については、後述の「成果の達成状況」において、財団化に向けた取組内容を記載する。

表3-5 活動実績表

【成果1】APCD、FP、AO、FP、その他の適切な関連団体との間で、より効果的で持続的なネットワークと連携が進展する

| | 活動（現行PDMより） | 進捗状況 |
|-----|---|--|
| 1-1 | 積極的に活動に参加するFP、AOを選出し求められる役割を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連ミッションを合計41本*（タイ国内5、国外36）実施、さらに年度内に国外3本を予定。 ・3機関がFPとなることに合意した（2009年11月現在）。 ・30の機関がAOの期待される役割について合意し、AOとなった（2009年11月現在）。 |
| 1-2 | APCDのすべての活動においてコミュニケーションのアクセシビリティを確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ろう者、知的障害者を含むミッションや短期専門家派遣には手話通訳や支援者を同行している。 ・1-7で作成したDVDにおいて手話（対象国・地域）による利用可能 ・1-7で作成したCBRブックレット、1-4視覚障害者ダイアログのデジタル化（テキストデータ） |
| 1-3 | APCDが、業績をもつFPおよびAOと協力し、1)人材育成と、2)情報支援に関する行動計画を策定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画（アクションプラン）の様式や承認方法をAPCD内で合意（2008年3月） ・29件の行動計画に署名済み（2009年11月現在） ・行動計画1（KM関連）件ドラフト済み（2009年11月現在） |
| 1-4 | 行動計画に従って人材育成（APCDでの研修コースや国内/域内セミナー等）を促進する。 | <p>[ろう者支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンボジア：ろう者対象のワークショップ実施（2007年11月、2009年6月） ・ラオス：ろう者対象のワークショップ実施（2007年12月） タイにおけるラオスろう者リーダーのインターンシップ実施（2009年1-2月） ろう者組織に関するワークショップ実施（2009年5月） ろう者家族対象のワークショップ実施（2009年10月） ・ミャンマー：JICA社会福祉行政官育成プロジェクトとの連携ワークショップ実施予定（2010年1月） ・ベトナム：ろう者対象のワークショップ実施（2007年12月、2009年1月） <p>[知的障害者と家族に対する支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンボジア：知的障害に関するワークショップ実施（2007年11月、2009年9月） ・ラオス：知的障害に関するワークショップ実施（2007年12月、2008年8月） ・ミャンマー：知的障害に関するワークショップ実施予定（2010年2月） ・ベトナム：知的障害に関するワークショップ実施（2007年12月、2008年8月） ・タイ：タイ自閉症者親の会、タイ知的障害者協会とのワークショップ実施（2008年8月、2009年3月、2010年2月予定） 本人活動支援に関するC/P研修実施（2009年2月、8月） <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本財団とのFuture Blind Leaders' Dialogue実施（2008年7月、2009年8月） ・DPI-APとの「障害、ジェンダー、開発」研修実施（2009年3月、2010 |

| | | |
|-----|--|--|
| | | <p>年3月予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウズベキスタン World Vision との CBR 研修 (2009年6月) ・ミャンマーEden Center for Disabled Children との研修カリキュラム改善に関するワークショップ実施 (2009年10月) |
| 1-5 | 行動計画に従い、情報支援を促進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター発行 (2007年9月・12月、2008年3月・6月・9月・12月、2009年3月・6月・9月・12月、2010年3月予定) ・ウェブサイト更新 (随時・2009年10月財団化に伴う改訂、2010年1月刷新予定) ・タイ国ナコンパトム県自立生活センターによる DVD 編集支援 (日本語、2008年3月) ・APCD プロジェクト・フェーズ1のサマリーレポート作成 (2008年1月) ・JICA 研究所キャパシティデベロップメントレポート作成支援 (2008年6月) ・フィリピン・Life Haven 自立生活センターによる DVD 編集支援 (タガログ語、2009年2月) ・南南協力セミナーレポート集作成 (2009年8月) ・SbKM マニュアル (2009年1月-実施中) ・シンド州障害フォーラムによるアジア太平洋 CBR ブックレット活用支援 (ウルドゥー語、2009年12月) |
| 1-6 | 行動計画のモニタリングを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・メールによる連絡を通じ、行動計画を作成した AO と進捗状況について確認。 ・ミッション派遣時に行動計画の進捗状況について確認。(例：知的障害者ワークショップ開催のためにラオスにミッションを派遣した際に、ろう者支援に関する行動計画の進捗状況についても確認するなど。) |
| 1-7 | FP と AO のグッドプラクティス (良い事例) を蓄積し、関係者と共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・KM の基本理論および SbKM と呼称する新たなドキュメンテーションの手法を導入 <p><事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ国 コンケン県ジョンノンケタムボン地区 (CBR、2008年8月-12月) ・ラオス ビエンチャン障害者協会等 (障害者自助団体、2008年8月-2009年1月) ・フィリピン フィリピン建築家協会アクセシビリティ委員会等 (障害者に優しい街づくり、2009年5月) ・SM スーパーモール障害者問題委員会 (インクルーシブなコミュニティビジネス、2009年2月-7月) ・国家障害者問題委員会等 (ICT、2009年2月-8月) ・ベトナム リーチングアウト (社会起業・障害者自助団体、2009年1月-8月) ・ダナンリハビリテーション病院 (CBR、2009年1月-8月) ・マレーシア マレーシア盲人協会 (物理的・情報のアクセシビリティ、2009年11月-2010年6月予定) ・パキスタン STEP (障害者自助団体・ICT・障害者自立生活、2009年3月-10月) ・Danishkada (ICT・聴覚障害、2009年3月-2010年2月予定) ・パプアニューギニア パプアニューギニア障害者協会 (障害者自助団体、2009年3月-2010年1月予定) |

| | | |
|-----|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア太平洋 アジア太平洋 CBR ブックレット (CBR、2009年2月-6月) DPI-AP 等 (ASEAN 障害者自助団体、2010年1月-6月予定) |
| 1-8 | サブリージョナルな連携を促進し社会的インパクトをもたらすことを目的としワークショップを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タイ国にて CLMVT を対象とした知的障害ワークショップを実施 (2008年1月) ・キルギスにおいて中央アジア対象 CDSHOD を実施。(2008年10月) ・タイ国にて 1st Asia Pacific CBR Congress を WHO と共催 (2009年2月) ・タイ国にてハイレベル南南協力セミナーを開催 (2009年3月、2010年3月予定) ・UNESCO 主催の Sub-regional Workshop on PWDs and CLCs に協力 (タイ国 2009年5月) ・ASEAN 対象の CDSHOD を実施予定。(タイ国 2010年1月) ・2010-11 年度、CLMVT を対象としたろう者、知的障害の各ワークショップを開催予定。 |

出所：プロジェクト資料より

3-3 成果の達成状況

3-3-1 成果1の達成状況

成果1：「APCD、FP、AO、その他の関連団体との間で、より効率的で持続的な連携が進展する」
 <指標>

1. 2009年8月までに7つのFPが役割について文書で合意する。
2. 2009年8月までに30のAOが役割について文書で合意する。
3. 2009年8月までに30の行動計画 (Action Plan : AP) が作られ、そのうち60%がFPと/またはAOとともに実施される。
4. 2012年までにサブリージョナルなネットワークと連携を促進するためにサブリージョナル・ワークショップが5回開催される。すべての成果とインパクトが記録され、文書化され、広く共有される。
5. 2012年までに30のモデル活動が分析されるなかで文書化され、FPとAOの関係者と連携する中で広く共有される。
6. APCDの活動に参加した者の60%がコミュニケーションのアクセシビリティに満足する。
7. 研修受講者の80%が満足している。
8. 研修受講者の70%が、学んだことを共有し、活動のイニシャティブをとり、または、活動を強化する。

成果1は、中間レビュー現時点まで「順調に進捗している」。

APCDは既に対象国において、障害当事者組織や支援グループおよび政府組織との組織間連携を活発に促進し、着実な成果を上げている。これは、成果1の活動で取り組んできたワークショップや研修活動、KMにかかる各種の活動が効果的に作用してきた結果と考えられる。成果1の発現状況については、下記のとおり各種指標の観点からも確認できる。

指標1：2009年8月までに7つのFP政府機関が役割について文書で合意する。

2010年1月の時点で下記のとおり、11の政府機関が合意している。

1. Ministry of Labor and Social Development, Kyrgyz Republic

2. National Council on Disability Affairs, Philippines
3. Ministry of Labor and Social Protection of the Population, Tajikistan
4. Ministry of Health, Bhutan
5. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia
6. Ministry of Social Affairs, Indonesia
7. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR
8. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia
9. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Union of Myanmar
10. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan
11. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam

指標 2 : 2009 年 8 月までに 30 の協力団体が役割について文書で合意する。

これまでに 37 の機関が AO としての覚書 (Memorandum of Understanding : MOU) を交わしている。

指標 3 : 2009 年 8 月までに 30 の AP が作られ、そのうち 60% が FP と / または AO とともに実施される。

これまでに 30 の AP が作成され、2010 年 1 月時点において同計画は平均 85% の進捗率をみせている。なお、これまでは AP の進捗率にかかる計測方法は定義されてこなかったため、本調査では日本人専門家を中心とした判断に拠っている (進捗率の計測方法については、今後調査で提言された「フォローアップ/モニタリング体制の充実」の過程で議論される予定)。各 AP の名称および進捗率は付属資料参照。

指標 4 : 2012 年までにサブリージョナルなネットワークと連携を促進するためにサブリージョナル・ワークショップが 5 回開催される。すべての成果とインパクトが記録され、文書化され、広く共有される。

下表のと通りのサブリージョナル・ワークショップが既に 4 回開催されており、成果物として各種のレポートやニュースレターなどが作成、共有されている。

表 3-6 サブリージョナル・ワークショップ

| サブリージョナル・ワークショップ | 成果物 |
|--|-----------------------------|
| CDSHOD ワークショップ (キルギス、2008 年 11 月) | ビシュケク宣言 (Bishkek Statement) |
| | CDSHOD レポート |
| | プレス・リリース |
| | APCD ニュースレター |
| 第一回アジア太平洋 CBR コンgress (タイ、2009 年 2 月) | バンコク宣言 (Bangkok Statement) |
| | プレゼンテーション要約 |
| | プレス・リリース |
| | APCD ニュースレター |

| | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| ポスト・コンGRESS・ワークショップ (タイ、2009年2月) | CBR ブックレット |
| | APCD ニュースレター |
| CDSHOD ワークショップ (タイ、2010年1月) | ジョイント・ステートメント (作成中) * |
| | ASEAN 自助グループ・ブックレット (作成中) * |
| | プレス・リリース |
| | APCD ニュースレター |

* 2010年1月現在

指標5：2012年までに30のモデル活動が分析されるなかで文書化され、FPとAOと関係者と連携するなかで広く共有される。

モデル活動にかかるDVDやブックレットなどが既に10種作成されている。これら作成のプロセスにおいて、障害当事者組織と政策機関との連携が促進されるなど、プラスのインパクトも数多く発現している。

表3-7 SbKM活動の実績(モデル活動の文書化活動)2010年1月時点

| | タイトル | 国 | 成果物 |
|----|---------------------------------|-------|--------|
| 1 | CBR initiative in Jodnongkae | タイ | DVD |
| 2 | Together We Can Make Changes | ラオス | DVD |
| 3 | Inclusive Community Development | インド | ブックレット |
| 4 | Yes, You Can! | ベトナム | DVD |
| 5 | Community for All | ベトナム | DVD |
| 6 | From Why to How through ICT | フィリピン | DVD |
| 7 | A Blind Architect | フィリピン | DVD |
| 8 | SM Care | フィリピン | DVD |
| 9 | Beyond the Voice of Our Own | パキスタン | DVD |
| 10 | House of Wisdom | パキスタン | 漫画 |

指標6：APCDの活動に参加した者の60%がコミュニケーションのアクセシビリティに満足する。

ストーリーに基づく知識創造(Story-based Knowledge Management : SbKM)活動の参加者に対して実施したプロジェクト内自己評価結果において、約90%の参加者がアクセシビリティに満足(=活動に満足している)と回答しており、アクセシビリティについては指標の求めるレベルに到達しているものと判断できる。

なお、本指標ではアクセシビリティの定義がなされていなかったため、SbKMによってもたらされる視聴覚化の進展・改善=アクセシビリティの進展・改善といった文脈で定義、評価を行った。

指標7：研修受講者の80%が満足している

研修・ワークショップ参加者に対して実施したアンケート調査結果(計15回:研修終了後にプロジェクトが実施)によると、93%の参加者が研修に「満足している」/「非常に満足している」

と回答しており、指標の求める 80%を達成している。

指標 8：研修参加者の 70%が学んだことを共有し、活動のイニシアティブをとり、または、活動を強化する。

フェーズ 1 およびフェーズ 2 での研修・ワークショップ参加者の多くが、本プロジェクトの活動に継続的に参加するとともに、自らの組織においても積極的な活動を継続してきている。多くの AO は、経験や情報を組織内のメンバー間で共有することに重きを置いている事実からも、このような研修内容は定期ミーティングなどを通して共有されている可能性が高いものと推察される¹。

3-3-2 成果 2 の達成状況

成果 2。「国際化に向けて APCD の運営管理能力が強化される」

<指標>

1. APCD 財団化に向けた手順や戦略を 2008 年 8 月までにまとめる。
2. 国際的な助言を APCD の運営に反映させるシステムが 2009 年 8 月までに定着・機能する。
3. APCD の国際化にかかる手順、戦略を 2009 年 8 月までにドラフトとしてまとめる。
4. APCD 関連活動のために APCD 財団や他の関係機関によって実施される 4 つのファンドレイジング支援活動を 2009 年 8 月までに実施する。
5. 7 つの FP 機関が実施する APCD 国際化のための支援を 2009 年 8 月までに書面で確認する。

成果 2 は C/P 機関の APCD 財団移行にあたるタイ政府側の手続に時間を要したこともあり、当初計画より若干の遅れが見られるが、2009 年 10 月に実施主体が APCD 財団に移行し、APCD の運営管理能力強化のための様々な取り組みがなされていることから、その達成に向けて「着実に進捗している」と判断できる。これまでの指標に基づく達成状況は下記のとおりである。

なお、今後は成果 2 が示す「APCD の運営管理能力」の更なる強化に向けて、今般改訂された新たな活動項目に基づいて各種活動が展開されてゆくこととなる。そのため成果 2 については、終了時評価調査において改めて新指標に基づき、その達成状況が確認されることとなる。

指標 1：APCD 財団化に向けた手順や戦略を 2008 年 8 月までにまとめる。

APCD 財団と社会開発・人間の安全保障省との間で、2009 年 1 月に MOU が締結されており、財団化に向けた手順が確定している。

| 移行の経緯 | 時期 |
|---|-------------|
| APCD 財団設立 | 2004 年 11 月 |
| タイ国政府内閣決議にて APCD が財団運営下に置かれることが決定 | 2007 年 8 月 |
| 社会開発人間の安全保障省と APCD との間で MOU が取り交され、APCD の運営が省から財団へと移行 | 2009 年 1 月 |
| C/P 変更に係る JICA と APCD 財団の M/M 締結 | 2009 年 12 月 |
| APCD 財団新体制の発足 | 2009 年 10 月 |

¹ 本指標についても計測が困難であるため、今後、計測にかかる方法や定義などを検討する必要があると考えられる。なお、ひとつの試みとして、SbKM 活動に関してプロジェクト内自己評価が実施されている（指標 6 同様）。同評価結果において、過去の研修・ワークショップ参加者の約 20%が本フェーズ 2 での活動に参加していることが確認されている。

指標 2：国際的な助言を APCD の運営に反映させるシステムが 2009 年 8 月までに定着・機能する。

本指標については、「APCD が財団化したことによって、海外を含めた外部からの助言・提言を柔軟に受け入れることができるようになった」との解釈をもって、指標の達成を判断した。あわせて、APCD 財団の理事会にも多国籍の人材を配置しており、その点も国際的な助言を反映するシステムの一形態として評価した。

指標 3：APCD の国際化にかかる手順、戦略を 2009 年 8 月までにドラフトとしてまとめる。

本指標については、APCD が公用語を英語にしたこと（～2009 年 12 月）、および職員採用において国籍条項を外したこと（国籍を不問としたこと ～2009 年 10 月）を以って、国際化にかかる手順が進展したと判断し、指標が示した内容について一定の進捗があったものと評価した。国際化にかかる戦略のドラフト策定自体は、今後のプロジェクト期間における APCD マスタープランのなかで議論されてゆく予定である。

指標 4：APCD 関連活動のために APCD 財団や他の関係機関によって実施される 4 つのファンドレイジング支援活動を 2009 年 8 月までに実施する。

ファンドレイジングおよびファンドレイジングを促進するための活動（ファンドレイジングを学ぶ研修など）が、これまで下表のとおり実施されてきた。また、ワークショップや国際会議の実施に際して、共催機関がコスト負担を行った事例についてはファンドレイジング活動の一種として算入している。

表 3-8 ファンドレイジングに関する活動

| 活動 | 時期 | ファンド支援団体 (活動支援団体) |
|--|-------------|----------------------|
| 1. Blind Future Leaders' Dialogue | 2008-2010 年 | 日本財団 |
| 2. 第一回アジア太平洋 CBR コングレス | 2009 年 2 月 | WHO |
| 3. SbKM 活動 | 2009 年 7 月 | SM スーパーモール～フィリピン |
| 4. SbKM 活動 | 2009 年 10 月 | 教育省～パキスタン |
| 5. KM 研修 (ファンドレイジング方法の研修受講) | 2009 年 11 月 | 日本ファンドレイジング協会 |
| 6. Institute on Disability and Public Policy | 2009 年 11 月 | 日本財団 |

指標 5：7 つの FP 機関が実施する APCD 国際化のための支援を 2009 年 8 月までに書面で確認する
2009 年 3 月の南々協力セミナーの機会に、APCD との継続的な相互協力について 9 カ国の FP 機関が MOU に署名を行っている（9 カ国：ブータン、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、ベトナム）。

3-4 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標は、「アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと、2) 「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」に向けて、APCD が、障害当

事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センターとして機能する」ことである。

<指標>

1. APCD に言及した公式文書や宣言の数
2. 草の根レベルの組織も含めた障害当事者組織と障害者支援組織により APCD が認知されている数
プロジェクト目標は、中間レビュー現時点まで「順調に進捗している」。

APCD はプロジェクト目標である「障害当事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センター」として活発に活動を展開しており、その成果は活動対象国において、より強固もしくは新たな組織間の連携を育んでいる。とりわけ、組織間の接点を構築することが困難であった障害当事者組織と政府機関の間で APCD は中間者としての立場を有効に活用し、両者間の連携を促進している現状は高く評価される。

なお、指標の点からも下記のとおりが進捗が確認されている。

指標 1 : APCD に言及した公式文書や宣言の数

2009 年 3 月の南々協力セミナーの機会に、APCD との継続的な相互協力について 9 カ国の FP 機関が MOU に署名を行っている。署名を行った機関は以下のとおりである（成果 1 の指標 1 および成果 2 の指標 5 と同様の内容）。

1. Ministry of Health, Bhutan
2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia
3. Ministry of Social Affairs, Indonesia
4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR
5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia
6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Union of Myanmar
7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan
8. National Council on Disability Affairs, Philippines
9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam

指標 2 : 草の根レベルの組織も含めた障害当事者組織と障害者支援組織により APCD が認知されている数

本指標については、2008 年 10 月の CDSHOD ワークショップ（キルギス）および 2010 年 1 月の CDSHOD ワークショップ（タイ国）を通して、多数の当事者組織や政府組織に APCD の存在および役割が認知されたものと判断した。

なお、本プロジェクト目標の 2 つの指標については、プロジェクト事前調査の特記事項にあるとおり、本指標のみをもってプロジェクトが目標とした状況を過不足なく計測できるものではない。実際には FP や AO およびその他の組織に生じている連携促進の事実情報を収集することによって、プロジェクト目標達成の成否は判断されるものである（その点において、各国で発現している連携状況やインパクトを APCD で逐次整理しておくことが重要であり、本調査の提言事項にも挙げられている）。

3-5 上位目標の達成状況

上位目標は、「アジア太平洋地域において、1) 障害者のエンパワメントと、2) 「障害者が権利を保

障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」に向けての変化が促進される」ことである。

<指標>

1. 上位目標達成に向け、APCD 及び APCD と協力関係にあるアジア太平洋地域の FP、AO およびその他の関係団体が行う活動の数
2. 上記（1）以外の組織／人による、上位目標達成に向けた組織の数及び活動の数

APCD および FP/AO など関係団体との協同活動を通して、域内は上位目標が掲げる社会状況に向けて漸進しているものと判断できる。上述の「成果およびプロジェクト目標の達成状況」の項において示された APCD と FP/AO との連携活動の蓄積も、上位目標に向けて着実に進展してきたことを示唆するものである。以上の観点から、本評価ではプロジェクトが上位目標の達成（障害者エンパワメントとバリアフリー社会への促進）に向けて漸進しているものと判断した²。

3-6 実施プロセス

3-6-1 コミュニケーション

(1) APCD 内部のコミュニケーション

APCD が財団に移行して以来、APCD 内部のコミュニケーション体制は徐々に改善されてきた。現在ではマネージャークラス以上によるマネジリアルミーティングやセクション内部会議、各セクションにまたがるインターセクション会議など、情報交換に関するコミュニケーションの体制＝ミーティングの体制は十分に整備されている。

(2) FP/AO と APCD のコミュニケーション

(特に) AO においては通信インフラや言語能力等の問題で、APCD とのコミュニケーションが困難となっている例が散見されている。今後、モニタリング・フォローアップ体制の充実が図られる過程において、これらコミュニケーションの取り方についても改善されることが期待される。

(3) 理事会と APCD のコミュニケーション

毎月の APCD 理事会 (APCD Executive Board) において、各理事は APCD の活動進捗について報告を受け、随時助言を行っている。財団に移行して以来、両者間のコミュニケーションは漸次改善されているものと判断できるが、今後は更に両者間のコミュニケーションの頻度のみならず、多様な面 (例えば計画内容や活動結果への技術的アドバイス、組織運営にかかるアドバイス、ファンドレイジングにかかるアドバイス・支援等) において、理事会の役割が活発化することが期待される³。

3-6-2 モニタリング体制

本プロジェクトでは C/P および日本人専門家が対象国を訪問する際に、FP/AO の活動状況をモ

² 本上位目標については指標計測が困難であったため、プロジェクトの活動実績から総合的に判断した。今後は今般調査において改訂された上位目標並びに指標に基づいて、終了時評価等が実施される。

³ 今般調査では、一部の理事メンバーが APCD の活動に更に積極的に参画したい～計画承認や助言のみならず、計画策定段階からの参画を希望するなど～旨を表明する例もあった。

ニタリングし、適宜フォローアップや助言を行っている。今後はモニタリングにかかるフォーマットなどをはじめ、一定のモニタリング方法を定めて、更に効率的・効果的に実施してゆくことが期待される。

第4章 評価5項目による評価結果

調査団による、評価5項目の評価結果は、以下の通りである。

4-1 妥当性

4-1-1 タイ国政府の政策との整合性

タイ国は国連障害者権利条約を ASEAN においていち早く批准した国でもあり、障害者支援セクターは重要政策の1つと位置づけられている。また、セクター政策として「第3次障害者の生活の質の向上開発計画（2007-2011年）」も策定しており、その重要性はタイ国政策の中でも確固とした位置づけがなされている。

また、タイ国の外交政策の側面からも、現在では TICA を中心として域内の国際協力促進が謳われており、本件のような広域案件は外交政策の方向性にも整合していると判断できる。

4-1-2 国際的政策・政治動向との整合性

アジア太平洋地域では障害者政策の柱として「第2次アジア太平洋障害者の10年（2003～2012年）」および地域行動計画である「行動のためのびわこミレニアム・フレームワーク（Biwako Millennium Framework : BMF）」、「びわこプラス5（BMF+5）」などが掲げられており、域内の障害者支援を促進する動きがみられる。APCD はこれらの政策を実行するうえでのキープレーヤーとして位置づけられており、その観点からも APCD の活動および組織強化を支援する本プロジェクトは国際的な政策・動向に整合している。

4-1-3 日本国政策（国別援助計画）との整合性

日本の対タイ国別援助計画（平成18年）において、「人間の安全保障」の重要性が掲げられているとともに、日本の行う援助アプローチの有効な手段として「南々協力」の積極的な活用が謳われている。

また、具体的な事業計画を定める対タイ国事業展開計画（ローリングプラン）（平成21年）においては、障害者支援セクターが「社会的弱者支援」の重点コンポーネントの1つと位置づけられており、「障害者の社会的自立促進への取り組み」を行う重要性が掲げられている。同時に南々協力もまた重要な援助アプローチと位置づけられている。

以上のことから、本プロジェクトは日本国の国別援助計画および事業展開計画と整合しているものと判断できる。

4-1-4 ターゲットグループのニーズとの整合性

(1) APCD のニーズ

本プロジェクトのフェーズ2計画時において、APCD は将来の自立発展性を見据えた組織形態を目指しており、そのための組織移行及び組織強化にかかる技術支援ニーズを有していた。また、これまでフェーズ1において研修を受けた人々との連携を深め、当事国において活動を展開することが APCD の活動指針の1つとして掲げられていた。

本プロジェクトは、組織移行・強化への支援並びに当事国での活動を中心にプロジェクトがデザインされており、APCD の求めているニーズに整合しているものと判断できる。

(2) 障害当事者組織・支援組織のニーズ

アジア太平洋地域においては障害当事者組織の強化、関係組織間の連携促進といった動きはみられてきたものの、本プロジェクト計画時の 2007 年においては、それら機会は依然として限定的であった。そのため、APCD を通じて組織間の連携を促進する本プロジェクトは、障害当事者組織・支援組織のニーズにも整合していたものといえる。

また、本プロジェクトではクロス・ディスアビリティの視点とともに、フェーズ 1 で裨益対象となりづらかった聴覚障害者および知的障害者に対する更なる支援ニーズとプロジェクトへの巻き込みを考慮し、フェーズ 2 ではこの 2 つの障害に活動の焦点を当てており、この点においてもターゲットグループのニーズに合致したプロジェクトデザインとなっている。

4-1-5 プロジェクト対象地の規模にかかる適切性

本プロジェクトは APCD がミッションとして掲げるアジア太平洋地域の 32 カ国を広く対象としているが、すべての国に等しく支援を行うことは困難であるため、実質的にはタイ周辺国である CLMV (カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム) 諸国に重点を置きながら日本人専門家およびタイのリソースパーソンによる研修・ワークショップを実施している。CLMV 諸国以外についてもその濃淡こそあるものの研修や地域セミナーの開催等を通じて支援を行っている。

プロジェクト目標を達成するためにこのような規模の選定は妥当であり、その規模に即した濃淡のある対応は適切と判断できる。

なお、今後は他の関係機関とともにサブリージョナルなアプローチを発展させながら、CLMV 諸国以外の地域に対する活動の展開が望まれる。

4-2 有効性

4-2-1 プロジェクト目標および成果の達成度／達成見込み

本プロジェクト目標並びに成果 1 はこれまで順調に進捗しており、プロジェクト終了時までに達成する可能性が高い。APCD の組織運営能力強化にかかる成果 2 についてのみ、今般調査を契機に新たな活動 (マスタープランの作成) が加えられたため、その達成見込みについては今後の活動進捗に委ねられる。

4-2-2 プロジェクト目標・成果達成にかかる貢献要因

本プロジェクトの実施においては、下記の点がプロジェクト目標および成果達成への貢献要因として特筆される。

(1) 障害当事者および当事者組織の積極的参加

本プロジェクトでは障害当事者および障害当事者組織が各種の活動において、リソースパーソンとして活躍しており、成果の発現に大きな貢献をしている。リソースパーソンは自国の活動のみならず、近隣諸国にまで訪問し、ワークショップにおいてレクチャーを務めるといった例まで生まれてきている。

(2) 国際機関との連携

UNESCAP や WHO との連携による会議、ワークショップの開催を契機として、APCD の知名

度の向上や関係団体との新規／フォローアップ活動が促進された。

4-2-3 プロジェクト目標・成果達成にかかる阻害要因

APCD 財団移行への法的プロセスが想定以上の時間を要する結果となり、成果2に関連する組織強化の活動進捗に影響を与えた。

4-3 効率性

4-3-1 人的投入

(1) 日本側人的投入

日本人長期専門家の投入は適切であったと判断される。特に SbKM 手法など新たな情報支援にかかるツールは、タイ国側に技術の蓄積が少なかった分野であり、効果的な投入と評価できる。

また、短期専門家の投入も適切であったが、とりわけ障害当事者の短期専門家派遣は障害者エンパワメントという観点から対象国に対して大きな効果をもたらし、実際に各国で当事者セルフヘルプグループが立ち上がっている点は特筆するに値する。

(2) タイ国側人的投入

これまで APCD は予算上の制約から限られた人数の職員で活動を展開してきた。タイ国側人員の献身的努力によって、少人数体制が活動に大きな支障を来すことはなかったが、今後 APCD の活動が更に増大する過程においては追加人員が必要と考えられる。

他方、プロジェクトの活動に際しては、障害当事者がリソースパーソンとして活躍しており、この人的投入も効果的かつ効率性の高い投入と評価できる（貢献要因と同様）。

4-3-2 物的投入

本プロジェクトでは特筆すべき物的投入は行われていない。

4-3-3 本邦研修・第三国研修（現地ワークショップ）

本プロジェクトでは APCD 職員、APCD 理事会メンバー、および障害当事者・支援者が本邦研修に参加している。APCD 職員や理事会メンバーは、日本での経験をプロジェクト活動に直接的、間接的に活用している（KM 活動など）。また、障害当事者・支援者については、日本で得た知見を自らの障害当事者組織の活動に導入し始めており、本邦研修の成果が着実に生まれている⁴。

4-3-4 その他（補完・重複活動）

多数の NGO との連携が APCD の活動成果に対して、大きな補完効果をもたらしている。APCD が作成した DVD を連携先の NGO が有効活用する例など、成果物の活用をはじめ、情報発信や情報伝達、政府への働きかけ等、APCD の活動成果にかかる効率性を高める有効な連携となっている⁵。

⁴ タイ国では自閉症グループと知的障害者グループはそれぞれ独立して活動することが一般的であったが、日本の例を見聞した結果、タイ国においても両グループ協同の活動を導入するようになっていく。

⁵ Disabled Peoples' International Asia-Pacific Region、Asia-Pacific Disability Forum、Inclusion International、CBM、Handicap International、World Vision、Sightsavers International、Leonard Cheshire Disability International、WFD などが代表的な連携相手として挙げられる。

他方、非効率性に繋がる重複活動はみられない。

4-4 インパクト

本プロジェクトの実施を通して、多くの対象国では APCD との協同活動によるインパクトが発現している。下記に特筆すべき一例を挙げる。なお、上位目標達成の見込みについては上述 3-5 参照。

4-4-1 プラス・インパクト

(1) 一般

- ・FP や AO は本プロジェクトの研修参加を通して、障害当事者を中心に据えた活動の重要性・手法といった研修内容そのものの習得に加えて、研修コースの構成や研修実施にかかるロジスティック管理などの研修実施方法もあわせて学び取り、自らの組織が実施する研修に適宜活用し始めている。

(2) アジア太平洋地域

- ・BR アジア太平洋ネットワークに代表されるように、アジア太平洋において地域間を横断する障害当事者のネットワークが構築され始めている（2010 年 1 月の CDSHOD ワークショップを契機として、サブリージョナルなネットワーク：ASEAN Disability Forum なども検討されている）。

(3) ベトナム社会主義共和国

- ・ダナン保健局の地方行政官が本プロジェクトでの DVD 作成業務にかかわったことを契機として、ベトナム保健省における CBR 委員会のメンバーに選任され、政策立案に携わるようになっていく。
- ・本プロジェクトの研修参加者によって自閉症と知的障害の父母団体が結成された。
- ・ワールドヴィジョン・ベトナムでは、同組織のコミュニティ開発プログラムに「インクルーシブ開発」の視点を取り入れるようになった。これは本プロジェクトへの参加を契機としたものであり、今ではベトナム全土の 30 箇所の拠点で採用されているコンセプトとなっている。

(4) ラオス人民民主共和国

- ・フェーズ 1 からの研修参加者等を中心として、ラオス最大の障害当事者団体であるビエンチャン障害者協会（Vientiane Capital Disabled People's Association : VCDPA）が結成された。同団体はプロジェクトの DVD 作成活動を通して、現在では国家の障害者支援政策にかかる策定プロセスにもかかわっている。

(5) フィリピン共和国

- ・同国最大のショッピングモールである SM スーパーモール（SM Supermall : SM）と APCD が協同で DVD の作成を行った。同社が経営する全国 200 の映画館において、作成された映像が上映されており、社会における啓蒙活動に大きな貢献を果たしている（年間約 700 万人が視聴しているものと推定）。

(6) パキスタン・イスラム共和国

- ・教育省および特別教育省における教員研修指針に障害関連の内容が取り入れられることとなった。

(7) ミャンマー連邦共和国

- ・プロジェクトによる各種団体が意見交換できるファシリテート活動を積み重ねることによって、全国レベルの障害当事者組織が設立された。

(8) タイ国

- ・同国において初めての知的障害者の障害当事者組織（Dao Ruang）がプロジェクト活動を契機として発足した。

(9) キルギス共和国

- ・様々な障害分野に亘る障害当事者組織の全国組織が、本プロジェクトの活動～CDSHOD ワークショップを契機として発足した。

4-4-2 マイナス・インパクト

- ・特筆すべきマイナスのインパクトは生じていない。
- ・ただし、今後 APCD に対して過度の依存心が生じないよう、AO との連携活動においては細心の注意が必要である。

4-5 持続性⁶

4-5-1 政策面

タイ国政府が障害者支援政策を重要視し、また、APCD を障害者分野に関する域内協力を行う際の重要な実施機関であるとの認識を継続的にもつ可能性は高い。

4-5-2 組織面

APCD の組織体制はフェーズ2が開始されてから着実に強化されている。組織の持続を図るうえで重要な点である APCD の組織的な位置づけ（国際機関、国際 NGO、国際 GO のいずれか）についてまだ不透明であるが、APCD 理事メンバー内で早期に位置づけを明白化しようとする動きが生まれつつある。今後、成果2にかかる活動を通して、更に組織面での持続性が高まることが期待される。

4-5-3 財政面

現時点で APCD の活動資金としてタイ国政府から年間約 700 万バーツの予算配分がなされており、プロジェクト終了時（2012 年）まで配分されることとなっている（2012 年以降の予算措置については現時点では不明）。また、APCD 財団は独自の資本金（約 3,400 万バーツ）を有する。しかし、現在の

⁶ 後述の提言や所感の項にあるとおり、現時点においては APCD の将来に亘っての方向性（例えば国際 NGO を目指す、国際機関を目指す等々）が関係者間で議論されている段階にある。組織の目指す方向性によっては、政策面や財政面での持続性見通し等にも影響があると考えられるが、本項では現地調査時において討議された M/M の添付書類である Evaluation Report の記載に即して記載する。

活動規模で事業を継続した場合、政府からの配分額（700 万バーツ）は年間の人件費に相当する額であり、活動費を含めると更なる予算確保が必要となる。そのため、今後の財政的な持続性を図る際、ファンドレイジング活動を通じて外部からどれだけの資金を獲得することができるかが今後の課題といえる。現在、APCD 自身でファンドレイジングにかかる活動を展開しており、今後は政府以外の資金リソースを積極的に開拓してゆく予定である。

4-5-4 技術面

人材育成・研修活動や KM にかかる活用技術は、フェーズ 1 からの C/P を中心に定着する段階に入っており、一定の持続性が認められる。今後は 2009 年 10 月に新規入職したスタッフに対する技術移転を進め、また技術移転だけにとどまらず、C/P の自立した活動に繋がるよう配慮することで、持続性は更に高まるものと予想される。

4-6 結論

本プロジェクトはこれまで着実に目標、成果の達成に向けて進展している。特に成果 1 については、顕著な進展が確認された。成果 2 については、今後更に取り組むべき組織強化への課題も残されているものの、APCD が財団に移行した事実は重要な成果実績の 1 つとして特筆されるべきものである。

また、広域案件である本プロジェクトにおいては、数多くの対象国で多数のインパクトが発現している（障害当事者組織・支援組織・政府組織間の連携等）。FP や AO との協同活動に重点を置いてきた本プロジェクトの基本コンセプトが、対象国における数多くのインパクト発現に繋がったものと考えられる。

このように多くの成果とインパクトを上げてきた APCD であるが、今後も障害者支援にかかる重要な地域センターとして機能を果たしてゆくためには、これまで以上に確固たる組織の目標、戦略並びに持続可能な運営体制を構築・強化してゆくことが重要となっている。今後は成果 1 にかかる各種活動を継続してゆくとともに、今般調査で新たに付加されたマスタープランの策定を通して、更に持続が可能な組織体となってゆくことが期待されている状況にある。

第5章 提言

5-1 マスタープランの作成

APCD が更に強固かつ持続性のある組織となるために、APCD の組織運営体制、財政計画、人材育成計画および活動戦略・計画を含んだマスタープランの作成が必要となる。マスタープランの期間に関して、プロジェクトフェーズ2終了後の持続性を考慮し、2012年のプロジェクト終了時以降も含めた2011年から2015年の5カ年計画を日本側調査団から提案している。また、同プランの作成に当たっては、作成のためのスケジュール（ロードマップ）を作成し、APCD 理事を含め関係者と進捗状況を共有しながら、着実に計画作成及び計画実行されることが望まれる。

APCD がその活動を維持・発展させるべく明確な目標を持つマスタープランづくりをすすめるためには、APCD が今後国際 NGO（あるいは国際機関）をめざすのか、あるいは障害者支援にかかる国際活動を中心としながらも、国内 NGO にとどまるのか、その方向を決めることが前提となり、委員会および理事会において本件に関する正式な協議が早期になされることが期待される。

5-2 APCDにかかる情報発信・広報活動の充実

APCD はこれまで約7年間の活動を経て、その知名度や活動の成果がアジア太平洋地域に広がりつつあり、プロジェクト目標にかかげる「アジア太平洋地域における、障害当事者組織と各国政府を含む障害者支援組織の連携を促進する地域センター」としての機能を果たしつつある状況である。これからアジア太平洋地域の障害者支援を担う一組織として認識される一方、今後、組織として果たすべきアカウンタビリティの強化が重要となる。また APCD の実施体制が省から財団へ以降したことを受け、財団独自の活動資金確保（ファンドレイジング）を含めた運営管理が必要となり、今後ますます広報に力を入れていく必要がある。このアカウンタビリティ及び広報の観点から、APCD の活動計画やこれまでの成果およびインパクトをデータ等を用いて対外的に発信していくための活動が求められる。具体的な取り組みとして、APCD 年報の作成・発信、SbKM 活動が挙げられる。

5-3 フォローアップ体制の充実

APCD と対象国の FP および AO との連携を通じて、各国でさまざまな成果やインパクトが発現しており、これらの情報を体系的に整理・把握することは、前述の情報発信・広報活動を促進するための重要な要素の1つといえる。また、AP の作成のみにとどまらず、AP 実施の過程におけるサポートも重要であることから、今後フォローアップ体制の更なる充実が求められる。しかし、APCD の限られたマンパワーで、各国に存在する200以上のFPおよびAOにフォローアップを実施することは容易なことではないため、効率的で無理のないモニタリング方法を模索し、実施されることが望ましい。

5-4 クロス・ディスアビリティとイシュー・ベースの活動促進

各種障害に対する活動はさることながら、障害種別を問わずクロス・ディスアビリティを基本理念としながら各障害種別に共通する課題への対応を進展させてゆくことが求められる。また障害を障害当事者のみならず社会全体の問題としてとらえ、APCD の活動を通じて、イシュー・ベース（例 バリアフリーや障害者の人権に関する問題）の活動を促進することが望まれる。

5-5 アジア太平洋地域におけるサブリージョナル・メカニズムの形成促進

APCD は現在、アジア太平洋 32 カ国を対象に活動を展開しているが、距離や経費的な側面から、32 カ国に対し同規模の支援を行うことが困難な状況であり、今後、アジア太平洋地域全体の障害者エンパワメント及びバリアフリー社会を実現するために、サブリージョナル・メカニズム（小地域活動）を促進し、中央アジア、南アジア、大洋州等の各地域ごとに活動を展開していく仕組みづくりが求められる。他ドナーにおいても、サブリージョナルなアプローチを促進していく動きがみられ、UNESCAP では、各地域にサブリージョナル・オフィスを設立し、「アジア太平洋障害者の十年」の実現に向けた具体的な取り組みが行われている。APCD は引き続き国連機関や他団体との連携活動を通じてサブリージョナルな活動のメカニズムを構築していくことが望まれる。

5-6 プロジェクト活動におけるリソースパーソンとしての障害当事者の参加促進

障害者のエンパワメントとバリアフリー社会を促進する上で、障害当事者のプロジェクト参加は必要不可欠であり、今後も引き続き障害当事者がプロジェクト活動のリソースパーソンとして積極的に活用されることが望まれる。

5-7 民間セクターとの連携促進

「障害者が権利を保障され非障害者とともに諸活動に参画できるバリアフリー社会」の実現に向けて、民間セクターの巻き込みは重要な要素の1つであり、APCD は民間セクターとの連携活動を更に増加させてゆくことが望まれる。

5-8 国連障害者権利条約への理解促進

APCD の活動を通じて各国政府及びステークホルダーが国連障害者権利条約の理解を深め、条約に沿った活動が実行されるために、APCD は今後もファシリテーションの役割を果たしてゆくことが望まれる。

付 属 資 料

1. 協議議事録 (M/M)
2. 評価グリッド
3. 質問票及び同調査結果

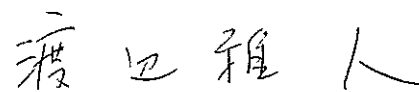
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED IN
THE KINGDOM OF THAILAND
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE PROJECT
ON
ASIA-PACIFIC DEVELOPMENT CENTER ON DISABILITY (APCD)
PROJECT PHASE 2

The Japanese Mid-term Review Team (hereinafter referred to as “the Japanese Team”), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Masato Watanabe, visited the Kingdom of Thailand and the surrounding countries from January 17 to February 6, 2010.

During its stay in the Kingdom of Thailand, the Japanese Team had a series of discussions with the Thai authorities concerned, jointly reviewed the progress and achievement of the Japanese Technical Cooperation, i.e., “Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) Project Phase 2” (hereinafter referred to as “the Project”) and exchanged views on the project activities to fulfill the Record of Discussion and the Minutes of Meetings.

As a result of the discussions, the Japanese Team and the Thai authorities concerned agreed on the matters referred in the document attached hereto.

Bangkok, Feb 5, 2010



Mr. Masato Watanabe
Team Leader,
Japanese Mid-term Review Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Dr. Tej Bunnag
Chairperson,
Executive Board,
Foundation of the Asia-Pacific
Development Center on Disability,
The Kingdom of Thailand

ATTACHED DOCUMENT

THE REPORT OF MID-TERM REVIEW
ON
THE TECHNICAL COOPERATION
ON
“ASIA-PACIFIC DEVELOPMENT CENTER ON DISABILITY (APCD) PROJECT
PHASE 2”

February 5, 2010

JOINT REVIEW TEAM

TB
P+

Table of Contents

| | |
|--|----|
| <u>1. Introduction</u> | 1 |
| 1-1. Background | |
| 1-2. Objectives of the study | |
| 1-3. Reviewers: Joint Review Team | |
| 1-3-1. Japanese side | |
| 1-3-2. Thai side | |
| 1-4. Major activities of the evaluation | |
| <u>2. Methodology of the Study</u> | 4 |
| 2-1. Guideline and Framework of the Review | |
| 2-2. Criteria for Evaluation | |
| 2-3. Reference Materials and Information | |
| <u>3. Outline of the Project</u> | 5 |
| 3-1. Overall Goal | |
| 3-2. Project Purpose | |
| 3-3. Outputs | |
| <u>4. Revision of PDM</u> | 6 |
| <u>5. Findings</u> | 6 |
| 5-1 Achievement | |
| 5-1-1 Outputs | |
| 5-1-2 Project Purpose | |
| 5-2. Implementation Process | |
| 5-2-1 Communication | |
| 5-2-2 Monitoring | |
| <u>6. Evaluation</u> | 15 |
| 6-1 Relevance | |
| 6-1-1 Consistency with the development policy of the government | |
| 6-1-2 Consistency with Japanese policy/program | |
| 6-1-3 Needs of target group | |
| 6-1-4 Appropriateness of the scale of the Project (32 countries) | |
| 6-2. Effectiveness | |
| 6-2-1 Achievement of Project purpose and outputs | |
| 6-2-2 Contribution factors | |
| 6-2-3 Inhibition factors | |

6-3. Efficiency

6-3-1 Manpower input

6-3-2 Material input

6-3-3 Training in Japan

6-3-4 Budget amount and disbursement timing

6-3-5 Complementary effects and duplicated activities

6-4. Impacts

6-4-1 Prospects of the achievement of Overall goal

6-4-2 Positive impact

6-4-3 Negative impact

6-5 Sustainability

6-5-1 Policy aspect

6-5-2 Organizational aspect

6-5-3 Technical aspect

6-5-4 Financial aspect

6-6 Conclusion

7. Recommendations.....23

List of ANNEX

- ANNEX1 Project Design Matrix(PDM Version 2)
- ANNEX2 Project Design Matrix(PDM Version 3)
- ANNEX3 Revised Point of PDM
- ANNEX4 List of Persons related to APCD project
- ANNEX5 Government Focal Points- Phase2
- ANNEX6 List of APCD Associate Organizations-Phase 2
- ANNEX7 List of Interviewees
- ANNEX8 Dispatch of Japanese Experts
- ANNEX9 Training of Counterpart Personnel in Japan
- ANNEX10 List of Signed Action Plan
- ANNEX11 Local Cost
- ANNEX12 Plan of Operation(PO)
- ANNEX13 List of Workshop, Seminar and Documentation
- ANNEX14 Evaluation on SbKM by partner organizations
- ANNEX15 Evaluation on training courses by participants

1. Introduction

1-1. Background

It is estimated that there are some 400 million persons with disabilities living in the Asian and Pacific region. Most of them lack access to education, employment and other social and economic opportunities.

The Government of Japan took the initiative, in an effort to achieve the full participation and equality of persons with disabilities, to declare the Asian and Pacific Decade of Disabled Persons from 1993 to 2002 by the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (UNESCAP). Currently, the second Asian and Pacific Decade of Disabled Persons is rigorously observed to implement “the Biwako Millennium Framework for Action Towards an Inclusive, Barrier-Free and Rights-Based Society for Persons with Disabilities in Asia and the Pacific”, which was declared in Otsu city, Japan in October 2002.

In this context, in October 2000, the Government of the Kingdom of Thailand officially requested the Government of Japan’s cooperation in establishing the Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD). The Government of Japan agreed to this request and the APCD Project was commenced in 2002.

In September 2006, the terminal evaluation of the APCD Project, conducted by both Japanese and Thai sides, recognized the high level of achievement and a number of impacts of APCD’s activities . It was recommended that: (a) the sustainability of APCD be strengthened; (b) the needs of specific groups of disabilities be considered; and (c) the inclusion of self-advocates, their families, and other significant actors be further promoted.

Based on this background, the Government of the Kingdom of Thailand officially requested further cooperation for APCD from the Government of Japan.

In response to the request, the APCD project Phase 2 was started on August 2007.

1-2. Objectives of the study

- (1) To examine the progress and the current achievement of the Project;
- (2) To identify the problems concerning the implementation of the Project and seek for the possible solution for them (if necessary);
- (3) To exchange views and have series of discussions with concerned authorities on the direction of the Project afterwards and desirable measures to be taken for the successful implementation of the Project; and
- (4) To confirm and agree on the result of (1)-(3) as the Minutes of Meetings between the Japanese and Thai sides.

1-3. Reviewers: Joint Review Team

The review of the Project was conducted by both Japanese and Thai sides. The main findings were documented in this Report formulated by the joint review team composed of the members as follows:

1-3-1. Japanese side

| | |
|----------------------|---|
| Mr. Masato Watanabe | Team Leader, Japan International Cooperation Agency (JICA) |
| Mr. Ryosuke Matsui | Networking of FPs and AOs, Professor of Hosei University |
| Ms. Yukiko Nakanishi | Empowerment of People with Disabilities, Asia Disability Institute(ADI) |
| Mr. Koji Matsumoto | Cooperation Planning, JICA Human Development Department. |
| Mr. Jun Totsukawa | Evaluation Analysis, Sano Planning Co.Ltd. |
| Ms. Kaoru Takimoto | Personal Assistant for Ms. Nakanishi |

1-3-2. Thai side

| | |
|---------------------------|--|
| Mr. Monthian Buntan | Executive Board member, APCD Foundation. |
| Dr. Benja Chonlatanon | Executive Board member, APCD Foundation. |
| Ms. Saowalak Thongkuay | Executive Board member, APCD Foundation. |
| Mr. Akiie Ninomiya | Executive Director, APCD |
| Ms. Jirat Wachirasreechai | Administrative Manager, APCD |
| Mr. Somchai Rungsilp | Networking and Collaboration Manager, APCD |
| Ms. Nongluck Kisorawong | Deputy Administrative Manager, APCD |
| Ms. Duangnarumol Dokruk | Chief of Human Resource Development, APCD |

1-4. Major Activities of the Evaluation

| Date/Day | Schedule |
|--------------|--|
| 17 Jan./Sun. | Narita-Bangkok-Vientiane |
| 18 Jan./Mon. | Courtesy visit to JICA Lao PDR Office |
| | Interview with Lao Disabled People's Association |
| | Interview with Lao National Television |
| 19 Jan./Tue. | Interview with Vientiane Capital's Disabled People Association |
| | Interview with a community leader |
| | Courtesy visit/ interview with Ministry of Labor and Social Welfare |
| | Vientiane-Hanoi |
| 20 Jan./Wed. | Interview with Hanoi Association of the Deaf |
| | Interview with Club of Parents of Autistic Children |
| | Courtesy Visit / interview with National Coordination Council on Disability (NCCD) |

| | |
|--------------|---|
| | Meeting with JICA Viet Nam |
| 21 Jan./Thu. | Interview with Reaching Out Handicraft |
| | Interview with Inclusive Development on Action (IDEA) |
| | Interview with Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital |
| | Interview with Hanoi School of Public School |
| | Meeting with CBR Asia-Pacific Network representatives in Vietnam |
| 22 Jan./Fri. | Meeting with World Vision Vietnam |
| | Follow-up evaluation activities |
| | Hanoi-Bangkok |
| 23 Jan./Sat. | Survey findings documentation |
| 24 Jan./Sun | Survey findings documentation, Internal meeting |
| 25 Jan./Mon | Interviews with APCD board member |
| | Interviews with participants of CDSHOD workshop |
| 26 Jan./Tue | Interviews with Japanese Experts |
| | Interviews with UNESCAP |
| 27 Jan./Wed | Interviews with participants of CDSHOD workshop |
| | Interviews with APCD Foundation Staff |
| 28 Jan./Thu | Interviews with participants of CDSHOD workshop |
| 29 Jan./Fri | Interviews with participants of CDSHOD workshop |
| 30 Jan./Sat | Survey findings documentation / Interview with Dao Ruang group |
| 31 Jan./Sun | Internal meeting |
| 1 Feb./Mon | Interviews with APCD board member |
| | Interviews with chairman of APCD executive board |
| | Interviews with Association for person with intellectual disability in Thailand |
| | Association of Parents of Thai Persons with Autism, |
| 2 Feb./Tue | Interviews with UNESCAP / Interviews with groups of persons with hearing impairment (National association of Thailand, Thai deaf children women federation network) |
| | Interviews with WHO representative to Thailand |
| 3 Feb./Wed | Interviews with APCD board member |
| | Discussion for Revision of PDM / Report of Mid-term Review, Discussion about M/M |
| | Interviews with Ministry of Social Development and Human Security |
| 4 Feb./Thu | Interviews with APCD board member |
| | Report of Mid-term Review for APCD Executive board member |
| | Discussion about M/M |

| | |
|------------|--------------------------------|
| 5 Feb./Fri | Modification of M/M |
| | Report to JICA Thailand office |
| 6 Feb./Sat | Leave for Japan |

2. Methodology of the Study

2-1. Guideline and Framework of the Review

The review was conducted in compliance with “*JICA’s Guideline of Project Evaluation; the Practical Method for Project Evaluation Study*” (2004). In this method, a Project Design Matrix (hereinafter referred to as “PDM”) represents the project design, and the outcomes of the Project are compared to the PDM and evaluated according to the five evaluation criteria, i.e. relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability.

The original PDM jointly approved on 12 July 2007 (hereinafter referred to as “PDM Version 1”), and revised on 8 August 2008 (hereinafter referred to as “PDM Version 2”). This evaluation is based on the PDM Version 2.

2-2. Criteria for Evaluation

(1) Relevance

Relevance of the Project is mainly reviewed focusing on the consistency of Project Purpose and Overall Goal with the development policy of Thailand and needs of the beneficiaries.

(2) Effectiveness

Effectiveness is assessed by evaluating the actual outcomes of the Project focusing on the relationship between Purpose and Outputs.

(3) Efficiency

Efficiency of the Project implementation is analyzed with emphasis on the relationship between Outputs and Inputs in terms of timing, quantity and quality.

(4) Impact

Impact of the Project is assessed by either positive or negative influence caused by the Project, which was not originally expected in the Project plan.

(5) Sustainability

Sustainability of the Project is assessed in organizational, institutional, financial, and technical

Handwritten initials: TB and a signature.

aspects by examining the current achievements of the Project, whether it is going to be sustained or expanded after the Project period.

2-3. Reference Materials and Information

The following materials and sources were reviewed:

- (1) Minutes of Meetings (M/M) signed on 27 April 2007
- (2) Record of Discussion (R/D) and Minutes of Meetings (M/M) signed on 12 July 2007,
- (3) Minutes of Meetings (M/M) on the amendment of the PDM signed on 8 August 2008
- (4) PDM Version 2 (Amended PDM on August 2008)
- (5) Minutes of Meetings (M/M) on the revision of the R/D signed on 22 January 2010
- (6) Progress Reports, Monitoring Reports and other documents
- (7) Results of questionnaires, information obtained through interviews with the APCD Executive Board members, the APCD Foundation staff, NEP staff, Japanese Experts, Focal Points (FPs), Associate Organizations (AOs) and other partners.

3. Outline of the Project (Up to the mid-term review)

The summary of the Project is described in PDM. This review is conducted based on the PDM Version 2 (See ANNEX 1 for details).

3-1. Overall Goal

An inclusive, barrier-free and rights-based society and the empowerment of persons with disabilities (PWDs) in the Asia-Pacific region are promoted.

3-2. Project Purpose

APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and the empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.

3-3. Outputs

(1) Output 1: To develop more effective and sustainable networking and collaboration among APCD, FPs, AOs and other relevant organizations.

(2) Output 2: To strengthen the managerial and administrative capacity of APCD to become internationalized.

TR
72

4. Revision of PDM

As already mentioned in 2-1, this review is conducted based on the PDM version 2.

The joint evaluation team recommends modify the PDM version 2 for the latter half of project, so as to enhance effectiveness of the Project. The modified points are as follows (SEE ANNEX 3);

5. Findings

5-1 Achievement

5-1-1 Outputs

Output 1.

To develop more effective and sustainable networking and collaboration among APCD, FPs, AOs and other relevant organizations

-Objectively verifiable indicator:

1. 7 selected FPs agree to their roles in documents by Aug. 2009.
2. 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009.
3. 30 Action Plans are prepared by Aug.2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012.
4. 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared.
5. 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012.
6. 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility.
7. 80% of participants are satisfied with training courses.
8. 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities.

- The Project has steadily shown the progress towards the achievement of the Output 1. APCD has been playing a crucial role in developing networking and collaboration among the organizations concerned through activities including the formulation of Action Plans with FPs and AOs, the implementation of workshops/trainings, the production of publications. The knowledge and skills obtained through these activities, which provided learning opportunities, are valuable assets of APCD.

1. 7 selected FPs agree to their roles in documents by August 2009.

(As of January 2010)

| | Name (country) of FPs |
|--|---|
| FPs agreed to their roles by signing documents | 1. Ministry of Labor and Social Development, Kyrgyz Republic |
| | 2. National Council on Disability Affairs, Philippines |
| | 3. Ministry of Labor and Social Protection of the Population, Tajikistan |
| | 4. Ministry of Health, Bhutan |
| | 5. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia |
| | 6. Ministry of Social Affairs, Indonesia |
| | 7. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR |
| | 8. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia |
| | 9. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Union of Myanmar |
| | 10. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan |
| | 11. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam |

2. 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009.

(As of January 2010)

| |
|--|
| Number of AOs agreed to their roles by signing documents |
| 37 |

3. 30 Action Plans are prepared by August 2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012.

(As of Jan. 2010)

| Action Plan | Country | % of implementation |
|---------------------------------------|--------------|---------------------|
| 1. Action Plan-NF20080301 | Japan | 100 |
| 2. Action Plan-DPI-AP20080411 | Asia-Pacific | 80 |
| 3. Action Plan-LDPA Deaf Unit20080714 | Lao PDR | 100 |
| 4. Action Plan-NILC 20080804 | Thailand | 100 |
| 5. Action Plan-APTPA_20080805 | Thailand | 100 |
| 6. Action Plan-FASID20080811 | Japan | 100 |
| 7. Action Plan-ROH 20080822 | Viet Nam | 100 |
| 8. Action Plan-DNRSH20080825 | Vietnam | 100 |
| 9. Action Plan-VCDPA 20080828 | Lao PDR | 70 |

Handwritten initials/signature

| | | |
|---|--------------|-----|
| 10. Action Plan-Jodenongkae 20081001 | Thailand | 100 |
| 11. Action Plan-APIDT 20080805 | Thailand | 100 |
| 12. Actions Plan-Worldvision 20081224 | Uzbekistan | 100 |
| 13. Actions Plan-Hanoi Deaf 20090203 | Vietnam | 50 |
| 14. Action Plan-APDRJ 20090302 | Asia-Pacific | 100 |
| 15. Action Plan-UAP 20090302 | Philippines | 100 |
| 16. Action Plan-NCDA 20090303 | Philippines | 100 |
| 17. Action Plan-STEP 20090311 | Pakistan | 100 |
| 18. Action Plan-DK 20090313 | Pakistan | 80 |
| 19. Action Plan-PNGADP 20090323 | PNG | 50 |
| 20. Action Plan-IJ 20090401 | Japan | 70 |
| 21. Action Plan-RBI 20090515 | Philippines | 100 |
| 22. Action Plan-MCCID 20090515 | Philippines | 100 |
| 23. Action Plan-LHI 20090519 | Philippines | 100 |
| 24. Action Plan-SM 20090525 | Philippines | 100 |
| 25. Action Plan-WVV20090623 | Viet Nam | 70 |
| 26. Action Plan-NISTE20090702 | Pakistan | 100 |
| 27. Action Plan-TDCWNF20090721 | Thailand | 70 |
| 28. Action Plan-Eden 20091022 | Myanmar | 50 |
| 29. Action Plan-MAB20091118 | Malaysia | 30 |
| 30. Action Plan-Family Support Network 20100128 | Myanmar | 30 |
| | Rate | 85% |

4. 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared.

| Sub-regional workshops conducted | Documented outputs and impacts |
|--|--------------------------------|
| 1) Workshop for the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD), Kyrgyz Republic (November 2008) | Bishkek Statement |
| | CDSHOD report |
| | Press release |
| | APCD Newsletter article |
| 2) 1 st Asia-Pacific | Bangkok Statement |

| | |
|---|---|
| Community-based Rehabilitation (CBR) Congress, Thailand (February 2009) | Summary of abstracts of all the presentations |
| | Press release |
| | APCD Newsletter article |
| | Publication on CBR (under development) |
| 3) Post-Congress Workshop, Thailand (February 2009) | Booklet on CBR |
| | APCD Newsletter article |
| 4) CDSHOD, Thailand (January 2010) | Joint statement by the participants (to be developed) |
| | Booklet on Self-help Organizations (SHOs) in the ASEAN region (to be developed) |
| | Press release |
| | APCD Newsletter article (to be developed) |

5. 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012.

(As of Jan. 2010)

| | Title | Collaboration (Knowledge Creators / Knowledge Supporters) | Country | Type |
|---|---------------------------------|--|-------------|---------|
| 1 | CBR initiative in Jodnongkae | Jodnongkae Sub-district Administrative Organization | Thailand | DVD |
| | | National Office for Empowerment of Persons with Disabilities (NEP) | | |
| 2 | Together We Can Make Changes | Vientiane Capital's Disabled People's Association (VCDPA) | Lao PDR | DVD |
| | | Lao Disabled People's Association (LDPA) | | |
| 3 | Inclusive Community Development | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal (APDRJ) | India | Booklet |
| 4 | Yes, You Can! | Reaching Out Handicraft (ROH) | Vietnam | DVD |
| | | Disability Resource and Development (DRD) | | |
| | | Inclusive Development Action (IDEA) | | |
| 5 | Community for All | World Vision Vietnam (WVV) | Vietnam | DVD |
| | | Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (DNRSH) | | |
| | | Danang Association of Persons with Disabilities (DNAPD) | | |
| 6 | From Why to How through ICT | MCCID College of Technology (MCCID) | Philippines | DVD |
| | | National Council on Disability Affairs (NCDA) | | |
| | | Resources for the Blind Incorporated (RBI) | | |
| | | Grayscale Business Management & Consultancy Services | | |
| | | Philippine Web Accessibility Group (PWAG) | | |

| | | | | |
|----|-----------------------------|--|-------------|---------|
| 7 | A Blind Architect | National Council on Disability Affairs (NCDA) | Philippines | DVD |
| | | United Architects of the Philippines Accessibility Committee (UAP) | | |
| 8 | SM Care | SM Supermalls Committee on Disability Affairs (SM) | Philippines | DVD |
| | | Life Haven Incorporated | | |
| | | National Council on Disability Affairs (NCDA) | | |
| | | Autism Society Philippines (ASP) | | |
| 9 | Beyond the Voice of Our Own | National Institute of Science and Technical Education (NISTE) | Pakistan | DVD |
| | | Special Talent Exchange Program (STEP) | | |
| | | Sightsavers International Pakistan (SI) | | |
| 10 | House of Wisdom | Danishkadah (DK) | Pakistan | Cartoon |
| | | All Sanghar Handicaped Association (ASHA) | | |
| | | Sindh Diability Forum (SDF) | | |

6. 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. 88.4% of the organizations participating in the development of Story-based Knowledge Management (SbKM) products responded they were satisfied with communication accessibility throughout the process (See the ANNEX 14).

7. 80% of participants are satisfied with training courses. 93% of the participants of APCD's training and workshop activities are satisfied with their contents. (See the Annex 15)

8. 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities. Most of the activities conducted by APCD are initiated and participated by ex-participants. Approximately 20% of the ex-participants have participated in SbKM activities and shared what they have learned with others (See the ANNEX 14).

Output 2.

To strengthen the managerial and administrative capacity of APCD to become internationalized

-Objectively Verifiable Indicator:

1. A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by August 2008.
2. A system to accommodate international advice in the APCD management is

Handwritten initials/signature in the bottom right corner.

- established and functional by August 2009.
3. A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by August 2009.
 4. 4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by August 2009.
 5. 7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by August 2009.

- The achievement of the activities in the indicators is as follows:

1. A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by Aug. 2008.

| | Month/Year |
|-----------|--|
| Completed | Memorandum of Understanding (MOU): Signed by the APCD Foundation and the Ministry of Social Development and Human Security, January 2009 |

2. A system to accommodate international advice in the APCD management is established and functional by Aug. 2009.

| | Month/Year |
|-------------|--------------|
| Established | October 2009 |

3. A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by August 2009.

| | Month/Year |
|----------|--|
| Prepared | 1. Official language: English, October 2009 2. Multi national staff: October 2009 |

4. 4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by August 2009.

(As of January 2010)

| | Month/Year |
|-----------|---|
| Conducted | 1. Blind Future Leaders' Dialogue, 2008-2010 (the Nippon Foundation) 2. 1 st Asia-Pacific CBR Congress, February 2009 (WHO) |

| | |
|--|---|
| | <ol style="list-style-type: none"> 3. SbKM activity , July 2009 (SM Supermalls) 4. KM Training in Japan, November 2009 (Japan Fundraising Association) 5. Institute on Disability and Public Policy, Nov. 2009 (the Nippon Foundation) 6. SbKM activity, October 2009 (Ministry of Education, Pakistan) |
|--|---|

5. 7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by Aug. 2009.
(As of Jan. 2010)

| | Name (country) of FP |
|----------------------------------|--|
| FP confirmed support in document | <ol style="list-style-type: none"> 1. Ministry of Health, Bhutan 2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia 3. Ministry of Social Affairs, Indonesia 4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR 5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia 6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar 7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan 8. National Council on Disability Affairs, Philippines 9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam |

- As shown above, much progress has been made towards the achievement of the Output 2.
- The importance of further strengthening the organizational capacity of APCD has been raised by APCD staff and other stakeholders.

5-1-2 Project Purpose

APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.

-Objectively verifiable indicators

- I. The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific

region.

2. The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and the empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.

- The Project has been making a steady progress towards the achievement of Project Purpose.
- It is evaluated that APCD has been already functioning as an effective regional center to facilitate networking and collaboration among governments and other organizations.
- The mid-term review mission confirmed that APCD's activities promoted the establishment of self-help groups and organizations of PWDs and strengthened the linkage among these groups and organizations, which resulted in their involvement in the policy making process.

1. The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.

The following FPs have signed a joint declaration to recognize APCD's role in the Asia-Pacific region at the Senior Officials' Meeting on South-to-South Cooperation on Disability, March 2009, UNESCAP:

1. Ministry of Health, Bhutan
2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia
3. Ministry of Social Affairs, Indonesia
4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR
5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia
6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar
7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan
8. National Council on Disability Affairs, Philippines
9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam

2. The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region

Bishkek Statement was adopted at CDSHOD, October 2008, attended by the representatives of self-help organizations of PWDs, government officials and UN agencies from the five Central Asian Countries.

Bangkok Declaration was adopted at CDSHOD, January 2010, attended by the representatives of self-help organizations of PWDs from the ASEAN countries.

5-2. Implementation Process

5-2-1 Communication

(Communication within APCD)

- A communication platform within APCD has improved over the past years. A system to share information and ideas among APCD staff, including regular meetings at the section level, the department level and the managerial level, has been established.

(Communication with FPs and AOs)

- E-mail and telephone are the primary communication tools with FPs and AOs. Some of FPs and AOs have limited communication infrastructure and language barriers, however, the Project has been making efforts to overcome such barriers.

(Function of the Executive Board—communication with APCD)

- The Executive Board meetings are held every month and the detailed records are kept for each meeting. The interviews with the Executive Board members illustrated their interest in an increased participation in the planning process of APCD's activities.

5-2-2 Monitoring

- APCD staff and Japanese experts visit FPs and AOs frequently and exchange information on the progress of their work in accordance with the Action Plans.

- With a solid mechanism to monitor the progress of activities by FPs and AOs, it will contribute more to the enhancement of their performance and more effective follow-up activities by APCD.

6. Evaluation

6-1 Relevance

6-1-1 Consistency with the development policy of the government

- Thailand is one of the three countries in the ASEAN region which ratified the United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities. The Government of Thailand emphasizes the importance to address the disability issues by adopting such policies as “Plan for the Development of the Quality of Life of the Disabled No.3 2007-2011”.
- The Second Asian and Pacific Decade of Disabled Persons aims to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society. Furthermore, the Biwako Millennium Framework (BMF) identifies APCD as an implementing agency of regional networking and collaboration. The Government of Thailand has indicated its support for the implementation of BMF and BMF Plus 5.
- Furthermore, the policy on international cooperation of the Government of Thailand recognizes its role in promoting bilateral and multilateral cooperation as well as collaboration with other countries, including the ASEAN member countries.
- The Project, therefore, is consistent with the policy of the Government of Thailand.

6-1-2 Consistency with Japanese policy/program

- The Japan’s Economic Cooperation Program for the Kingdom of Thailand places an emphasis on “human security” as one of major pillars for technical cooperation. “Human security” covers such vulnerable groups as PWDs. Moreover, south-to-south cooperation is considered an important approach for bilateral partnership between Thailand and Japan. APCD has actively been promoting south-to-south cooperation on disability in Asia-Pacific by utilizing the resources in the region.
- The Project, therefore, is consistent with the policy and program of the Japanese Government.

6-1-3 Needs of target groups

(Needs of APCD)

- The Project was designed with an aim to further promote networking and collaboration by utilizing human and information resources, in particular, ex-participants of the trainings conducted in the Project Phase 1. In order to continue such activities in the ex-participants’ respective countries, APCD needed skills and knowledge to create appropriate content which is applicable in various contexts.
- SbKM was newly introduced as an effective approach to document and disseminate APCD’s good practices as well as facilitate collaboration among ex-participants, FPs and AOs.

- The Project has responded to the needs of APCD to develop its capacity to conduct these activities.

(Needs of PWDs, their families and supporters)

- There is a movement towards the strengthening of self-help groups and organizations of PWDs in the Asia-Pacific region. These groups and organizations, however, face a lack of opportunities in exchanging knowledge and experiences. APCD has played an important role in providing platforms for them to interact and learn from one another, thereby promoting such initiatives as the formation of new self-help groups and organizations of PWDs and their families.
- The terminal evaluation of the Project Phase 1 pointed out the need for increasing the participation of persons with intellectual disabilities, their families and persons with impairments. There is a much demand for additional support for these groups, to which APCD has responded by conducting complementary activities to accelerate their participation, in addition to other cross-disability activities.

6-1-4 Appropriateness of the scale of the Project (32 countries)

- The disability issues remain as crucial challenges in the Asia-Pacific region. There is much expectation for APCD to continuously function as a regional center on disability.
- APCD has placed a focus of its activities on the ASEAN countries, and the Greater Mekong Sub-region Countries, in particular. Since it is difficult to conduct activities in all the target countries in the Asia-Pacific region, it is appropriate for APCD to strategically identify priority countries.
- There is a need for further strengthening sub-regional mechanisms to effectively cover the 32 countries in the Asia-Pacific region.

6-2. Effectiveness

6-2-1 Achievement of Project Purpose and Outputs

- The Project has effectively progressed towards the achievement of Project Purpose and Outputs. The details of the progress are described in 5-1 Achievement.

6-2-2 Contribution factors

- Collaboration with self-help groups and organizations of PWDs has been a crucial factor contributing to the effective implementation of APCD's activities. Their participation enhanced the quality of APCD's activities and contributed to the expansion of APCD's network.
- Collaboration with the UN agencies, such as UNESCAP and WHO, contributed significantly to the achievement of Project Purpose and Outputs.



6-2-3 Inhibition factors

- Legal process of transfer to the APCD Foundation was prolonged more than initially scheduled, delaying the schedule of activities regarding the Output 2.

6-3. Efficiency

6-3-1 Manpower input

(Japanese manpower input)

- It is evaluated that inputs provided by the Japanese long-term experts in both fields of human resource development and knowledge management have contributed to the achievement of Project Purpose and Outputs.
- In addition, the inputs of short-term experts with intellectual disabilities and hearing impairment, also contributed significantly to the achievement of Output 1.
- In particular, the dispatch of short-term experts with intellectual disabilities demonstrated a great impact in promoting the understanding on the importance of self-advocates, which led to the establishment of the first self-advocacy group of persons with intellectual disabilities in Thailand.

(Thai manpower input)

- Thai resource persons with various types of disabilities have made significant contributions to the development of their self-help groups and organizations both in and outside Thailand.
- Although the number of APCD staff is limited, considering the wide range of activities and the introduction of new approaches such as knowledge management, the Project activities have been implemented as planned. It can be said that the activities were conducted efficiently with minimum manpower.
- In case APCD plans to expand its activities and maintain the quality, the current number of staff may not be enough.

6-3-2 Material input

- The Project does not provide equipment.

6-3-3 Training in Japan

- Training opportunities in Japan were provided to APCD counterpart personnel, including APCD Foundation Executive Board members, APCD staff and resource persons with disabilities. The participants were selected with clear criteria and the training program was efficiently organized within the minimum required duration. The participants of training, on their return to Thailand,

shared their experiences and newly gained knowledge with other key stakeholders of APCD through organizing workshops and follow-up activities.

6-3-4 Budget amount and disbursement timing

- The Project budget has been provided on time and supported the Project activities efficiently.

6-3-5 Complementary effects and duplicated activities

- APCD has been actively collaborating with self-help groups and organizations of PWDs and their families. Collaboration with them has enabled APCD to reach a large number of PWDs in various countries.

- Collaboration with international NGOs, such as Disabled Peoples' International Asia-Pacific Region, Asia-Pacific Disability Forum, Inclusion International, CBM, Handicap International, World Vision, Sightsavers International, Leonard Cheshire Disability International and WFD, has also been effective in expanding APCD's network.

- Collaboration with UNESCAP and WHO created opportunities for APCD to be associated with governmental officers at the policy making level, which led to smooth coordination in their countries., Through collaboration with APCD, UNESCAP was able to monitor the progress of BMF and BMF plus 5 implementation at the grass-roots level. In promoting CBR, WHO and APCD mobilized available resources in an efficient manner to bring out significant impacts.

- Joint efforts with these organizations have been effectively promoting networking and collaboration in the Asia- Pacific region.

- There are no duplicated activities to cause inefficiency.

6-4. Impacts

6-4-1 Prospect of the achievement of Overall Goal

Overall goal:

An inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region are promoted.

-Objectively Verifiable Indicators

1. The number of activities for networking and collaboration concerning an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs conducted by APCD, FPs, AOs, and other stakeholders.
2. The number of organizations for promoting disability movement and relevant activities towards realization of an inclusive, barrier-free and rights-based

society and empowerment of PWDs by actors other than mentioned above.

- A significant number of activities for networking and collaboration to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs have been promoted by APCD in collaboration with various stakeholders.
- In addition to FPs and AOs, APCD has been working with stakeholders such as the UN agencies, civil society organizations and the private sector.
- APCD together with its partners has been playing an important role in promoting the disability movement and inclusive development. There is a growing interest and momentum in the Asia-Pacific region to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society as well as the empowerment of PWDs.

6-4-2 Positive impacts

- Through the activities facilitated by the Project, many impacts, including the following, have been observed in targeted countries:

(General)

- FPs and AOs gained skills and knowledge through participation in training courses conducted by APCD. Many of them applied newly acquired knowledge and experiences in their own activities.
- In particular, AOs have adopted the implementation process of APCD activities, including planning, logistic arrangements and follow-up, to improve how they implement their activities.

(Asia-Pacific)

- CBR Asia-Pacific Network has been established as a result of the 1st Asia-Pacific CBR Congress in February 2009.

(ASEAN sub-region)

- The leaders of self-help organizations of PWDs have adopted the Bangkok Declaration at CDSHOD held in January 2010, in which they committed themselves to the development of a sub-regional network among their organizations, such as the ASEAN Disability Forum. They also initiated the establishment of the ASEAN Federation of Associations on Autism and the ASEAN federation of organizations of persons with hearing impairments,

(Viet Nam)

- One of local governmental officers in Danang was elected as a member of national committee on

CBR, and participates in policy making process. APCD's facilitation created the opportunities for both central and local government officers to meet together, with which their relationship developed to collaborate in the policy making process.

- An NGO (World Vision Vietnam) newly introduced the concept of "inclusive development" in their community development programs after they participated in the SbKM activity in collaboration with APCD.

- The establishment of an association of parents of persons with intellectual disabilities and autism has been initiated by ex-participants of APCD training activities.

(Lao PDR)

- Vientiane Capital Disabled People's Association started to participate in the policy-making process. The change was brought about through the participation in the process of SbKM activity.

(Philippines)

- SM Supermalls produced a DVD on accessibility in collaboration with APCD. The DVD has been played in more than 200 movie theatres nationwide, which has contributed to raising public awareness on PWDs. It is estimated that the DVD is viewed by about 7 million people annually.

(Pakistan)

- Ministry of Education and Ministry of Social Welfare and Special Education started to address the issues concerning PWDs in their training programs for teachers.

(Myanmar)

- Leaders of self-help groups of PWDs jointly formed a national federation, the Disabled People's Development Organization. The establishment of this organization enabled them to participate in the policy formulation consultation with the Government.

(Thailand)

- The first self-help group of persons with intellectual disabilities in Thailand, Dao Ruang Group, was established through the Project activities.

- The Ministry of Social Development and Human Security has initiated a program on sub-regional inter-governmental cooperation on the implementation of CRPD.

(Kyrgyz Republic)

- A federation of self-help organizations of persons with various types of disabilities was established



at the occasion of CDSHOD in October 2008.

- The Ministry of Labor and Social Development has developed a national policy on disability.

6-4-3 Negative impact

- There are no negative impacts.
- FPs and AOs have been making an increasing financial and technical contribution to the jointly conducted activities with APCD. Careful attention, however, may be required in order to avoid creating the sense of dependency on APCD's support.

6-5 Sustainability

6-5-1 Policy aspect

- It is highly likely that the Government of Thailand continues to place an importance on the disability issues and considers APCD as an important implementing agency of regional collaboration on disability.

6-5-2 Organizational aspect

- Under the management by the APCD Foundation, APCD has been developing a more effective organizational structure.

6-5-3 Technical aspect

- APCD has been accumulating technical assets such as know-how to conduct activities on human resource development and knowledge management that meet the needs of the target groups.
- The technical capacity of APCD can be further strengthened by building the capacity of newly employed staff at APCD.

6-5-4 Financial aspect

- Currently, APCD receives financial support from the Government of Thailand and started to generate funds in various manners. How to secure financial resources is a significant issue for the long-term sustainability of APCD.

6-6 Conclusion

1. The Project has been progressing steadily towards the achievement of Project Purpose. Significant progress has also been made in relation to the achievement of Output 1. There are still challenges in achieving Output 2 in terms of organizational capacity development, however, the transformation of APCD from a unit under the Government to the APCD Foundation should be considered as one of

the significant outcomes.

2. Moreover, a plenty of impacts have been observed in the targeted countries owing to APCD's interventions. It indicates that the primary concept, which stresses the priority on activities together with FPs and AOs in respective countries, has successfully brought a variety of tangible outcomes.

3. APCD is now developing its capacity towards a stable and effective organization. The mid-term review mission confirmed positive changes in an internal organizational structure and a communication platform within APCD.

4. As shown above, APCD has achieved many outcomes and impacts. It now faces new challenges for its further development. In order for APCD to continuously function as a key regional center, APCD needs to strengthen its organizational capacity with solid goals and strategies with a sustainable management system to effectively cover the 32 targeted countries across the Asia-Pacific region. The mid-term review mission recommends the development of a master plan which ensures further sustainability of APCD as described in the section on "Recommendations".

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

7. Recommendations

The mid-term review mission recommends the following points:

7-1. Recommendations for APCD:

1) To develop a master plan

It is recommended that APCD develop a master plan including an organizational management system, a financial plan, a human resource development plan and its implementation plan. In order to ensure the implementation of the master plan, it is also recommended that APCD prepare a roadmap to clarify each step.

In order to clearly define the future organizational status of APCD, various options, including international NGO, should be thoroughly analyzed, and the indicators to measure the achievement of the transformation should be developed. It is recommended that PWDs be included in this process.

2) To enhance the recognition of APCD as a key regional center

It is recommended that APCD strengthen its function to disseminate the outcomes and impacts of its activities as well as related statistics to gain the support and collaboration from the stakeholders and raise its reputation as a key regional center on disability in the Asia-Pacific region. Various tools, such as annual reports and Story-based Knowledge Management products, should be further utilized.

3) To strengthen a follow-up system

It is recommended that APCD strengthen a follow-up system on the activities in the targeted countries to conduct effective follow-up activities with FPs and AOs and to promote networking and collaboration among them.

4) To promote regional cross-disability and issue-based activities

Significant progress has been observed in the development and strengthening of self-help groups of Persons with hearing impairments, persons with intellectual disabilities and their families through APCD's activities in the first half of the Project Phase 2. It is recommended that these groups be further mainstreamed into APCD's activities, including regional training programs. The training facilities at APCD should be further utilized by conducting these activities.

5) To facilitate the development of a sub-regional mechanism in the Asia-Pacific region

- APCD facilitated the initiative to establish a sub-regional collaboration mechanism among self-help

organizations of PWDs in the ASEAN region. In order to develop and strengthen a similar mechanism in other sub-regions, it is recommended that collaboration with various stakeholders, including self-help groups and organizations of PWDs and their families in the region and UN agencies, be continuously strengthened.

6) To further engage PWDs in APCD activities

PWDs have been playing crucial roles in APCD's activities as resource persons, providing significant inputs based on their expertise on disabilities. It is recommended that PWDs be continuously engaged in APCD's activities in different capacities, such as resource persons for respective activities, Japanese short-term and long-term experts and APCD staff.

7) To further promote collaboration with the private sector

APCD has initiated collaboration with some actors in the private sector which are striving for the improvement of accessibility and inclusive development. It is recommended that collaboration with the private sector be promoted for the empowerment of PWDs and an inclusive, barrier-free and rights-based society.

8) To facilitate the implementation of CRPD

It is recommended that APCD provide a platform for various stakeholders to collaborate for the promotion of the understanding on CRPD and its implementation. It is important that self-help groups and organizations of PWDs and their families and other civil society organizations be included in these activities.



ANNEX 1 Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) Project Phase 2

Duration: 5 years (2007/ August/1 ~ 2012 / July/31)

Target Group: Persons with Disabilities (PWDs), their families and supporters of developing countries in the Asia-Pacific region

*Center; Asia-Pacific Development Center on Disability

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicator | Means of Verification | Important Assumptions |
|---|---|--|--|
| <p>Overall Goal: An inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region are promoted.</p> | <p>-The number of activities for networking and collaboration concerning an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs conducted by APCD, FPs, AOs, and other stakeholders. -The number of organizations for promoting disability movement and relevant activities towards realization of an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs by actors other than mentioned above.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • External-evaluation | |
| <p>Project Purpose: APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.</p> | <p>- The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. - The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • External-evaluation | <ul style="list-style-type: none"> • The Governments continue to commit to "the Second Asian and Pacific Decade of Disabled Persons". • Thai Government continues to support APCD. |
| <p>Outputs: 1. To develop more effective and sustainable networking and collaboration among APCD, Focal Point Organizations (FPs) and Associate Organizations (AOs) and other relevant organizations.</p> | <p>- 7 selected FPs agree to their roles in documents by Aug. 2009. - 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009. - 30 Action Plans are prepared by Aug. 2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012. - 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared. - 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012. - 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. - 80% of participants are satisfied with training courses. - 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • Reports of Sub-regional Workshop • Documentation of good practices | <ul style="list-style-type: none"> • Associate Organizations continue their activities. • Government organizations and Non-government Organizations (NGOs) support APCD financially, technically and/or other appropriate ways. • Government organizations and NGOs continue to be Focal Point Organizations and Associate Organizations. |

| | | |
|--|--|---|
| <p>2. To strengthen the managerial and administrative capacity of APCD to become internationalized.</p> | <p>-A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by Aug. 2008. -A system to accommodate international advice in the APCD management is established and functional by Aug. 2009. -A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by Aug. 2009. -4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by Aug. 2009. -7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by Aug. 2009.</p> | <p>•Center's Records •External Evaluation •FPs and AOs Reports</p> <p>•Ex-participants of the APCD training courses continue and extend their activities in and outside their organizations. •Thai Government approves APCD to come under a Foundation.. •FPs and AOs participate in APCD activities.</p> |
| <p>Activities:</p> <p>1.1 to ensure proactive participation of FPs and AOs. 1.1.1 to discuss the expected roles of FPs and AOs in APCD. 1.1.2 to exchange opinions with FPs and AOs about their expected roles. 1.1.3 to confirm mutual agreements with selected FPs and AOs on their respective roles.</p> <p>1.2 to ensure communication accessibilities* in all APCD activities. * "Communication" includes languages, display of text, Braille, tactile communication, large print, accessible multimedia as well as written, audio, plain-local language, human-reader, sign language interpretation and augmentative and alternative modes, means and formats of communication, including accessible information and communication technology. "Language" includes spoken and signed language and other forms of non spoken language.</p> <p>1.3 to develop Action Plans (human resource development, information support) together with high-profile FPs and AOs for effective and sustainable networking and collaboration with APCD. 1.3.1 to conduct preparatory activities for developing Action Plans. 1.3.2 to discuss activities 1) to develop human resources 2) to</p> | <p>Inputs from the Japanese Side:</p> <p>1. Experts 1.1 Long-term experts - Chief advisor - Coordinator - Expert (Networking and Collaboration/Training) - Expert (Networking and Collaboration/Information) 1.2 Short-term experts As for the dispatch of short-term experts, the Project makes plan and the JCC endorses it. 2. Counterpart (C/P) and resource persons Training in Japan and other countries JICA invites the Thai C/P (APCD staff) and resource persons to relevant training courses in Japan and other countries for their capacity building necessary for the APCD Project. 3. Equipment: Equipment which is approved of its necessity in the JCC 4. Expenses: A part of expenses for the project implementation</p> <p><u>Inputs from APCD Foundation:</u></p> | |

| | | |
|--|--|---|
| <p>promote information support to be organized in collaboration with FPs and AOs in their countries, and plan in details.</p> <p>1.4 to promote human resource development according to the Action Plans.</p> <p>1.4.1 to prepare, implement and evaluate human resource development activities (eg. training courses in APCD, local/regional seminars etc.) in collaboration with high-profile FPs and AOs.</p> <p>1.4.2 to follow-up ex-participants of the training courses in APCD in collaboration with high-profile FPs and AOs.</p> <p>1.5 to promote information support according to the Action Plans.</p> <p>1.5.1 to regularly exchange information with FPs and AOs, and accumulate useful information and conduct necessary referral in collaboration with FPs and AOs.</p> <p>1.5.2 to regularly receive and reflect comments from FPs and AOs on the APCD's newsletters and web-site to meet their needs.</p> <p>1.5.3 to strengthen capacity of FPs and AOs to collect and disseminate information, and facilitate them to share relevant information.</p> <p>1.6 to monitor the Action Plans.</p> <p>1.7 to accumulate good practices of FPs and AOs and share them with existing and potential stakeholders of APCD.</p> <p>1.8 to conduct sub-regional workshops to facilitate sub-regional networking and collaboration in view of bringing social impacts in the Asia-Pacific region.</p> <p>2.1 to confirm a procedure for APCD to become a Unit of a Foundation.</p> <p>2.2 to develop strategies of effective management for APCD as a Unit under a Foundation.</p> <p>2.3 to develop a system to accommodate international advice in the APCD management.</p> <p>2.4 to ensure a procedure for APCD to become internationalized.</p> <p>2.5 to develop strategies of effective and sustainable management in preparation for APCD to be internationalized.</p> <p>2.6 to discuss with selected FPs for APCD to become internationalized.</p> <p>2.7 to develop a closer collaboration for fund-raising with APCD Foundation and other relevant organizations.</p> | <p>1. APCD Foundation staff required</p> <p>2. Project support staff</p> <p>3. Project office and facility</p> <p>4. A part of expenses for the project implementation</p> <p><u>Inputs from Thai Associate/Relevant Organizations of/for PWDs:</u></p> <p>1. A part of expenses for the project implementation</p> <p>2. A part of cost of employing staff</p> <p>3. An arrangement of counterparts as resource persons and cooperation in activities</p> <p>* The inputs above are contributed by cash or in kind according to each organization's capacity.</p> | <p>Pre-conditions:</p> <p>Staff required is employed sufficiently.</p> |
|--|--|---|

ANNEX 2 Project Design Matrix (PDM) Version 3

Project Title:

Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) Project Phase 2

Duration:

5 years (2007/ August/1 ~ 2012 / July/31)

Target Group:

Persons with Disabilities (PWDs), their families and supporters of developing countries in the Asia-Pacific region

*Center; Asia-Pacific Development Center on Disability

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicator | Means of Verification | Important Assumptions |
|---|--|--|--|
| <p>Overall Goal: In order to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region, organizations of/for PWDs are strengthened through APCD's activities.</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. Regional networks and collaboration mechanisms are initiated / strengthened by organizations of/for PWDs. 2. Activities to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs are initiated and conducted by FPs/AOs. 3. The number of Action Plans with FPs / AOs is increased. | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • External-evaluation | |
| <p>Project Purpose: APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. •</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. 2. The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • External-evaluation | <ul style="list-style-type: none"> • The Governments continue to commit to "the Second Asian and Pacific Decade of Disabled Persons". • Thai Government continues to support APCD. |
| <p>Outputs: 1. More effective and sustainable networking and collaboration are developed among APCD, Focal Point Organizations (FPs), Associate Organizations (AOs) and other relevant organizations.</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 7 selected FPs agree to their roles in documents by Aug. 2009. 2. 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009. 3. 30 Action Plans are prepared by Aug.2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012. 4. 3 regional networks on specific areas are developed and strengthened (CBR, NHE, KM etc). 5. 10 regional trainings and 10 networking collaboration follow-up activities are conducted to strengthen regional networks. 6. 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared. 7. 30 documents on good practices and useful information are developed with FPs, AOs and stakeholders, and widely shared in collaboration. 8. 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. 9. 80% of participants are satisfied with training courses. 10. 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities. | <ul style="list-style-type: none"> • Center's Records • FPs and AOs Reports • Reports of Sub-regional Workshop • Documentation of good practices | <ul style="list-style-type: none"> • Associate Organizations continue their activities. • Government organizations and Non-government Organizations (NGOs) support APCD financially, technically and/or other appropriate ways. • Government organizations and NGOs continue to be Focal Point Organizations and Associate Organizations. • Ex-participants of the APCD training courses continue and extend their activities in and outside their organizations. • Thai Government |

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>2. The managerial and administrative capacity of APCD to sustain the internationalized activities is strengthened.</p> | <p>1. The APCD Master Plan is approved by the APCD Foundation. 2. APCD's progress report on the Master plan is approved by the APCD Foundation. 3. An annual report to show the APCD's performance is published every year.</p> | <p>•Center's Records •External Evaluation •FPs and AOs Reports</p> | <p>approves APCD to come under a Foundation.. •FPs and AOs participate in APCD activities.</p> |
| <p>Activities: 1.1 to ensure proactive participation of FPs and AOs. 1.1.1 to discuss the expected roles of FPs and AOs in APCD. 1.1.2 to exchange opinions with FPs and AOs about their expected roles. 1.1.3 to confirm mutual agreements with selected FPs and AOs on their respective roles. 1.2 to ensure communication accessibilities* in all APCD activities. * "Communication" includes languages, display of text, Braille, tactile communication, large print, accessible multimedia as well as written, audio, plain-local language, human-reader, sign language interpretation and augmentative and alternative modes, means and formats of communication, including accessible information and communication technology. "Language" includes spoken and signed language and other forms of non spoken language. 1.3 to develop Action Plans (human resource development, information support) together with high-profile FPs and AOs for effective and sustainable networking and collaboration with APCD. 1.3.1 to conduct preparatory activities for developing Action Plans. 1.3.2 to discuss activities 1) to develop human resources 2) to</p> | <p>Inputs: <u>Inputs from the Japanese Side:</u> 1. Experts 1.1 Long-term experts - Chief advisor - Coordinator - Expert (Networking and Collaboration/Training) - Expert (Networking and Collaboration/Information) 1.2 Short-term experts As for the dispatch of short-term experts, the Project makes plan and the JCC endorses it. 2. Counterpart (C/P) and resource persons Training in Japan and other countries JICA invites the Thai C/P and resource persons to relevant training courses in Japan and other countries for their capacity building necessary for the APCD Project. 3. Equipment: Equipment which is approved of its necessity in the JCC 4. Expenses: A part of expenses for the project implementation</p> | | |

| | | |
|---|--|---|
| <p>promote information support to be organized in collaboration with FPs and AOs in their countries, and plan in details.</p> <p>1.4 to promote human resource development according to the Action Plans.</p> <p>1.4.1 to prepare, implement and evaluate human resource development activities (eg. training courses in APCD, local/regional seminars etc.) in collaboration with high-profile FPs and AOs.</p> <p>1.4.2 to follow-up ex-participants of the training courses in APCD in collaboration with high-profile FPs and AOs.</p> <p>1.5 to promote information support according to the Action Plans.</p> <p>1.5.1 to regularly exchange information with FPs and AOs, and accumulate useful information and conduct necessary referral in collaboration with FPs and AOs.</p> <p>1.5.2 to regularly receive and reflect comments from FPs and AOs on the APCD' s newsletters and web-site to meet their needs.</p> <p>1.5.3 to strengthen capacity of FPs and AOs to collect and disseminate information, and facilitate them to share relevant information.</p> <p>1.6 to monitor the Action Plans.</p> <p>1.7 to accumulate good practices of FPs and AOs and share them with existing and potential stakeholders of APCD.</p> <p>1.8 to conduct sub-regional workshops to facilitate sub-regional networking and collaboration in view of bringing social impacts in the Asia-Pacific region.</p> <p>2.1 To develop a master plan for APCD: APCD Master Plan (2011-2015)</p> <p>2.1.1 Strategy</p> <p>2.1.2 Management system</p> <p>2.1.3 Financial plan</p> <p>2.1.4 Human resource development plan</p> <p>2.1.5 Annual plan of operations</p> <p>2.2 To implement the APCD Master Plan.</p> <p>2.3 To review the progress of implementation of the APCD Master Plan and modify as needed.</p> <p>2.4 To publish an annual report.</p> | <p><u>Inputs from APCD Foundation:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. APCD Foundation staff required 2. Project support staff 3. Project office and facility 4. A part of expenses for the project implementation <p><u>Inputs from Thai Associate/Relevant Organizations of/for PWDs:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A part of expenses for the project implementation 2. A part of cost of employing staff 3. An arrangement of counterparts as resource persons and cooperation in activities <p>* The inputs above are contributed by cash or in kind according to each organization' s capacity.</p> | <p><u>Pre-conditions:</u></p> <p>Staff required is employed sufficiently.</p> |
|---|--|---|

Handwritten signature/initials

ANNEX 3 Revised Point of PDM

| Present PDM | | Revised PDM | Reasons |
|-------------------|---|---|---|
| Overall goal | An inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region are promoted. | In order to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region, organizations of/for PWDs are strengthened through APCD's activities. | The achievement of the overall goal must be measurable about 3-5 years after the completion of the project. |
| Project purpose | APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. | No Change | |
| Output | 1 To develop more effective and sustainable networking and collaboration among APCD, Focal Point Organizations (FPs) and Associate Organizations (AOs) and other relevant organizations. | More effective and sustainable networking and collaboration are developed among APCD, Focal Point Organizations (FPs), Associate Organizations (AOs) and other relevant organizations . | It is changed from active voice to passive voice, because outputs are usually described in passive voice. The meaning stays the same. |
| | 2 To strengthen the managerial and administrative capacity of APCD to become internationalized. | The managerial and administrative capacity of APCD to sustain the internationalized activities is strengthened. | An emphasis is made on the APCD's capacity to sustain internationalized activities. |
| Output 1 Activity | 1-1 To ensure proactive participation of FPs and AOs. 1.1.1 to discuss the expected roles of FPs and AOs in APCD. 1.1.2 to exchange opinions with FPs and AOs about their expected roles. 1.1.3 to confirm mutual agreements with selected FPs and AOs on their respective roles. | No change | |
| | 1-2 To ensure communication accessibilities* in all APCD activities. **"Communication" includes languages, display of text, Braille, tactile communication, large print, accessible multimedia as well as written, audio, plain-local language, human-reader, sign language interpretation and augmentative and alternative modes, means and formats of communication, including accessible information and communication technology. "Language" includes spoken and signed language and other forms of non spoken language. | No change | |
| | 1-3 1.3 to develop Action Plans (human resource development, information support) together with high-profile FPs and AOs for effective and sustainable networking and collaboration with APCD. 1.3.1. to conduct preparatory activities for developing Action Plans. 1.3.2 to discuss activities 1)to develop human resources 2) to promote information support to be organized in collaboration with FPs and AOs in their countries, and plan in details. | No change | |

| | | | | | |
|------------------------|--|--|--|---|---|
| | 1-4 | To promote human resource development according to the Action Plans. 1.4.1 to prepare, implement and evaluate human resource development activities (e.g. training courses in APCD, local/regional seminars etc.) in collaboration with high-profile FPs and AOs. 1.4.2 to follow-up ex-participants of the training courses in APCD in collaboration with high-profile FPs and AOs. | No change | | |
| | 1-5 | To promote information support according to the Action Plans. 1.5.1 to regularly exchange information with FPs and AOs, and accumulate useful information and conduct necessary referral in collaboration with FPs and AOs. 1.5.2 to regularly receive and reflect comments from FPs and AOs on the APCD's newsletters and web-site to meet their needs. 1.5.3 to strengthen capacity of FPs and AOs to collect and disseminate information, and facilitate them to share relevant information. | No change | | |
| | 1-6 | To monitor the Action Plans. | No change | | |
| | 1-7 | To accumulate good practices of FPs and AOs and share them with existing and potential stakeholders of APCD. | No change | | |
| | 1-8 | To conduct sub-regional workshops to facilitate sub-regional networking and collaboration in view of bringing social impacts in the Asia-Pacific region. | No change | | |
| Output 2 Activity | 2-1 | To confirm a procedure for APCD to become a Unit of a foundation. | 2.1 To develop a master plan for APCD: "APCD Master Plan(2011-2015) " 2.1.1 Strategy 2.1.2 Management system 2.1.3 Financial plan 2.1.4 Human resource development plan 2.1.5 Annual plan of operations | It is recommended that APCD develop a master plan. In order to ensure the implementation of the master plan, it is also recommended that APCD prepare a roadmap. Organizational status of APCD, various options, including international NGO, should be thoroughly analyzed, and the indicators to measure the achievement of the transformation should be developed. | |
| | 2-2 | To develop strategies of effective management for APCD as a Unit under a Foundation. | | | |
| | 2-3 | To develop a system to accommodate international advice in the APCD management. | | | |
| | 2-4 | To ensure a procedure for APCD to become internationalized. | 2.2 To implement the APCD Master Plan. | | An annual report will be one of the effective tools to gain the support and collaboration from the stakeholders and raise its reputation as a key regional center on disability in the Asia-Pacific region. |
| | 2-5 | To develop strategies of effective and sustainable management in preparation for APCD to be internationalized. | 2.3 To review the progress of implementation of the APCD Master Plan and modify as needed. | | |
| | 2-6 | To discuss with selected FPs for APCD to become | 2.4 To publish an annual report. | | |
| | 2-7 | To develop a closer collaboration for fund-raising with APCD Foundation and other relevant organizations. | | | |
| Overall goal Indicator | The number of organizations for promoting disability movement and relevant activities towards realization of an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs by actors other than mentioned above. | | 1.Regional networks and collaboration mechanisms are initiated/strengthened by organizations of/for PWDs. | Activities conducted by organizations of/for PWDs, including FPs/AOs, will be appropriate indicators to ensure that they are strengthened through APCD' activities. | |
| | The number of activities for networking and collaboration concerning an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs conducted by APCD, FPs, AOs, and other stakeholders. | | 2.Activities to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs are initiated and conducted by FPs/AOs. | | |
| | | | 3.The number of Action Plans with FPs/AOs is increased. | | |

| | | | | |
|---------------------------|---|--|---|---|
| Project purpose indicator | The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. | | No Change | |
| | The number of organizations offor PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region | | | |
| Output 1 Indicator | 1 | 7 selected FPs agree to their roles in documents by Aug. 2009. | No change | |
| | 2 | 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009. | | |
| | 3 | 30 Action Plans are prepared by Aug.2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012. | | |
| | 4 | | 3 regional networks on specific areas are developed and strengthened (CBR,NHE,KM etc) | There is a movement to build issue-based networks to promote activities offor PWDs in the Asia-Pacific region. APCD is expected to play a key role to accelerate the movement through networks. |
| | 5 | | 10 regional trainings and 10 follow-up activities for networking collaboration are conducted to strengthen regional networks. | Regional trainings and follow-up activities provide FPs, AOs and other stakeholders with oppounities to further promote networking and collaboration among them at the regional level. |
| | 6 | 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared. | No Change | |
| | 7 | 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012. | 30 documents on good practices and useful information are developed in collaboration with FPs, AOs and stakeholders, and widely shared. | In addition to good practices, other useful information will be documented. |
| | 8 | 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. | No change | |
| | 9 | 80% of participants are satisfied with training courses. | | |
| | 10 | 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities. | | |
| Output 2 Indicator | 1 | A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by Aug. 2008. | The APCD Master Plan is approved by the APCD Foundation. | Indicators are modified according to the revision of Output 2 activities. |
| | 2 | A system to accommodate international advice in the APCD management is established and functional by Aug. 2009. | APCD's progress report on the Master plan is approved by the APCD Foundation. | |
| | 3 | A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by Aug. 2009. | An annual report to show the APCD's performance is published every year. | |
| | 4 | 4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by Aug.2009. | | |
| | 5 | 7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by Aug. 2009. | | |

ANNEX4 List of Persons related to APCD project

List of APCD Foundation Executive Board Members

| No. | Name | Affiliation / Position |
|-----|--|------------------------|
| 1 | Dr. Tej Bunnag | Chairperson |
| 2 | Senator Monthian Buntan | Member |
| 3 | Dr. Benja Chonlatanon | Member |
| 4 | Dr. Damrong Reinprayoon | Member |
| 5 | Representative from Thailand International Development Cooperation Agency | Member |
| 6 | Mr. Supornnum Mongkolsawadi | Member |
| 7 | Prof. Wiriya Namsiriphongphan | Member |
| 8 | Dr. Wachara Riewpai boon | Member |
| 9 | Mr. Wanlop Phloytabtim | Member |
| 10 | Ms. Rubina Suwanpong | Member |
| 11 | Ms. Saowalak Thongkuay | Member |
| 12 | Representative Leonard Cheshire Disability East Asia Pacific Regional Office | Member |
| 13 | Mr. Akiie Ninomiya | Member / Secretary |

ANNEX4 List of Persons related to APCD project

List of Committee board of APCD Foundation

| No. | Name | Affiliation / Position |
|-----|--------------------------------------|------------------------|
| 1 | H.E. Mr. Tanin Kraivixien | President |
| 2 | Dr. Poonpit Amatyakul | Vice-Chairman |
| 3 | Mr. Sunthorn Arunanondchai | Member |
| 4 | Dr. Tej Bunnag | Member |
| 5 | Senator Monthian Buntan | Member |
| 6 | Mr. Chai Chaiyawan | Member |
| 7 | Assoc. Prof. Dr. Nantarika Chansue | Member |
| 8 | Assoc. Prof. Nareewan Chintakanond | Member |
| 9 | Dr. Benja Chonlatanon | Member |
| 10 | Dr. Chakradharm Dharmasakti | Member |
| 11 | Ms. Panita Kambhu Na Ayutthaya | Member |
| 12 | Mr. Karun Kitistaporn | Member |
| 13 | Mr. Banthoon Lamsam | Member |
| 14 | Prof. Wiriya Namsiriphongthan | Member |
| 15 | Mr. Suraphol Nitikraipoj | Member |
| 16 | Ms. Panit Nitithanprapas | Member |
| 17 | Mr. Wanlop Phloytabtim | Member |
| 18 | Mr. Khan Prachuabmoh | Member |
| 19 | Dr. Somkiat Siriruttanapruk | Member |
| 20 | Ms. Khunying Wanna Sirivadhanabhakdi | Member |
| 21 | Mr. Sribhumi Sukhanetr | Member |
| 22 | Ms. Rubina Suwanpong | Member |
| 23 | Prof. Phairach Thachayaphong | Member |
| 24 | Mr. Sermsakdi Tepakum | Member |
| 25 | Dr. Prachuab Vanitchatchavan | Member |

ANNEX4 List of Persons related to APCD project

List of APCD staff member

| No. | Name | Affiliation / Position |
|-------------------------------|----------------------------|---|
| APCD FOUNDATION STAFF* | | |
| 1 | Mr. Akiie Ninomiya | Executive Director |
| 2 | Ms. Jirat Wachirasereechai | Administrative Manager |
| 3 | Ms. Nongluck Kisorawong | Deputy Administrative Manager |
| 4 | Mr. Somchai Rungsilp | Networking and Collaboration Manager |
| 5 | Ms. Duangnarumol Dokruk | Chief of Human Resource Development |
| 6 | Ms. Nalinee Ruangrittisak | Human Resource Development Officer |
| 7 | Mr. Songkiat Khemjaroen | Information Communication Technology Officer |
| 8 | Ms. Lalin Chonlatanon | Information Support Officer |
| 9 | Ms. Kularb Gaysornsri | Procurement and Accounting Officer |
| 10 | Ms. Niramol Chompoothong | Administrative Officer |
| 11 | Ms. Daranee Peterson | Secretary |
| JICA STAFF | | |
| 1 | Mr. Katsuji Onoda | JICA Chief Advisor |
| 2 | Mr. Takafumi Miki | JICA Coordinator |
| 3 | Mr. Ryuhei Sano | JICA Expert, Networking and Collaboration on Knowledge Management |
| 4 | Ms. Emi Aizawa | JICA Expert, Networking and Collaboration on Human Resource Development |
| 5 | Ms. Siripen Areenukul | Program Officer |
| 6 | Ms. Patchara Pornsri | Secretary |
| 7 | Ms. Thachakorn Kokong | Secretary |
| 8 | Ms. Oraphin Ritthitriphop | Secretary |
| 9 | Mr. Bakom Limpiphiphatn | Secretary |
| 10 | Ms. Pinpawee Pulsawad | Secretary |

* All Foundation staff will have 6 months probation period. The contracts do not mention the term of assignment.

ANNEX5 Government Focal Points Phase2

| No. | Countries | Governments/NGOs | Date of agreement |
|-----|-----------------|---|-------------------|
| 1 | Kyrgyz Republic | Minister Ministry of Labor and Social Development 215 Tynystanova Street, Bishkek, Kyrgyz Republic Tel: +996-312-665724 | 26/05/08 |
| 2 | Philippines | Ms. Rosie Lovely T. Romulo, Chairperson National Council on Disability Affairs G/F SRA Building, North Avenue, Diliman, Quezon City, Philippines | 10/11/08 |
| 3 | Tajikistan | Mr. Shukurjon Zuhurov Minister Ministry of Labor and Social Protection of the Population 5/2 Alisher Navoi, Dushanbe, The Republic of Tajikistan | 01/08/08 |

ANNEX6 List of APCD Associate Organizations-Phase 2

As of September 2009

| No. | Date Approved | Country | Name of Organization | Address/ Tel./Fax/E-mail |
|-----|---------------|----------|--|--|
| 1 | 05/06/08 | Cambodia | Disability Development Services Pursat (DDSP) | Peal NhekII Village, Pteh Prey Commune, Sampove Meas District, Pursat Province, c/o Department of Social Affairs Veterans and Youth Rehabilitation, P.O. Box 9206 Tel: (855) 052 951 495/092 266 493 E-mail: ddsp@camintel.com Website: N/A |
| 2 | 24/9/08 | India | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal | J-124, USHA Apts., 16 Main 4 Block, Jayanagar, Bangalore 560011, India Tel/Fax: +91 -80-26961556 Mobile: + 91 98459 18185 E-mail: m_thomas@rediffmail.com |
| 3 | 08/11/08 | Japan | Foundation for Advanced Studies on International Development (FASID) | 1-6-17 Kudan-Minami, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074, Japan Tel: 81 3 5226 0303 Fax: 81 3 5226 0023 E-mail: watanabe@fasid.or.jp Website: www.fasid.or.jp |

| | | | | |
|---|----------|-----------------|--|---|
| 4 | 31/3/09 | Japan | Inclusion Japan | Zenkoku Tobacco Center Bldg. 8F, 2-16-1 Nishi-shimbashi, Minato-ku Tokyo 105-0003 Tel: 0081-3-3431-0668 Fax: 0081-3-3578-6935 E-mail: info@ikuseikai-japan.jp Website: http://www.ikuseikai-japan.jp/index.html Inclusion Japan 8F Zenkoku Tobacco Center Bldg, 2-16-1, Nishi-shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0003 Japan |
| 5 | 09/05/08 | Japan | World Vision Japan | 1-17-8-3F Hyakumin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0073 Tel: (+81) 3-3367-7252 Fax: (+81) 3-3367-7652 E-mail: hiroaki_imanishi@worldvision.or.jp Website: http://www.worldvision.jp/ |
| 6 | 24/10/08 | Kyrgyz Republic | Kyrgyz National Association of Disabled People's Organizations | # 191 Bokonbaev Street, Bishkek 720017, Kyrgyz Republic Tel: + 996-312-24-47-60 Fax: + 996-312-24-43-02 E-mail: erc@elcat.kg |
| 7 | 25/8/08 | Lao PDR | Vientiane Capital Disabled People's Association | Bann Sailom, Srisawad Street Muang Chanthaburi, Vientiane Capital, Lao PDR Tel: +856-21-263770 Fax: + 856-21-263097 |

| | | | | |
|----|----------|----------|--|--|
| 8 | 22/10/09 | Malaysia | Malaysian Association for the Blind (MAB) | <p>Kompleks MAB, Jln Tebing, Off Jln Tun Sambanthan 4, 50470 Kuala Lumpur, Malaysia</p> <p>Tel: (+603) 2272-2677 Fax: (+603) 2272-2676 E-mail: rahim@mab.org.my</p> |
| 9 | 13/3/09 | Pakistan | Association of the Physically Handicapped Adult (APHA) | <p>Street 2, Block 16, Scheme 36 Gulistan –e-Jouha, Karachi, Pakistan</p> <p>Tel: 92-021-4611974 Tel/Fax: 92-021-4027137 E-mail: nishat@apha.org.pk Website: www.apha.org.pk</p> |
| 9 | 18/2/09 | Pakistan | Danishkadah | <p>Registered office: 1233/B, LAC II, Street 37/B, Mehmoodabad # 6, (Behind United Bakery), Karachi-75460, Pakistan</p> <p>Mobile Phone: +92 333 307 1630 (SMS only) E-mail: info@danishkadah.org.pk, danishkadah@gmail.com</p> <p>Project office: D - 63, Block 8, Gulshan-e-Iqbal, Karachi, Pakistan Website: www.danishkadah.org.pk</p> |
| 10 | 13/3/09 | Pakistan | Disabled Welfare Association (DWA) | <p>42, Ground Floor, Al-Amna Plaza, M.A. Jinnah Road, Opp. Capri Cinema, Karachi, Pakistan</p> <p>Tel: 0092-300-9277998/0092 21 2789039 Fax: 0092-21-2788067 E-mail: d_welfare@yahoo.com Website: www.dwapk.org</p> |

| | | | | |
|----|----------|----------|--|---|
| 11 | 01/10/09 | Pakistan | Nawabshah Disability Forum (NDF) | House No. 11, VIP Road, Bharghwar Colony Nawabshah, District Shaheed Benazir Abad (Sindh), Pakistan Tel: +92-244-366107 Fax: +92-244-366107 E-mail: ndf_nawabshah@yahoo.com Website: www.ndfnawabshah.org |
| 12 | 04/09/09 | Pakistan | Mirpurkhas Special Sports and Welfare Association Pakistan (MSSWA) | Gulistan-e-Mazoreen, Opp. Press Club Mirpurkhas Sindh, Pakistan Tel: +92-233-872687 Mobile: +92-334-2801706 Fax: +92-233-872687 E-mail: special_2005computer@yahoo.com |
| 13 | 13/3/09 | Pakistan | Pakistan Disable People Organization (PDPO) | 408/677, Jamshed Road No. 3, Fatima Jinnah Colony, Karachi, Pakistan Tel: 0092-300-2613317, 0092-21-4128867, Fax: 0092-21-4134905 E-mail: surartimobin@hotmail.com Website: www.pdpo.org.pk |
| 14 | 13/3/09 | Pakistan | Sindh Disability Forum (SDF) | 42 Ground Floor, Alamna Plaza, M.A. Jinnah Road, Karachi Tel: +92-21-2789039 Fax: +92-21-2788067 E-mail: ghulamnabi.nizamani@gmail.com |

72

| | | | | |
|----|----------|-------------|---|--|
| 15 | 08/07/09 | Pakistan | National Institute of Science and Technical Education (NISTE) | <p>Faiz-Ahmed-Faiz Road, Sector H-8/1, Islamabad, Pakistan 44000 Tel: +92-51-9250433 Fax: +92-51-9250543 E-mail: saimanasir2007@hotmail.com Website: www.niste.edu.pk</p> |
| 16 | 09/08/09 | Pakistan | Sightsavers International Pakistan | <p>House No. 2, Street No. 10, Sector F-7/3 Islamabad, Pakistan Tel: 0092 51 2651276 Fax: 0092 a51 2651275 E-mail: niaz@sightsavers.org.pk</p> |
| 17 | 27/2/09 | Philippines | Autism Society Philippines | <p>Room 307 ML Bldg. 47, Kamias Road, Quezon City 1102 Philippines Tel: 632-926-6941/929 8447 Fax: 632-926-6941 E-mail: autismphil@pltdsl.net; autismphils@gmail.com Website: www.autismsocietyph.org</p> |
| 18 | 16/5/09 | Philippines | United Architects of the Philippines Committee on Accessibility | <p>53 Scout Rallos Street, Diliman, Quezon City 1103, Philippines Tel: (632) 889-8861 E-mail: Jaime.silva@cyan.com.ph; amreusfaguid@yahoo.com</p> |

| | | | | |
|----|----------|-------------|---|---|
| 19 | 14/11/08 | Philippines | Life Haven Inc. | <p>2189 M. De Leon Street, Fortune Villabe 2, en.T. De Leon, Valenzuela City, Philippines 1442</p> <p>Tel/Fax: (632) 4569819 E-mail: lifehaven@gmail.com Website: www.lifehavenilc.blogspot.com</p> |
| 20 | 14/11/08 | Philippines | MCCID College of Technology [Previously Manila Christian Computer Institute for the Deaf Foundation, Inc.] | <p>807 Aurora Blvd., Immaculate Conception, Cubao, Quezon City, Philippines, 1111</p> <p>Tel: (632) 412 9447 Fax: (632) 726 9690 E-mail: info@mccid.edu.ph Website: www.mccid.edu.ph</p> |
| 21 | 18/5/09 | Philippines | Philippine Web Accessibility Group, Inc. | <p>2F 807 Aurora Blvd., Quezon City, Philippines 1111</p> <p>Tel: (632) 412 9447 Fax: (632) 726-9690 E-mail: info@pwag.org Website: www.pwag.org</p> |
| 22 | 12/08/08 | Philippines | SM Supermalls Committee on Disability Affairs | <p>SM Corporate Offices, Building A, 1000 JW Diokon Blvd. Mall of Asia Complex, Pasay City 1300, Philippines</p> <p>Mailing Address: SM City North Edsa Administration Office, Edsa Corner North Avenue, Quezon City 1100</p> <p>Tel: (632) 9272635 Fax: (632) 9262219 E-mail: bcm@smsupermalls.com Website: www.smpime.com</p> |

| | | | | |
|----|----------|----------|--|--|
| 23 | 08/06/08 | Thailand | Jodnongkae Sub-district Administrative Organization | Jodnongkae Sub-district Moo 1, Phon District, Khon Kaen Province 40120 Tel/Fax: 4321-3919 E-mail: nitiwattana.d@hotmail.com |
| 24 | 08/01/08 | Thailand | Nakhonpathom Independent Living Center (NILC) | 173 Sakaew Road, Phraphathon Amphur Muang, Nakhonpathom 73000 Tel/Fax: 034-213675 E-mail: sawaddiju@hotmail.com |
| 25 | 08/07/09 | Thailand | Bangkok Independent Living Center | 150/8 Moo 10, Kukot, Lamlookka, Phatumthanee 12130 Tel: 662-531-0429/66-85-0405301 E-mail: ilbangkok@gmail.com |
| 26 | 06/03/09 | Thailand | Thai Deaf Children & Women Network Federation (TDCWNF) | 98/6 Moo Ban Klangmeuang Soi Onnut 17 Yaek 16, Sukhumvit 77 Rd., Suanluang, Bangkok 10250 Mobile Phone: 081-912-2112 (Interpreter) Tel: +662-720-0703 Fax: +662-720-0640 Email: thaideafwomen@gmail.com |
| 27 | 01/04/09 | Viet Nam | Hanoi Association of the Deaf | No. 26 – Gate 181 – Nguyen An Ninh Street, Hoang Mai District, Hanoi, Viet Nam Tel/Fax: 84.4.36622760 Email: deafhvn@yahoo.com; Thuylinh.802000@gmail.com Website: www.deafhanoi.com |

| | | | | |
|----|----------|----------|---|--|
| 28 | 22/8/08 | Viet Nam | Reaching Out Handicrafts | <p>103 Nguyen Thai Hoc Street, Hoi An, Viet Nam Tel: 84(0) 510 862460/910168 E-mail: Reachingoutvn@gmail.com Website: www.reachingoutvietnam.com</p> |
| 29 | 08/07/09 | Viet Nam | Danang Association of Persons with Disabilities (DNAPD) | <p>40 Bach Dang Street, Hai Chau District, Danang, Vietnam Tel: +84-905-124452 E-mail: shgdanang@yahoo.com.vn, ntrungprinting@gmail.com</p> |

ANNEX 7 List of Interviewees

| Country | Organization | Name | Position |
|-----------|--|---------------------------------|--|
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | H.E. Dr. Tej Bunnag | Chairman of the executive board and member of Committee Board of APCD foundation |
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | Ms. Rubina Suwanpong | Member of the executive board and member of Committee Board of APCD foundation |
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | Ms. Benja Chonlatanon | Member of the executive board and member of Committee Board of APCD foundation |
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | Mr. Moonhian Buntan | Member of the executive board and member of Committee Board of APCD foundation |
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | Mr. Supornum Mongkolsawadi | Member of the executive board |
| Thailand | APCD Foundation Executive Board | Ms. Saowalak Thongkuay | Member of the executive board |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Mr. Akiie Ninomya | Executive Director |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Mr. Somchai Rungsiip | Networking and Collaboration Manager |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Ms. Jirat Wachiraserochai | Administrative Manager |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Mr. Katsuji Onoda | JICA Chief Advisor |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Mr. Takafumi Miki | JICA Coordinator |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Mr. Ryuthei Sano | JICA Expert, Networking and Collaboration on Knowledge Management |
| Thailand | Asia-Pacific Development Center on Disability | Ms. Emi Aizawa | JICA Expert, Networking and Collaboration on Human Resource Development |
| Thailand | Dao Ruang Group/ The Association for Persons with an Intellectual Disability of Thailand | Ajarn Arayn Chanapolchai | Teacher in APIDT, Supporter of Dao Ruang Group |
| Thailand | Dao Ruang Group/ The Association for Persons with an Intellectual Disability of Thailand | Khun Pradabwong Thadatrithamtip | Member |
| Thailand | The Association of Parents for Thai Persons with Autism | Ajarn Charoen Khuwinphan | Committee member |
| Thailand | The Association of Thai Deaf Children & Women's Network Federation | Ms. Panomwan Boontem | President |
| Thailand | Ministry of Social Development and Human Security | Ms. Kanitta Kamolwat | Director, Bureau of Policy and Strategy |
| Thailand | United Nations ESCAP | Ms. Aiko Akiyama | Social Affairs officer |
| Thailand | World Health Organization | Mr. Aran K Mallik, MBBS,MD | Technical Officer |
| LaoPDR | Lao Disabled People's Association | Mr. Singkham Takounphak | Vice President, LDPA |
| LaoPDR | Lao Disabled People's Association | Ms. Phonepasuthi Vilaysak | Staff, Special Olympics |
| Lao PDR | Lao Disabled People's Association | Ms. Phanitta Maiphone | LDPA Deaf Unit |
| Lao PDR | Lao Disabled People's Association | Mr. Bountern Chantahivong | LDPA Deaf Unit |
| Lao PDR | Lao Disabled People's Association | Ms. Suphin Somsana | LDPA Deaf Unit |
| Lao PDR | Television Nationale | Mr. Inpone Nakhonsy | Head of News Unit |
| Lao PDR | Vientiane Capital's Disabled People Association | Ms. Phengmany Phangphonkong | President |
| Lao PDR | Ministry of Labor and Social Welfare | Ms. Baikham Khattiya | Permanent Secretary |
| Vietnam | Hanoi Association of the Deaf | Mr. Le Van Anh | Vice President |
| Vietnam | Club of Parents of Autistic Children | Ms. Pham Thi Yen | Vice President |
| Vietnam | National Coordination Council on Disability | Mr. Nguyen Xuan Lap | Director, NCCD |
| Vietnam | National Coordination Council on Disability | Mr. Nghiem Xuan Tuc | Former Director, NCCD |
| Vietnam | Reaching Out Handicraft | Mr. Binh Le | President, RO |
| Vietnam | Inclusive Development on Action (IDEA) | Ms. Nguyen Thi Lan Anh | Coordinator, IDEA |
| Vietnam | Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital | Dr. Than Van Chin | Director, DNRSH |
| Vietnam | World Vision Vietnam | Mr. Nguyen Hoang Phuong | National Officer, WVV |
| Malaysia | Malaysian association for The Blind | Mr. Rahim Bin Dahman | ICT Manager |
| Indonesia | Yayasan Mitra Netra | Ms. Aria Indrawati, SH. | Public Relation Manager |
| Myanmar | Myanmar Disabled People's Organization | Mr. Kyaw Htut | Member |
| Myanmar | Yangon Deaf Association | Mr. Bo Bo Kyang | Member |

ANNEX9: Training of Counterpart Personnel in Japan

1. Training of Counterpart Personnel in Japan

| Title | Duration | Place | Participants Name | Affiliation/Position | Activities |
|---|---------------------------|----------------|---|---|--------------|
| Promotion of self-help activities | Feb 11 2009 – Feb 20 2009 | Yokohama Tokyo | Ms.Chatpirat BARNISUNTHIA Ms.Pradubwong THADATRITHARN TIP Ms.Nalinee RUANGRITTISAK Ms.Payanart SOOKCHAREARN Ms.Praparat SASEAN Ms.Darane THANABHUMI Mr.Chusak Janthayanond | Committee Member/Association of Parents of Thai Persons with Autism Member/Association for Persons with Intellectual Disabilities of Thailand Human Resource Development officer/National Office for Empowerment of Persons with Disabilities, Asia-Pacific Development Center on Disability(APCD) Member/Association for Persons with Intellectual Disabilities of Thailand Seller/Friend Shop, Rajanukul Institute President/Association for Persons with Intellectual Disabilities of Thailand(AU-Thai) President / Teacher , Association of parents for Thai person with Autism | Activity 1-4 |
| Management of Self-Help Groups of Persons with Intellectual Disabilities / Autism | Jul 31 2009 – Aug 7 2009 | Hokkaido | Mr. WIWATANA Sirisak Ms.ATCHARIYADECHAKU L.Kitiya Ms.SUJARITWATANASAK Phacharin Ms.CHANAPOLCHAI Araya Mr.RUNGSILP Somchai Mr. Suporn tum Mongkolsawadi Mr. Somchai Rungsilp | Secretary of Teacher/Training Sector, Thai Autism Vocational Center Student/Association for Persons with Intellectual Disability of Thailand General Assistant/Association for Persons with Intellectual Disability of Thailand Teacher/Head of Training Center, Association for Persons with Intellectual Disability of Thailand HRD Program Adviser/APCD APCD Executive Board member Manager/Networking & Collaboration Department, APCD | Activity 1-4 |
| Knowledge Management | Nov 20 2009 – Nov 28 2009 | Tokyo | | | Activity 1-7 |

List of Signed Action Plan

| | Date of signing (dd/mm/yy) | | | Country | Focal Point / Associate Organization | Summary of Action Plan |
|---|----------------------------|---------------|--------------|----------|---|---|
| | FPI/AO | APCD Director | JICA Advisor | | | |
| 1 | 01/03/08 | 01/03/08 | 01/03/08 | Japan | Nippon Foundation | 1. To organize Blind Future Leader's Dialogue Towards a Better Asia (Mar - Aug 2008) |
| 2 | 11/04/08 | 11/04/08 | 11/04/08 | Thailand | DPI-AP | 1. To organize Sub-regional Capacity Development Workshop on Women with Disabilities (WWD) in 2009 and 2010 2. To organize Capacity Development of Self-Help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) in Central Asia |
| 3 | 01/07/08 | 14/07/08 | 14/07/08 | Lao PDR | LDPA Deaf Unit | 1. To organize Lao Deaf leaders' training in Thailand 2. To organize Follow-up training in Laos |
| 4 | 01/08/08 | 04/08/08 | 04/08/08 | Thailand | Nakhonpathom Independent Living Center | 1. Documenting the story of NILC 2. Presentation and distribution |
| 5 | 05/08/08 | 05/08/08 | 05/08/08 | Thailand | Association of Parents for Thai Persons with Autism | 1. To collaborate on Networking and collaboration with persons with intellectual disabilities and their families in Thailand and CLMV 2. Documenting good practice collaboration the the autism between Thailand and CLMV |
| 6 | 11/08/08 | 04/08/08 | 04/08/08 | Japan | FASID | 1. To organize workshop for persons with disabilities in CLMV |
| 7 | 22/08/08 | 04/08/08 | 04/08/08 | Viet Nam | Reaching Out Handicrafts | 1. Documenting a good practice of a self-initiated business (social business) from a perspective of Economic Empowerment |
| 8 | 25/08/08 | 04/08/08 | 04/08/08 | Viet Nam | Danang Rehabilitation and Satatrium Hospital | 1. Documenting a good practice of CBR from a perspective of Capacity Development (Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital) |
| 9 | 28/08/08 | 04/08/08 | 04/08/08 | Lao PDR | Vientiane Capital Disabled People's Association | 1. Documenting a good practice of SHG/SHO from a perspective of Capacity Development (VCDPA) 2. Training of trainers |

List of Signed Action Plan

| | Date of signing (dd/mm/yy) | | | Country | Focal Point / Associate Organization | Summary of Action Plan |
|----|----------------------------|---------------|--------------|-------------|---|--|
| | FP/AO | APCD Director | JICA Advisor | | | |
| 20 | N/A | 01/04/09 | 01/04/09 | Thailand | Inclusion Japan | 1. Strengthening of the capacity of potential leaders among Thai persons with intellectual disabilities and their families 2. Experiences of the Inclusion Japan in promoting self-advocacy and strengthening groups/organizations of persons with intellectual |
| 21 | 15/05/09 | 26/05/09 | 26/05/09 | Philippines | Resources for the Blind Incorporated | 1. Documenting a good practice of ICT from a perspective of Capacity Development |
| 22 | 15/05/09 | 26/05/09 | 26/05/09 | Philippines | MCCID College of Technology | 1. Documenting a good practice of ICT from a perspective of Capacity Development |
| 23 | 19/05/09 | 26/05/09 | 26/05/09 | Philippines | Life Haven Incorporated | 1. Producing Tagalog subtitle version of DVD Nakhonpathom ILC 2. Training of IL leaders in partnership between LHI and SCIF |
| 24 | 12/05/09 | 1/05/09 | 1/05/09 | Philippines | SM Supermalls Committee on Disability Affairs | 1. Documenting a good practice of Inclusive Community Business Development from a perspective of Capacity Development (SM Supermalls Committee on Disability Affairs) |
| 25 | 16/06/09 | 23/06/09 | 23/06/09 | Vietnam | World Vision Vietnam | 1. Promoting CBR in Inclusive Development (Production and Utilization of a Documentary DVD) 2. Participate in CBR Networking in Asia-Pacific region 3. Capacity Building for Inclusive Development on Disability |
| 26 | 26/06/09 | 26/06/09 | 02/07/09 | Pakistan | National Institute of Science and Technical Education | 1. Documenting a good practice of SHG from a perspective of Capacity Development (STEP) |
| 27 | N/A | N/A | 21/07/09 | Thailand | Thai Deaf Children and Women Network Federation | 2. Utilizing the DVD for the training activities by NISTE |
| 28 | 22/10/09 | N/A | N/A | Myanmar | Eden Center | 1. Networking and collaboration with the Deaf in CLMV 1. CBR training program development |
| 29 | N/A | 18/11/09 | 18/11/09 | Malaysia | Malaysian Association for the Blind | 1. Documenting a good practice of ICT from a perspective of Capacity Development (MAB) |
| 30 | 28/01/10 | N/A | N/A | Myanmar | Family Support Network | 1. Network and Collaboration among family members |

ANNEX 11 Local Cost (Japanese side)

As of November 30, 2009
US\$**

US\$**

| | Air fare | Traveling cost Except air fare | Contract for consultant Local consultant | Allowance / compensation Except for APCD staff | Meeting cost Holding seminar and training | Daily expense Desk equipment, car | Total |
|-------------------|-------------------|-----------------------------------|---|---|--|--------------------------------------|-------------------|
| 2007 | 41,566.15 | 21,051.49 | 0.00 | 1,841.75 | 3,241.89 | 57,762.75 | 125,464.03 |
| 2008 | 84,050.18 | 106,355.71 | 0.00 | 19,583.85 | 15,481.95 | 69,553.45 | 295,025.15 |
| *2009 | 28,359.65 | 45,331.79 | 0.00 | 8,746.34 | 5,196.24 | 52,321.52 | 139,955.54 |
| Total | 153,975.98 | 172,738.99 | 0.00 | 30,171.93 | 23,920.09 | 179,637.72 | 560,444.72 |
| Percentage | 27.47% | 30.82% | 0.00% | 5.38% | 4.27% | 32.05% | 100.00% |

*2009(April-November)

**JICA rate as of December 2009
1 US\$= 32.74003 Baht

ANNEX 11 Local Cost (Thai side)

| | Salary | Public facility | Contract for cleaning service | Contract for security guard service | Expense for Japanese experts | Budget for operation | Total (USD*) | Percentage |
|---------------------|------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--|--------------|------------|
| | | | | | (salary of secretaries, fuel fee) | (Meeting, overtime, consumable supply, material, maintenance, training, and commuting) | | |
| Aug - Dec, 2007 | 33,496.30 | 11,937.49 | 3,817.96 | 4,886.98 | 4,979.23 | 49,247.64 | 108,365.60 | |
| Jan 2008 - Jan 2009 | 58,354.25 | 25,007.79 | 17,045.11 | 20,581.53 | 3,731.36 | 91,593.08 | 216,313.13 | |
| Feb - Jul, 2009 | 20,643.54 | 16,669.09 | 5,591.24 | 8,246.79 | 3,359.19 | 101,130.65 | 155,640.50 | |
| Aug - Nov, 2009 | 26,660.28 | 10,478.58 | 3,727.48 | 5,497.86 | 3,043.06 | 12,310.46 | 61,717.73 | |
| Total | 139,154.38 | 64,092.95 | 30,181.79 | 39,213.16 | 15,112.85 | 254,281.83 | 542,036.96 | |
| Percentage | | | | | | | | |

Note : Based on APCD Project Phase 2 JCC reports

*JICA rate as of December 2009

1 US\$= 32.74003 Baht

ANNEX13 : Achievement (Workshop, Seminar and Documentation)

| Course Title | Dates (Place) | Number of participants | Main participants | Activities | | | | | | | | | | |
|---|---|------------------------|---|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|---|
| | | | | 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 1-7 | 1-8 | | | |
| Newsletter Vol.20 | 30 Aug (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 2 FP / 9 AO / 13 stakeholders | | o | | | | | | | | | |
| Workshop on Intellectual Disabilities | 20-22 Nov (Phnom Penh, Cambodia) | 18 | Persons with intellectual disabilities (5 persons) and persons with cerebral palsy (3 persons) and supporters | | o | o | | | | | | | | |
| Networking and collaboration workshop | 12-14 Dec (Vientiane, Laos) | 48 | Deaf persons, persons with intellectual disabilities, their families and supporters | | o | | | | | | | | | |
| Regional Workshop on the Empowerment of Persons with Intellectual Disabilities and their Families in Asia and the Pacific | 11-13 Oct (Shanghai, China) | 6 | Persons with intellectual disabilities, families and members of the Association for Persons with Intellectual Disabilities and the Association of Parents for That Autistic Persons | | o | | | | | | | | | o |
| Newsletter Vol.21 | 31 Oct (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 3 FP / 3 AO / 22 stakeholders | | o | | | | | | | | | |
| Networking and collaboration workshop with Deaf persons | 3-8 Dec (Hanoi, Viet Nam) | 22 | Deaf persons | | o | | | | | | | | | |
| Networking and collaboration workshop with persons with intellectual disabilities | 3-8 Dec (Hanoi, Viet Nam) | 26 | Persons with intellectual disabilities and their families | | o | | | | | | | | | |
| Workshop on the Capacity Building for Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CBSHOD) | 12-16 February (Port Moresby, Papua New Guinea) | 57 | Leaders of self-help organizations of persons with disabilities from the Pacific countries | | o | | | | | | | | | o |
| Sub-regional workshop on Intellectual Disabilities | 22-25 Jan (Bangkok, Thailand) | 25 | Persons with intellectual disabilities, families and supporters from Cambodia, Laos, Viet Nam and Thailand | | o | | | | | | | | | o |
| Editing Nakhonpathom ILC DVD for Japanese caption | 15 Feb (Bangkok, Thailand) | 20 | Nakhonpathom Independent Living Center (AO) | | o | | | | | | | | | o |
| Newsletter Vol.22 | 28 Feb (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 4 FP / 7 AO / 10 stakeholders | | o | | | | | | | | | o |
| Workshop with Deaf Leaders and Deaf School Teachers | 10-14 Mar (Yangon, Myanmar) | 30 | 25 Deaf persons and 5 Deaf school teachers in Myanmar | | o | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|----------------|--|---|---|---|---|---|---|
| Workshop on the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) | 16-26 Oct (Bishkek, Kyrgyz Republic) | 51 | Leaders of self-help organizations of persons with disabilities, government and UN representatives from the five Central Asian countries. | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Presentation at Triangular and South-South Cooperation to be Focus of UN Forum | 21 Oct (Bangkok, Thailand) | 50 | UNDESA, UNESCAP | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Newsletter Vol.25 | 30 Oct (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 4 FP / 5 AO / 8 stakeholders | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SbKM Workshop on Documenting a good practice on Non-handicapping Environment (Preparation) | 11 Nov (Manila, Philippines) | 30 | National Council on Disability Affairs (FP), United Architects of the Philippines Accessibility Committee (AO), SM Supermalls Committee on Disability Affairs (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SbKM Workshop on Documenting a good practice on ICT (Preparation) | 14 Nov (Manila, Philippines) | 10 | National Council on Disability Affairs (FP), MCCID College of Technology (AO), Resources for the Blind Incorporated (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "CBR Initiative in Jodnongkae" (DVD) | 7 Dec (Bangkok, Thailand) | 1,000 (copies) | Jodnongkae Sub-district Administrative Organization (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "Together We Can Make Changes" (DVD) | 30 Dec (Bangkok, Thailand) | 1,000 (copies) | Vientiane Capital's Disabled People's Association (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Newsletter Vol.26 | 5 Jan (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 3 FP / 6 AO / 10 stakeholders | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Workshop on Leadership and Capacity Development of Deaf Leaders | 11-16 Jan (Hanoi, Viet Nam) | 27 | Deaf and hearing impaired persons from Ho Chi Minh City, Hanoi and surrounding provinces | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Launching Ceremony on TV program by Lao National Television | 29 Jan (Vientiane, Laos) | 100 | National Assembly, Ministry of Information, Lao National Television, Ministry of Labour and Social Welfare (FP), Lao Disabled People's Association (FP), JICA Lao Office, Vientiane Capital's Disabled People's Association (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Internship of Lao Deaf Leaders in Thailand | 26 Jan - 7 Feb (Thailand) | 6 | 4 Deaf leaders and 2 sign language interpreters from Laos | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Documentation on "Inclusive Community Development" (Booklet) through Post-Congress Workshop (in conjunction with 1 st Asia-Pacific CBR Congress) | 21 Feb (Bangkok, Thailand) | 31 | 26 CBR practitioners and 5 resource persons from the Asia-Pacific countries as participants, Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

Handwritten signature and initials.

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|--|---|---|---|---|---|---|
| Workshop for Sharing Experiences between Cambodian and Thai Deaf Persons | 8-10 Jun (Phnom Penh, Cambodia) | 44 | Deaf persons (23 persons) and NGO staff | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Follow-up on Human Resource Development / SbkM activities | 14-19 Jun (Hanoi, Danang, Hoi An, Vietnam) | 50 | World Vision Vietnam (AO), Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (AO), Danang Association of Youth with Disabilities (AO), Reaching Out Handicraft (AO), Disability Resource and Development (AO), Inclusive Development Action (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Workshop "CBR as a PWDs-led Approach Towards Inclusive Development" | 24 Jun - 2 Jul (Tashkent, Uzbekistan) | 30 | Persons with disabilities and supporters (CBR workers) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SbkM Workshop on Documenting a good practice on Self-help Organization/ICT/CBR/Independent Living (Preparation) | 26 Jun - 2 Jul (Islamabad, Pakistan) | 30 | Ministry of Social Welfare and Special Education (FP), Special Talent Exchange Program (AO), Sightsavers International Pakistan (AO), National Institute of Science and Technical Education (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Launching Ceremony in National Disability Prevention and Rehabilitation Week: "A Blind Architect" "SM Care" | 17-18 Jul (Manila, Philippines) | 780 | National Council on Disability Affairs (FP), MCCID College of Technology (AO), Resources for the Blind Incorporated (AO), United Architects of the Philippines Accessibility Committee (AO), SM Supermall's Committee on Disability Affairs (AO), Life Haven Incorporated (AO), Autism Society Philippines (AO), Grayscale Business Management & Consultancy Services (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "A Blind Architect" (DVD) | 15 Jul (Manila, Philippines) | 1,000 (copies) | National Council on Disability Affairs (FP), United Architects of the Philippines Accessibility Committee (AO), | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "SM Care" (DVD) | 15 Jul (Manila, Philippines) | 1,000 (copies) | SM Supermall's Committee on Disability Affairs (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| South-South Cooperation Seminar Report (UNESCA-APCD) | 31 Jul (Bangkok, Thailand) | 500 (copies) | Senior government officials from the Asia-Pacific region (mainly the ASEAN region) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Newsletter Vol.28 | 5 Aug (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 5 FP / 13 AO / 15 stakeholders | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Follow-up on SbkM activities | 19-21 Aug (Danang, Hoi An, Vietnam) | 10 | World Vision Vietnam (AO), Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (AO), Danang Association of Persons with Disabilities (AO), Reaching Out Handicraft (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

22 B

| | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|----------------|--|---|---|---|---|---|---|
| SbKIM Workshop on Documenting a good practice on Blind/ICT/Inclusive Community Business Development (Preparation) | 13 Nov (KL, Malaysia) | 45 | Malaysian Association for the Blind (AO), United Voice, Young Men's Christian Association Kuala Lumpur, Persatuan Mobiliti Selangor & Kuala Lumpur (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "Community for All" (DVD) | 11 Dec (Bangkok, Thailand) | 1,000 (copies) | World Vision Vietnam (AO), Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (AO), Danang Association of Persons with Disabilities (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Completion of "Beyond the Voice of Our Own" (DVD) | 11 Dec (Bangkok, Thailand) | 1,000 (copies) | Ministry of Social Welfare and Special Education (FP), Special Talent Exchange Program (AO), Sightsavers International Pakistan (AO), National Institute of Science and Technical Education under Ministry of Education (AO) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Notebook for Public Relations | 25 Dec (Bangkok, Thailand) | 1,000 (copies) | Sub-regional workshops/seminars/training participants | ○ | | | | | |
| Newspaper Vol.30 | 25 Dec (Bangkok, Thailand) | 2,000 (copies) | 5 FP / 13 AO / 15 stakeholders | ○ | ○ | | | | |
| Workshop on Awareness Raising Activities by Deaf Groups | 11-14 Jan (Yangon, Myanmar) | | | ○ | | | | | |
| Workshop on the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) | 26-29 Jan (Bangkok, Thailand) | | | ○ | | | | | ○ |
| Documentation on "Self-help Group/Organization and Inclusive Development" (Booklet) through CDSHOD | 26-29 Jan (Bangkok, Thailand) | | SHG/SHO practitioners and resource persons from the Asia-Pacific countries as participants | ○ | ○ | | | | ○ |

ANNEX 14 Evaluation on SbKM by partner organizations

Summary of SbKM Research Result (Dec 2009)

Background

The research on Story-based Knowledge Management (SbKM) activities focused Focal Points (Governments) and Associate Organizations that have collaborated with APCD as of Dec 2009. Carried out between 15 December 2009 and 14 January 2010 (1 month), the research covered **34 organizations** (evaluation by 28 organizations which complete the documentation) in India, Laos, Malaysia, Pakistan, Papua New Guinea, Philippines, Thailand and Vietnam. By email, a questionnaire was sent to these organizations and collected. An interview was later conducted with 5 organizations that had participated in APCD's training. Altogether APCD IS team was able to achieve **96.4%** response rate.

Summary of Research Results

Below is an outline of the current status and characteristics of SbKM activities by APCD.

1. SbKM activities covering APCD's Focal Points and Associate Organizations: **19.1%**
2. SbKM activities covering ex-participants of APCD training: **20.2%**
(Participants in CDSHOD, regional seminar and workshops by APCD are included)
3. Production and Copy costs per document: **3,609 USD** in average
(Excluding expense for mission / staff salary, product 2,327 USD / copy 1,282 USD)
4. OECD-DAC evaluation criteria
Relevance: **4.5** / Effectiveness **4.5** / Efficiency **4.3** / Impact **4.4** / Sustainability **4.4**
5. Community participation (persons concerned): **658** persons
6. Communication accessibility has been considered for all documents.

Review and Comments

1. One of positive aspects of the result is to clarify SbKM as an effective follow-up approach of APCD's past activities on Human Resource Development. In fact, each SbKM documentation process involved nearly 20% of ex-participants / Focal Points & Associate Organizations.
2. With APCD as a facilitator, the research proved that each document production was processed as a follow-up of APCD's past activities in a participatory way. Different stakeholders got together under SbKM initiative as a magnet among themselves (in average, 3 organizations, 16 ex-participants, 55 persons concerned in the production). Outcomes of each documentation process are included in case studies.
3. In the mid/long term, a variety of documentation involving more different stakeholders such as private sectors will be necessary. The current SbKM documentation process needs to be presented more clearly to make SbKM as feasible knowledge creation management approach.
4. As of 2010, APCD's Networking and Collaboration Department has developed a draft implementation plan which plans to produce 5 SbKM products. In line with the 2010 plan which includes collaboration at the UN or ASEAN level, APCD needs to consider the impact of SbKM product in terms of quality and quantity.

END

Date: _____

Evaluation Form
Story-based Knowledge Management (SbKM)

 (Organization's name)

would like to give the following feedback to the Story-based Knowledge Management (SbKM) activity in collaboration with Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD).

Point: 5 = excellent / 4 = good / 3 = average / 2 = fair / 1 = poor

| No | Contents | Point |
|-------|--|-------|
| 1. | <u>Relevance</u> The document and its process were consistent with the overall goal of your organization, the attainment of its objectives, intended impacts and effects. The documentation was according to a participatory way, involving major agencies (government, private sector, etc.). | |
| 2. | <u>Effectiveness</u> The document and its process achieved the objectives of your organization: an actual change that contributes to empowerment of persons with disabilities and barrier-free society. A link between the "good practice" and some visible or measurable change in relation to disability was identified. | |
| 3. | <u>Efficiency</u> The document and its process were cost-efficient. The objectives were achieved on time. The documentation was implemented in the most efficient way and achieved with minimum wasted effort or expense. | |
| 4. | <u>Impact</u> The document and its process had an impact on the policy environment, created a more conducive or enabling environment for empowerment of persons with disabilities and barrier-free society. | |
| 5. | <u>Sustainability</u> The major factors which influenced the achievement are sustainable (human, information and financial resource). The product and its process offered opportunities for the initiative to be replicated in other contexts. | |
| Total | | / 25 |

Name _____

Position _____

ANNEX 15 Evaluation on Training Courses by Participants

- 1) Regional Workshop for Networking and Collaboration on Intellectual Disabilities
(Thailand, 22nd-25th January, 2008) [25 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied | N/A |
|----------------|-----------|---------------|-----|
| 50 % | 44 % | 0 % | 6% |

- 2) Workshop on Leadership and Capacity Development for Deaf Leaders in Viet Nam
(Viet Nam, 13th-16th January, 2009) [26 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| 81% | 19% | 0% |

- 3) Lao Deaf Leaders' Internship (Thailand, 26th January – 7th February, 2009)
[6 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| 33% | 67% | 0% |

- 4) Regional Training on Community- Based Rehabilitation: CBR Congress and
Post-Congress Workshop (Thailand, 18th – 21st February, 2009) [27 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| 88% | 9% | 2% |

- 5) Regional Training on Disability, Gender and Development (Thailand, 2nd – 14th
March, 2009) [16 respondents]

First week

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied | N/A |
|----------------|-----------|---------------|-----|
| 32% | 48% | 15% | 5% |

Second week

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied | N/A |
|----------------|-----------|---------------|-----|
| 28% | 42% | 16% | 5% |

- 6) Workshop on Development of Self-help group of Persons with ID/ Autism and their
Families (Thailand, 18th –19th March, 2009)

Self-advocates [11 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| | | |

22/13

| | | |
|-----|-----|----|
| 71% | 19% | 7% |
|-----|-----|----|

Family representatives [12 respondents]

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 96% | 3% | 1% |

7) Senior Officials' Meeting on South-to-South Cooperation on Disability

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 66% | 34% | 0% |

8) Workshop for Deaf Unit members (Laos, 27th – 29th May, 2009) [28 respondents]

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 44% | 46% | 10% |

9) Workshop for Sharing Experiences between Cambodian and Thai Deaf persons (Cambodia, 8th – 11th June, 2009) [28 respondents]

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 84% | 16% | 0% |

10) Workshop on CBR as a PWDs-led Initiative to Community Development (Uzbekistan, 23rd June – 3rd July, 2009) [23 respondents]

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 68% | 32% | 0% |

11) Regional Training on Strengthening Community-based Rehabilitation (CBR) and Self-help Groups (SHG) of Persons with Disabilities (Thailand, 21st-29th July, 2009) [24 respondents]

| | | | |
|----------------|-----------|---------------|-----|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied | N/A |
| 54% | 31% | 1% | 13% |

12) Regional Training on Accessible Web-based Information Networking (Thailand, 2nd-11th September, 2009) [14 respondents]

| | | |
|----------------|-----------|---------------|
| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
| 32% | 66% | 0% |

13) Deaf workshop (families) (Laos, 9th-10th October, 2009) [14 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| 68% | 22% | 10% |

14) Workshop on Sharing Experiences in Conducting Training Activities (Myanmar, 19th-22nd October, 2009) [16 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied | N/A |
|----------------|-----------|---------------|-----|
| 42% | 54% | 0% | 3% |

15) Workshop on Awareness Raising Activities by Deaf Persons (Myanmar, 11th-14th January, 2010) [50 respondents]

| Very satisfied | Satisfied | Not satisfied |
|----------------|-----------|---------------|
| 72% | 28% | 0% |

2. 評価グリッド

Evaluation Grid : Asia-Pacific Development Center on Disability (APCD) Project Phase 2

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|--|---|--|--|---|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| Process of Implementation | <p>System/Structure of the Project management</p> | <ul style="list-style-type: none"> Communication within APCD Communication with FP/AO and APCD Communication with other key players-- executive boards etc. | <p>-Interview survey</p> | <p>(Communication within APCD)</p> <p>- A communication platform within APCD has improved over the past years. A system to share information and ideas among APCD staff, including regular meetings at the section level, the department level and the managerial level, has been established.</p> <p>(Communication with FPs and AOs)</p> <p>- E-mail and telephone are the primary communication tools with FPs and AOs. Some of FPs and AOs have limited communication infrastructure and language barriers, however, the Project has been making efforts to overcome such barriers.</p> <p>(Function of the Executive Board—communication with APCD)</p> <p>- The Executive Board meetings are held every month and the detailed records are kept for each meeting. The interviews with the Executive Board members illustrated their interest in an increased participation in the planning process of APCD's activities.</p> |
| Relevance (To examine the justifiability or necessity for project implementation) | Policy | <p>Appropriateness of the ways to provide technical assistance/transfer</p> <p>Monitoring system</p> <p>~practical accomplishment and its effectiveness</p> | <p>-Interview survey</p> <p>-Interview survey</p> <p>-Questionnaire</p> | <p>- Technical transfer has proceeded by working together with counterparts and experts under the OJT concept. The style is evaluated effective way to transfer techniques and knowledge, which has been contributing to excellent performance of the Project.</p> <p>- APCD staff and Japanese experts visit FPs and AOs frequently and exchange information on the progress of their work in accordance with the Action Plans.</p> <p>- With a solid mechanism to monitor the progress of activities by FPs and AOs, it will contribute more to the enhancement of their performance and more effective follow-up activities by APCD.</p> |
| | | <p>Consistency with the development policy of the government</p> | <p>-Documents of NEP etc.</p> <p>-Questionnaire</p> <p>-Interview survey</p> | <p>- Thailand is one of the three countries in the ASEAN region which ratified the United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities. The Government of Thailand emphasizes the importance to address the disability issues by adopting such policies as "Plan for the Development of the Quality of Life of the Disabled No.3 2007-2011".</p> <p>- The Second Asian and Pacific Decade of Disabled Persons aims to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society. Furthermore, the Biwako Millennium Framework (BMF) identifies APCD as an implementing agency of regional networking and collaboration. Thai government has indicated its support for the implementation of BMF and BMF Plus 5.</p> <p>- Furthermore, the policy on international cooperation of the Government of Thailand recognizes its role in promoting bilateral and multilateral cooperation as well as collaboration with other countries, including the ASEAN member countries.</p> <p>- The Project, therefore, is consistent with the policy of the Government of Thailand as well as international policy trend.</p> |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---------------------|---|---|---|--|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| | <u>Priority</u> | Consistency with Japanese ODA policy/plan | -Japan's country-specific Rolling plan | <ul style="list-style-type: none"> - The Japan's ODA Rolling Plan for the Kingdom of Thailand puts a high priority on "Support of the Socially Vulnerable" as well as "South-South Cooperation" in technical cooperation. At the same time, APCD has actively been promoting south-to-south cooperation on disability in Asia-Pacific by utilizing the resources in the region. - The Project, therefore, is consistent with the policy and program of the Japanese Government. |
| | <u>Selection of the counterparts and the target group</u> | Needs of APCD | -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - The Project was designed with an aim to further promote networking and collaboration by utilizing human and information resources, in particular, ex-participants of the trainings conducted in the Project Phase 1. In order to continue such activities in the ex-participants' respective countries, APCD needed skills and knowledge to create appropriate content which is applicable in various contexts. - SbKM was newly introduced as an effective approach to document and disseminate APCD's good practices as well as facilitate collaboration among ex-participants, FPs and AOs. - The Project has responded to the needs of APCD to develop its capacity to conduct these activities. |
| | | Needs of target group ~ Persons with Disabilities (PWDs), their families and supporters | -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - There is a movement towards the strengthening of self-help groups and organizations of PWDs in the Asia-Pacific region. These groups and organizations, however, face a lack of opportunities in exchanging knowledge and experiences. APCD has played an important role in providing platforms for them to interact and learn from one another, thereby promoting such initiatives as the formation of new self-help groups and organizations of PWDs and their families. - The terminal evaluation of the Project Phase 1 pointed out the need for increasing the participation of persons with intellectual disabilities, their families and persons with impairments. There is a much demand for additional support for these groups, to which APCD has responded by conducting complementary activities to accelerate their participation, in addition to other cross-disability activities. |
| | <u>Project design</u> | Appropriateness of the scale/number of organizations to work with the Project (in 32 countries) | -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - The disability issues remain as crucial challenges in the Asia-Pacific region. There is much expectation for APCD to continuously function as a regional center on disability. - APCD has placed a focus of its activities on the ASEAN countries, and the Greater Mekong Sub-region Countries, in particular. Since it is difficult to conduct activities in all the target countries in the Asia-Pacific region, it is appropriate for APCD to strategically identify priority countries. - There is a need for further strengthening sub-regional mechanisms to effectively cover the 32 countries in the Asia-Pacific region. |
| | <u>Suitability as a means</u> | Technical advantage and/or experiences accumulated in Japan | -Documents of JICA -Interview survey etc. | <ul style="list-style-type: none"> - Japan has long-time experiences on supporting people with disabilities such as activities with independent living center, and activities by many types of supporter associations. The essence of the experiences and systems in Japan has been contributing to the Project outputs as reference information and knowledge. |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---|------------------|--|--|---|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| Effectiveness (To examine project effects) | Project purpose | Achievement forecast for the Project purpose | -Project record -Questionnaire -Interview survey | <p>Project Purpose: APCD is able to function as a regional center to facilitate networking and collaboration among organizations of/for PWDs towards an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region.</p> <p>-Objectively verifiable indicator</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. 2. The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region - <p>- The Project has been making a steady progress towards the achievement of Project Purpose.</p> <p>- It is evaluated that APCD has been already functioning as an effective regional center to facilitate networking and collaboration among governments and other organizations.</p> <p>- The mid-term review mission confirmed that APCD's activities promoted the establishment of self-help groups and organizations of PWDs and strengthened the linkage among these groups and organizations, which resulted in their involvement in the policy making process.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The number of salient documents /declarations on disabilities to recognize APCD as a functional regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region. <p>(As of Jan. 2010)</p> <p>The following FPs have signed a joint declaration to recognize APCD's role in the Asia-Pacific region at the Senior Officials' Meeting on South-to-South Cooperation on Disability, March 2009, UNESCAP.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Min. of Health, Bhutan 2. Min. of Social Affairs, Veteran and Youth Rehab., Cambodia 3. Min. of Social Affairs, Indonesia 4. Min. of Labor and Social Welfare, Laos 5. Min. of Women, Family and Community Development, Malaysia 6. Min. of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar 7. Min. of Social Welfare and Social Education, Pakistan 8. National Council on Disability Affairs, The Philippines 9. National Coordinating Committee on Disability, Vietnam <ol style="list-style-type: none"> 2. The number of organizations of/for PWDs (including grass-roots organizations) to recognize APCD as a functional |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | |
|--|--|-----------|---|---|--|--|------------------------------|--|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | |
| | | | | <p>regional center for promoting an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region</p> <p>(As of Jan. 2010)</p> <table border="1"> <tr> <td>Bishkek Statement was adopted at CDSHOD, October 2008, attended by the representatives of self</td> </tr> <tr> <td>Bangkok Declaration was adopted at CDSHOD, January 2010, attended by the representatives of self</td> </tr> </table> | Bishkek Statement was adopted at CDSHOD, October 2008, attended by the representatives of self | Bangkok Declaration was adopted at CDSHOD, January 2010, attended by the representatives of self | | |
| Bishkek Statement was adopted at CDSHOD, October 2008, attended by the representatives of self | | | | | | | | |
| Bangkok Declaration was adopted at CDSHOD, January 2010, attended by the representatives of self | | | | | | | | |
| | <p><u>Output 1.</u></p> <p>Achievement forecast for Output</p> <p>1.</p> | | <p>-Project record</p> <p>-Questionnaire</p> <p>-Interview survey</p> | <p><u>Output 1.</u></p> <p>To develop more effective and sustainable networking and collaboration among APCD, Focal Point Organizations (FPs) and Associate Organizations(AOs) and other relevant organizations</p> <p>-Objectively verifiable indicator:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 7 selected FPs agree to their roles in documents by Aug. 2009. 2. 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009. 3. 30 Action Plans are prepared by Aug.2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012. 4. 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared. 5. 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012. 6. 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. 7. 80% of participants are satisfied with training courses. 8. 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities. <p>- The Project has steadily shown the progress towards the achievement of the Output 1. APCD has been playing a crucial role in developing networking and collaboration among the organizations concerned through activities including the formulation of Action Plans with FPs and AOs, the implementation of workshops/trainings, and production of publications. The knowledge and skills obtained through these activities, which provided learning opportunities, are valuable assets of APCD.</p> <p>1. 7 selected FPs agree to their roles in documents by August 2009.</p> <p>(As of January 2010)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">Name (country) of FPs</td> </tr> <tr> <td>FPs agreed to their roles by</td> <td>1. Ministry of Labor and Social Development, Kyrgyz Republic 2. National Council on Disability Affairs, Philippines</td> </tr> </table> | Name (country) of FPs | | FPs agreed to their roles by | 1. Ministry of Labor and Social Development, Kyrgyz Republic 2. National Council on Disability Affairs, Philippines |
| Name (country) of FPs | | | | | | | | |
| FPs agreed to their roles by | 1. Ministry of Labor and Social Development, Kyrgyz Republic 2. National Council on Disability Affairs, Philippines | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|------------------|---------------------|--------------|---|-------------|---------|---------------------|---------------------------|-------|-----|-------------------------------|--------------|----|---------------------------------------|---------|-----|------------------------------|----------|-----|-------------------------------|----------|-----|------------------------------|-------|-----|-----------------------------|----------|-----|------------------------------|---------|-----|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>signing documents</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Ministry of Labor and Social Protection of the Population, Tajikistan 4. Ministry of Health, Bhutan 5. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia 6. Ministry of Social Affairs, Indonesia 7. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR 8. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia 9. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Union of Myanmar 10. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan 11. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam <p>2. 30 AOs agree to their roles in documents by Aug. 2009. (As of January 2010)</p> <p>Number of AOs agreed to their roles by signing documents</p> <p>37</p> <p>3. 30 Action Plans are prepared by August 2009 and 60% of the Plans are conducted together with FPs and/or AOs by 2012. (As of Jan. 2010)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Action Plan</th> <th>Country</th> <th>% of implementation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. Action Plan-NF20080301</td> <td>Japan</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2. Action Plan-DPI-AP20080411</td> <td>Asia-Pacific</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>3. Action Plan-LDPA Deaf Unit20080714</td> <td>Lao PDR</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>4. Action Plan-NILC 20080804</td> <td>Thailand</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>5. Action Plan-APTPA_20080805</td> <td>Thailand</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>6. Action Plan-FASID20080811</td> <td>Japan</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>7. Action Plan-ROH 20080822</td> <td>Viet Nam</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>8. Action Plan-DNRSH20080825</td> <td>Vietnam</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> | Action Plan | Country | % of implementation | 1. Action Plan-NF20080301 | Japan | 100 | 2. Action Plan-DPI-AP20080411 | Asia-Pacific | 80 | 3. Action Plan-LDPA Deaf Unit20080714 | Lao PDR | 100 | 4. Action Plan-NILC 20080804 | Thailand | 100 | 5. Action Plan-APTPA_20080805 | Thailand | 100 | 6. Action Plan-FASID20080811 | Japan | 100 | 7. Action Plan-ROH 20080822 | Viet Nam | 100 | 8. Action Plan-DNRSH20080825 | Vietnam | 100 |
| Action Plan | Country | % of implementation | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. Action Plan-NF20080301 | Japan | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. Action Plan-DPI-AP20080411 | Asia-Pacific | 80 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. Action Plan-LDPA Deaf Unit20080714 | Lao PDR | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Action Plan-NILC 20080804 | Thailand | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Action Plan-APTPA_20080805 | Thailand | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. Action Plan-FASID20080811 | Japan | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. Action Plan-ROH 20080822 | Viet Nam | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. Action Plan-DNRSH20080825 | Vietnam | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---------------------|------------------|-----------|--------------|--|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| | | | | |
| | | | | 9. Action Plan-VCDPA 20080828 Lao PDR 70 |
| | | | | 10. Action Plan-Jodenongkae 20081001 Thailand 100 |
| | | | | 11. Action Plan-APIDT 20080805 Thailand 100 |
| | | | | 12. Actions Plan-Worldvision 20081224 Uzbekistan 100 |
| | | | | 13. Actions Plan-Hanoi Deaf 20090203 Vietnam 50 |
| | | | | 14. Action Plan-APDRJ 20090302 Asia-Pacific 100 |
| | | | | 15. Action Plan-JAP 20090302 Philippines 100 |
| | | | | 16. Action Plan-NCDA 20090303 Philippines 100 |
| | | | | 17. Action Plan-STEP 20090311 Pakistan 100 |
| | | | | 18. Action Plan-DK 20090313 Pakistan 80 |
| | | | | 19. Action Plan-PNGADP 20090323 PNG 50 |
| | | | | 20. Action Plan-JJ 20090401 Japan 70 |
| | | | | 21. Action Plan-RBI 20090515 Philippines 100 |
| | | | | 22. Action Plan-MCCID 20090515 Philippines 100 |
| | | | | 23. Action Plan-LHI 20090519 Philippines 100 |
| | | | | 24. Action Plan-SM 20090525 Philippines 100 |
| | | | | 25. Action Plan-WVV/20090623 Viet Nam 70 |
| | | | | 26. Action Plan-NISTE/20090702 Pakistan 100 |
| | | | | 27. Action Plan-TDCWNF/20090721 Thailand 70 |
| | | | | 28. Action Plan-Eden 20091022 Myanmar 50 |
| | | | | 29. Action Plan-MAB/20091118 Malaysia 30 |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--------------|---|---|---------|----|--|------|----|----------------------------------|--------------------------------|---|--|---|---|---|----------------|------------------------------------|---|--|-------|---|---------|------|---|------------------------------|---|----------|-----|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <table border="1"> <tr> <td>30. Action Plan-Family Support Network 20100128</td> <td>Myanmar</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Rate</td> <td>85</td> </tr> </table> <p>4. 5 sub-regional workshops are conducted to facilitate sub-regional networking and collaboration in the Asia-Pacific region by 2012. All outputs and impacts are documented and widely shared.</p> <table border="1"> <tr> <td>Sub-regional workshops conducted</td> <td>Documented outputs and impacts</td> </tr> <tr> <td>1) Workshop for the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) , Kyrgyz Republic (November 2008)</td> <td>Bishkek Statement CDSHOD report Press release APCD Newsletter article</td> </tr> <tr> <td>2) 1st Asia-Pacific Community-based Rehabilitation (CBR) Congress, Thailand (February 2009)</td> <td>Bangkok Statement Summary of abstracts of all the presentations Press release APCD Newsletter article Publication on CBR (under development) Booklet on CBR APCD Newsletter article</td> </tr> <tr> <td>3) Post-Congress Workshop, Thailand (February 2009)</td> <td>Booklet on CBR</td> </tr> <tr> <td>4) CDSHOD, Thailand (January 2010)</td> <td>APCD Newsletter article Joint statement by the participants (to be developed) Booklet on Self-help Organizations (SHOs) in the ASEAN region (to be developed) Press release APCD Newsletter article (to be developed)</td> </tr> </table> <p>5. 30 good practices are documented with analysis and widely shared in collaboration with FPs, AOs and stakeholders by 2012. (As of Jan. 2010)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>Title</td> <td>Collaboration (Knowledge Creators / Knowledge Supporters)</td> <td>Country</td> <td>Type</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>CBR initiative in Jodhongkae</td> <td>Jodhongkae Sub-district Administrative Organization National Office for Empowerment of Persons with Disabilities (NEP)</td> <td>Thailand</td> <td>DVD</td> </tr> </table> | 30. Action Plan-Family Support Network 20100128 | Myanmar | 30 | | Rate | 85 | Sub-regional workshops conducted | Documented outputs and impacts | 1) Workshop for the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) , Kyrgyz Republic (November 2008) | Bishkek Statement CDSHOD report Press release APCD Newsletter article | 2) 1 st Asia-Pacific Community-based Rehabilitation (CBR) Congress, Thailand (February 2009) | Bangkok Statement Summary of abstracts of all the presentations Press release APCD Newsletter article Publication on CBR (under development) Booklet on CBR APCD Newsletter article | 3) Post-Congress Workshop, Thailand (February 2009) | Booklet on CBR | 4) CDSHOD, Thailand (January 2010) | APCD Newsletter article Joint statement by the participants (to be developed) Booklet on Self-help Organizations (SHOs) in the ASEAN region (to be developed) Press release APCD Newsletter article (to be developed) | | Title | Collaboration (Knowledge Creators / Knowledge Supporters) | Country | Type | 1 | CBR initiative in Jodhongkae | Jodhongkae Sub-district Administrative Organization National Office for Empowerment of Persons with Disabilities (NEP) | Thailand | DVD |
| 30. Action Plan-Family Support Network 20100128 | Myanmar | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Rate | 85 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Sub-regional workshops conducted | Documented outputs and impacts | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Workshop for the Capacity Development of Self-help Organizations of Persons with Disabilities (CDSHOD) , Kyrgyz Republic (November 2008) | Bishkek Statement CDSHOD report Press release APCD Newsletter article | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 1 st Asia-Pacific Community-based Rehabilitation (CBR) Congress, Thailand (February 2009) | Bangkok Statement Summary of abstracts of all the presentations Press release APCD Newsletter article Publication on CBR (under development) Booklet on CBR APCD Newsletter article | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) Post-Congress Workshop, Thailand (February 2009) | Booklet on CBR | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) CDSHOD, Thailand (January 2010) | APCD Newsletter article Joint statement by the participants (to be developed) Booklet on Self-help Organizations (SHOs) in the ASEAN region (to be developed) Press release APCD Newsletter article (to be developed) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Title | Collaboration (Knowledge Creators / Knowledge Supporters) | Country | Type | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | CBR initiative in Jodhongkae | Jodhongkae Sub-district Administrative Organization National Office for Empowerment of Persons with Disabilities (NEP) | Thailand | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------------|---|--------------|---|---|------------------------------|---|---------|-----|---|---------------------------------|--|-------|---------|---|---------------|---|---------|-----|---|-------------------|--|---------|-----|---|-----------------------------|---|-------------|-----|---|-------------------|---|-------------|-----|---|---------|--|-------------|-----|---|-----------------------------|--|----------|-----|----|-----------------|--|----------|---------|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <table border="1"> <tr> <td>2</td> <td>Together We Can Make Changes</td> <td>Vientiane Capital's Disabled People's Association (VCDPA) Lao Disabled People's Association (LDPA)</td> <td>Lao PDR</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Inclusive Community Development</td> <td>Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal (APDRJ)</td> <td>India</td> <td>Booklet</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Yes, You Can!</td> <td>Reaching Out Handicraft (ROH) Disability Resource and Development (DRD) Inclusive Development Action (IDEA)</td> <td>Vietnam</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Community for All</td> <td>World Vision Vietnam (WVV) Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (DNRSH) Danang Association of Persons with Disabilities (DNAPD)</td> <td>Vietnam</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>From Why to How through ICT</td> <td>MCCID College of Technology (MCCID) National Council on Disability Affairs (NCDA) Resources for the Blind Incorporated (RBI) Grayscale Business Management & Consultancy Services Philippine Web Accessibility Group (PWAG)</td> <td>Philippines</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>A Blind Architect</td> <td>National Council on Disability Affairs (NCDA) United Architects of the Philippines Accessibility Committee (UAP)</td> <td>Philippines</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>SM Care</td> <td>SM Supermalls Committee on Disability Affairs (SM) Life Haven Incorporated National Council on Disability Affairs (NCDA) Autism Society Philippines (ASP)</td> <td>Philippines</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Beyond the Voice of Our Own</td> <td>National Institute of Science and Technical Education (NISTE) Special Talent Exchange Program (STEP) Sightsavers International Pakistan (SI)</td> <td>Pakistan</td> <td>DVD</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>House of Wisdom</td> <td>Danishkadah (DK) All-Sanghar Handicapped Association (ASHA) Sindh Disability Forum (SDF)</td> <td>Pakistan</td> <td>Cartoon</td> </tr> </table> | 2 | Together We Can Make Changes | Vientiane Capital's Disabled People's Association (VCDPA) Lao Disabled People's Association (LDPA) | Lao PDR | DVD | 3 | Inclusive Community Development | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal (APDRJ) | India | Booklet | 4 | Yes, You Can! | Reaching Out Handicraft (ROH) Disability Resource and Development (DRD) Inclusive Development Action (IDEA) | Vietnam | DVD | 5 | Community for All | World Vision Vietnam (WVV) Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (DNRSH) Danang Association of Persons with Disabilities (DNAPD) | Vietnam | DVD | 6 | From Why to How through ICT | MCCID College of Technology (MCCID) National Council on Disability Affairs (NCDA) Resources for the Blind Incorporated (RBI) Grayscale Business Management & Consultancy Services Philippine Web Accessibility Group (PWAG) | Philippines | DVD | 7 | A Blind Architect | National Council on Disability Affairs (NCDA) United Architects of the Philippines Accessibility Committee (UAP) | Philippines | DVD | 8 | SM Care | SM Supermalls Committee on Disability Affairs (SM) Life Haven Incorporated National Council on Disability Affairs (NCDA) Autism Society Philippines (ASP) | Philippines | DVD | 9 | Beyond the Voice of Our Own | National Institute of Science and Technical Education (NISTE) Special Talent Exchange Program (STEP) Sightsavers International Pakistan (SI) | Pakistan | DVD | 10 | House of Wisdom | Danishkadah (DK) All-Sanghar Handicapped Association (ASHA) Sindh Disability Forum (SDF) | Pakistan | Cartoon |
| 2 | Together We Can Make Changes | Vientiane Capital's Disabled People's Association (VCDPA) Lao Disabled People's Association (LDPA) | Lao PDR | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | Inclusive Community Development | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal (APDRJ) | India | Booklet | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | Yes, You Can! | Reaching Out Handicraft (ROH) Disability Resource and Development (DRD) Inclusive Development Action (IDEA) | Vietnam | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | Community for All | World Vision Vietnam (WVV) Danang Rehabilitation and Sanatorium Hospital (DNRSH) Danang Association of Persons with Disabilities (DNAPD) | Vietnam | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | From Why to How through ICT | MCCID College of Technology (MCCID) National Council on Disability Affairs (NCDA) Resources for the Blind Incorporated (RBI) Grayscale Business Management & Consultancy Services Philippine Web Accessibility Group (PWAG) | Philippines | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | A Blind Architect | National Council on Disability Affairs (NCDA) United Architects of the Philippines Accessibility Committee (UAP) | Philippines | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | SM Care | SM Supermalls Committee on Disability Affairs (SM) Life Haven Incorporated National Council on Disability Affairs (NCDA) Autism Society Philippines (ASP) | Philippines | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | Beyond the Voice of Our Own | National Institute of Science and Technical Education (NISTE) Special Talent Exchange Program (STEP) Sightsavers International Pakistan (SI) | Pakistan | DVD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | House of Wisdom | Danishkadah (DK) All-Sanghar Handicapped Association (ASHA) Sindh Disability Forum (SDF) | Pakistan | Cartoon | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>6. 60% of participants of APCD's activities are satisfied with communication accessibility. 88.4% of the organizations participating in the development of Story-based Knowledge Management (SbKM) products responded they were satisfied with communication accessibility throughout the process (See the ANNEX 14 of Evaluation</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | | | | | | | |
|--|------------------|--|---|---|-----------|------------|--|--|-------------|------------|--------------|--|--|------------|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>Report).</p> <p>7. 80% of participants are satisfied with training courses. 93% of the participants of APCD's training and workshop activities are satisfied with their contents. (See the Annex 15 of Evaluation Report)</p> <p>8. 70% of ex-participants share their learning and initiate or strengthen their activities. Most of the activities conducted by APCD are initiated and participated by ex-participants. Approximately 20% of the ex-participants have participated in SbKM activities and shared what they have learned with others (See the ANNEX 14 of Evaluation Report).</p> | | | | | | | | | | |
| | Output 2 | Achievement forecast for the Output 2. | <p>-Project record -Questionnaire -Interview survey</p> | <p>Output 2. To strengthen the managerial and administrative capacity of APCD to become internationalized</p> <p>-Objectively Verifiable Indicator: 1. A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by Aug. 2008. 2. A system to accommodate international advice in the APCD management is established and functional by Aug. 2009. 3. A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by Aug. 2009. 4. 4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by Aug.2009. 5. 7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by Aug. 2009.</p> <p>- The achievement of the activities in the indicators is as follows:</p> <p>1. A procedure and strategies for APCD as a Unit under a Foundation are prepared by Aug. 2008.</p> <table border="1"> <tr> <td>Completed</td> <td>Month/Year</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Memorandum of Understanding (MOU); Signed by the APCD Foundation and the Ministry of Social Development and Human Security, January 2009</td> </tr> </table> <p>2. A system to accommodate international advice in the APCD management is established and functional by Aug. 2009.</p> <table border="1"> <tr> <td>Established</td> <td>Month/Year</td> </tr> <tr> <td colspan="2">October 2009</td> </tr> </table> <p>3. A draft procedure and strategies to be internationalized are prepared by August 2009.</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>Month/Year</td> </tr> </table> | Completed | Month/Year | Memorandum of Understanding (MOU); Signed by the APCD Foundation and the Ministry of Social Development and Human Security, January 2009 | | Established | Month/Year | October 2009 | | | Month/Year |
| Completed | Month/Year | | | | | | | | | | | | | |
| Memorandum of Understanding (MOU); Signed by the APCD Foundation and the Ministry of Social Development and Human Security, January 2009 | | | | | | | | | | | | | | |
| Established | Month/Year | | | | | | | | | | | | | |
| October 2009 | | | | | | | | | | | | | | |
| | Month/Year | | | | | | | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|---|-------------------------------------|---|------------|--|---|---|--|---|--|----------------------|-------------------------------|---|--|--|--|---|---|--|--|
| | Main Items | Sub-Items | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>Prepared</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Official language: English, October 2009 2. Multi national staff: October 2009 <p>4. 4 activities to support fund-raising by the APCD Foundation and other relevant organizations are conducted for the purpose of APCD related activities by August 2009. (As of January 2010)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Month/Year</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. Blind Future Leaders' Dialogue, 2008-2010 (the Nippon Foundation)</td> </tr> <tr> <td>2. 1st Asia-Pacific CBR Congress, February 2009 (WHO)</td> </tr> <tr> <td>3. SbkM activity , July 2009 (SM Supermall)</td> </tr> <tr> <td>4. KM Training in Japan, November 2009 (Japan Fundraising Association)</td> </tr> <tr> <td>5. Institute on Disability and Public Policy, Nov. 2009 (the Nippon Foundation)</td> </tr> <tr> <td>6. SbkM activity, October 2009 (Ministry of Education, Pakistan)</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 7 selected FPs confirm their support for internationalization of APCD in documents by Aug. 2009. (As of Jan. 2010)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Name (country) of FP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. Ministry of Health, Bhutan</td> </tr> <tr> <td>2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia</td> </tr> <tr> <td>3. Ministry of Social Affairs, Indonesia</td> </tr> <tr> <td>4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR</td> </tr> <tr> <td>5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia</td> </tr> <tr> <td>6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar</td> </tr> <tr> <td>7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan</td> </tr> <tr> <td>8. National Council on Disability Affairs, Philippines</td> </tr> <tr> <td>9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam</td> </tr> </tbody> </table> <p>FP confirmed support in document</p> <p>- As shown above, much progress has been made towards the achievement of the Output 2. - The importance of further strengthening the organizational capacity of APCD has been raised by APCD staff and other stakeholders.</p> | Month/Year | 1. Blind Future Leaders' Dialogue, 2008-2010 (the Nippon Foundation) | 2. 1 st Asia-Pacific CBR Congress, February 2009 (WHO) | 3. SbkM activity , July 2009 (SM Supermall) | 4. KM Training in Japan, November 2009 (Japan Fundraising Association) | 5. Institute on Disability and Public Policy, Nov. 2009 (the Nippon Foundation) | 6. SbkM activity, October 2009 (Ministry of Education, Pakistan) | Name (country) of FP | 1. Ministry of Health, Bhutan | 2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia | 3. Ministry of Social Affairs, Indonesia | 4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR | 5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia | 6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar | 7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan | 8. National Council on Disability Affairs, Philippines | 9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam |
| Month/Year | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. Blind Future Leaders' Dialogue, 2008-2010 (the Nippon Foundation) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 1 st Asia-Pacific CBR Congress, February 2009 (WHO) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. SbkM activity , July 2009 (SM Supermall) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. KM Training in Japan, November 2009 (Japan Fundraising Association) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Institute on Disability and Public Policy, Nov. 2009 (the Nippon Foundation) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. SbkM activity, October 2009 (Ministry of Education, Pakistan) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Name (country) of FP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. Ministry of Health, Bhutan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Rehabilitation, Cambodia | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. Ministry of Social Affairs, Indonesia | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Ministry of Labor and Social Welfare, Lao PDR | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Ministry of Women, Family and Community Development, Malaysia | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement, Myanmar | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. Ministry of Social Welfare and Special Education, Pakistan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. National Council on Disability Affairs, Philippines | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. National Coordinating Committee on Disability, Viet Nam | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>- Collaboration with self-help groups and organizations of PWDs has been a crucial factor contributing to the effective implementation of APCD's activities. Their participation enhanced the quality of APCD's activities and contributed to the expansion of APCD's network. - Collaboration with the UN agencies, such as UNESCAP and WHO, contributed significantly to the achievement of Project</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <u>Contribution factors</u> | Contributing factors to enhance the achievement of the Output | -Questionnaire -Interview survey | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|--|---------------------------|---|--|---|
| | Main Items | Sub-Items and/or Project purpose | | |
| | <u>Inhibition factors</u> | Factors to inhibit the achievement of the Output and/or Project purpose | -Questionnaire -Interview survey | Purpose and Outputs. Important assumptions (have been secured or not, and prospects for the remaining period) - Important assumptions have been secured. Others - Legal process of transfer to a foundation was prolonged more than initially scheduled, giving influence on the schedule of activities regarding the Output 2. |
| Efficiency (To examine project efficiency) | <u>Input (manpower)</u> | Enhancement of the output from the viewpoint of Japanese experts (number, expertise, timing, performance) | -Project record -Questionnaire -Interview survey | Japanese manpower input - It is evaluated that inputs provided by the Japanese long-term experts in both fields of human resource development and knowledge management have contributed to the achievement of Project Purpose and Outputs. - In addition, the inputs of short-term experts with intellectual disabilities and hearing impairment, also contributed significantly to the achievement of Output 1. - In particular, the dispatch of short-term experts with intellectual disabilities demonstrated a great impact in promoting the understanding on the importance of self-advocates, which led to the establishment of the first self-advocacy group of persons with intellectual disabilities in Thailand. |
| | | Enhancement of the output from the viewpoint of counterpart personnel assigned | -Project record -Questionnaire -Interview survey | Thai manpower input - Thai resource persons with various types of disabilities have made significant contributions to the development of their self-help groups and organizations both in and outside Thailand. - Although the number of APCD staff is limited, considering the wide range of activities and the introduction of new approaches such as knowledge management, the Project activities have been implemented as planned. It can be said that the activities were conducted efficiently with minimum manpower. - In case APCD plans to expand its activities and maintain the quality, the current number of staff may not be enough. |
| | <u>Input (material)</u> | Enhancement of the output by material inputs | -Project record -Questionnaire -Interview survey | - The Project in this phase 2 does not provide materials. |
| | <u>Input (training)</u> | Enhancement of the output from the viewpoint of training conducted | -Project record -Questionnaire -Interview survey | - Training opportunities in Japan were provided to APCD counterpart personnel, including APCD Foundation Executive Board members, APCD staff and resource persons with disabilities. The participants were selected with clear criteria and the training program was efficiently organized within the minimum required duration. The participants of training, on their return to Thailand, shared their experiences and newly gained knowledge with other key stakeholders of APCD through organizing workshops and follow-up activities. |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---|--|--|---|---|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| | <u>Input (Budget)</u> | Amount of the project budget Timing to disburse | -Project record -Project record | - The Project budget has been provided as planned. - The Project budget has been disbursed as scheduled. |
| | <u>Complementary effect</u> | Other projects/programs to promote the Project's implementation and/or results | -Questionnaire -Interview survey | - APCD has been actively collaborating with self-help groups and organizations of PWDs and their families. Collaboration with them has enabled APCD to reach a large number of PWDs in various countries. - Collaboration with international NGOs, such as Disabled Peoples' International Asia-Pacific Region, Asia-Pacific Disability Forum, Inclusion International, CBM, Handicap International, World Vision, Sightsavers International, Leonard Cheshire Disability International and WFD, has also been effective in expanding APCD's network. - Collaboration with UNESCAP and WHO created opportunities for APCD to be associated with governmental officers at the policy making level, which led to smooth coordination in their countries., Through collaboration with APCD, UNESCAP was able to monitor the progress of BMF and BMF plus 5 implementation at the grass-roots level. In promoting CBR, WHO and APCD mobilized available resources in an efficient manner to bring out significant impacts. - Joint efforts with these organizations have been effectively promoting networking and collaboration in the Asia-Pacific region. |
| | <u>Duplicated activities</u> | Other projects/programs to duplicate activities of the Project | -Questionnaire -Interview survey | - There are no duplicated activities. |
| <u>Impact</u> (To examine the project's effects including the ripple effects in the long term) | <u>Overall goal</u> Achievement forecast for the overall goal | -Project record -Questionnaire -Interview survey | Overall goal: An inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs in the Asia-Pacific region are promoted. -Objectively Verifiable Indicator 1. The number of activities for networking and collaboration concerning an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs conducted by APCD, FPs, AOs, and other stakeholders. 2. The number of organizations for promoting disability movement and relevant activities towards realization of an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs by actors other than mentioned above - A significant number of activities for networking and collaboration to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society and empowerment of PWDs have been promoted by APCD in collaboration with various stakeholders. - In addition to FPs and AOs, APCD has been working with stakeholders such as the UN agencies, civil society organizations and the private sector. | |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---------------------|--|---|---|---|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| | <p><u>Impacts occurred as ripple effects (positive and negative)</u></p> | <p>Aspects as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> • policy, • technical aspect, • environment, • socio-economy, • organization • finance <p>Impacts occurred in all the targeted countries including Thailand</p> | <p>-Project record -Questionnaire -Interview survey</p> | <p>- APCD together with its partners has been playing an important role in promoting the disability movement and inclusive development. There is a growing interest and momentum in the Asia-Pacific region to promote an inclusive, barrier-free and rights-based society as well as the empowerment of PWDs.</p> <p>【Positive impact】</p> <ul style="list-style-type: none"> - Through the activities facilitated by the Project, many impacts, including the following, have been observed in targeted countries: <p>(General)</p> <ul style="list-style-type: none"> - FPs and AOs gained skills and knowledge through participation in training courses conducted by APCD. Many of them applied newly acquired knowledge and experiences in their own activities. - In particular, AOs have adopted the implementation process of APCD activities, including planning, logistic arrangements and follow-up, to improve how they implement their activities. <p>(Asia-Pacific)</p> <ul style="list-style-type: none"> - CBR Asia-Pacific Network has been established as a result of the 1st Asia-Pacific CBR Congress in February 2009. <p>(ASEAN sub-region)</p> <ul style="list-style-type: none"> - The leaders of self-help organizations of PWDs have adopted the Bangkok Declaration at CDSHOD held in January 2010, in which they committed themselves to the development of a sub-regional network among their organizations, such as the ASEAN Disability Forum. They also initiated the establishment of the ASEAN Federation of Associations on Autism and the ASEAN federation of organizations of persons with hearing impairments, <p>(Viet Nam)</p> <ul style="list-style-type: none"> - One of local governmental officers in Danang was elected as a member of national committee on CBR, and participates in policy making process. APCD's facilitation created the opportunities for both central and local government officers to meet together, with which their relationship developed to collaborate in the policy making process. - An NGO (World Vision Vietnam) newly introduced the concept of "inclusive development" in their community development programs after they participated in the SbkM activity in collaboration with APCD. - The establishment of an association of parents of persons with intellectual disabilities and autism has been initiated by ex-participants of APCD training activities. <p>(Lao PDR)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Vientiane Capital Disabled People's Association started to participate in the policy-making process. The change was brought about through the participation in the process of SbkM activity. |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---------------------|------------------|---|-------------------------------------|--|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| | | | | <p>(Philippines) - SM Supermalis produced a DVD on accessibility in collaboration with APCD. The DVD has been played in more than 200 movie theatres nationwide, which has contributed to raising public awareness on PWDs. It is estimated that the DVD is viewed by about 7 million people annually.</p> <p>(Pakistan) - Ministry of Education and Ministry of Social Welfare and Special Education started to address the issues concerning PWDs in their training programs for teachers.</p> <p>(Myanmar) - Leaders of self-help groups of PWDs jointly formed a national federation, the Disabled People's Development Organization. The establishment of this organization enabled them to participate in the policy formulation consultation with the Government.</p> <p>(Thailand) - The first self-help group of persons with intellectual disabilities in Thailand, Dao Ruang Group, was established through the Project activities. - The Ministry of Social Development and Human Security has initiated a program on sub-regional inter-governmental cooperation on the implementation of CRPD.</p> <p>(Kyrgyz Republic) - A federation of self-help organizations of persons with various types of disabilities was established at the occasion of CDSHOD in October 2008. - The Ministry of Labor and Social Development has developed a national policy on disability.</p> <p>【Negative impact】 - There are no negative impacts - FPs and AOs have been making an increasing financial and technical contribution to the jointly conducted activities with APCD. Careful attention, however, may be required in order to avoid creating the sense of dependency on APCD's support.</p> |
| Sustainability | Policy aspect | <ul style="list-style-type: none"> Prospects of policy support | -Questionnaire -Interview survey | - It is highly likely that the Government of Thailand continues to place an importance on the disability issues and considers APCD as an important implementing agency of regional collaboration on disability. |

| Evaluation Criteria | Evaluation Items | | Data Sources | Result |
|---|-----------------------------|--|---|---|
| | Main Items | Sub-Items | | |
| (To examine the sustainability after the termination of JICA's cooperation) | <u>Organization aspects</u> | <ul style="list-style-type: none"> • Appropriateness of the organizational structure and capacity to continue producing the Project outputs | <ul style="list-style-type: none"> -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - Under the management by the APCD Foundation, APCD has been developing a more effective organizational structure. |
| | <u>Technical aspects</u> | <ul style="list-style-type: none"> • Capacity of personnel in charge of key activities to produce the Project Outputs | <ul style="list-style-type: none"> -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - APCD has been accumulating technical assets such as know-how to conduct activities on human resource development and knowledge management that meet the needs of the target groups. - The technical capacity of APCD can be further strengthened by building the capacity of newly employed staff at APCD. |
| | <u>Financial aspects</u> | <ul style="list-style-type: none"> • Prospects of APCD to secure sufficient financial resources to continuously produce project outputs | <ul style="list-style-type: none"> -Questionnaire -Interview survey | <ul style="list-style-type: none"> - Currently, APCD receives financial support from the Government of Thailand and started to generate funds in various manners. How to secure financial resources is a significant issue for the long-term sustainability of APCD. |

3. 質問票及び同調査結果

Results of Questionnaire Survey

【Questionnaire】

Questionnaire survey was conducted for the purpose of collecting information on AOs that the Mid-term review mission team cannot make face-to-face interview. The questionnaire is composed of selective answers enabling respondents easily to answer, and focused on topics regarding the Effectiveness and the Impact on the basis of PDM contents.

The respondents were 14 as a result from 25 questionnaires distributed.

【Result】

The result of the questionnaire shows many of AOs satisfactorily have been working together with APCD. Respondents with higher satisfaction can be observed in “training and workshop” and “Action plan” related activities.

It is also confirmed that there are various Impacts occurred in AOs. The answers show for example: “motivation of members increased”, “quality of organizational activities grew”, and “network with other organizations was expanded”.

Most of answers are favorable to APCD’s activities. Only the newsletter and homepage are showing slightly lower satisfactory level than others probably due to language barrier.

【Answers of questionnaire】

* Total number of respondents is 16 with additional 2 respondents that were obtained through face-to-face interviews conducted in Vietnam and Lao PDR.

Organizations that answered the questionnaire

| | Country | Name of Organizations |
|----|----------|--|
| 1 | Japan | Nippon Foundation |
| 2 | Japan | FASID |
| 3 | India | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal |
| 4 | Kyrgyz | Kyrgyz National Association of Disabled People’s Organizations |
| 5 | Kyrgyz | Public Movement of Disabled Young People of the Kyrgyzstan |
| 6 | Kyrgyz | Unity of Disabled Youngsters and Independent Association Women Invalids of Kyrgyz Republic |
| 7 | Laos | VCDPA |
| 8 | Laos | LDPA |
| 9 | Malaysia | Malaysian Association For the Blind (MAB) |
| 10 | Myanmar | Eden Centre for Disabled Children |

| | | |
|----|-------------|--|
| 11 | Myanmar | Yangon Deaf Association |
| 12 | Philippines | Resources for the Blind Incorporated |
| 13 | Thailand | Nakhonpathom Independent Living Center |
| 14 | Thailand | Inclusion Japan |
| 15 | Uzbekistan | World Vision Uzbekistan |
| 16 | Vietnam | Club of Mother |

A. Effectiveness

(Project Purpose)

1. Comparing with the present situation and when the Project phase 2 started (Aug.2007), do you think that the APCD is functioning more effectively than before in facilitation of networking and collaboration with other related organizations including yours?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 4 | 6 | 1 | 0 | 4 | 15 |
| % | 25.0 | 37.50 | 6.25 | 0 | 25.0 | 100 |

(Output)

2. Do you think that the Action plan you made with APCD is helpful for the activities of your organization?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 7 | 1 | 0 | 1 | 2 | 11 |
| % | 43.75 | 6.25 | 0 | 6.25 | 12.5 | 100 |

3. Do you think that the workshops/trainings provided by APCD are effective for your organization?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 10 | 2 | 1 | 0 | 1 | 14 |
| % | 62.5 | 12.5 | 6.25 | 0 | 6.25 | 100 |

4. The Project has been making various materials including DVD, booklet, brochure etc for

effective information sharing. Do you think these materials are effective for the activities of your organization?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 5 | 8 | 1 | 1 | 0 | 15 |
| % | 31.25 | 50.00 | 6.25 | 6.25 | 0 | 100 |

5. The Project has been making newsletters and homepage at website to provide information. Do you evaluate those contents are effective?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 4 | 8 | 2 | 1 | 1 | 16 |
| % | 25.0 | 50.0 | 12.5 | 6.25 | 6.25 | 100 |

6. The Project (APCD) has been making efforts for well-timed communication with FPs and AOs for smooth implementation as well as monitoring purpose. Do you evaluate the communication between your organization and the Project (APCD) has been smooth and enough?

| | Yes. Very much | Yes. At a certain level | Yes, but not at satisfactory level yet | Not so much | Cannot judge either Yes or No | Total |
|----------|----------------|-------------------------|--|-------------|-------------------------------|-------|
| # answer | 7 | 5 | 1 | 2 | 0 | 15 |
| % | 43.75 | 31.25 | 6.25 | 12.50 | 0 | 100 |

B. Impact

7. Have you observed any changes occurred in your organization owing to participating in the Project activities? Please select the answers from the following options as many as you think it applied (multiple answers).

| Impacts | Answers (%) |
|---|-------------|
| Changed the contents of activities and/or started to introduce new activities | 37.5 |
| Improved the quality of activities. | 56.2 |
| Utilized more effectively the tools/materials that the Project provided. | 31.2 |

| | |
|--|------|
| Made tools/materials by ourselves with reference of the items that the Project made. | 12.5 |
| Enlarged the target population (can invite/reach more number of people). | 31.2 |
| Grew reputation of the organization. | 50.0 |
| Grew operational budget from external resources including fund and contribution. | 12.5 |
| Raised motivation of the staffs. | 56.2 |
| Established the new network with other organizations. | 56.2 |
| Strengthened the existed network with other organizations. | 50.0 |

質問票結果

【質問票の構成】

本中間レビュー調査において、聞き取り調査が実施できない AO に対して質問票による調査を実施した。質問票は回答者にとって回答への負担が少なく、かつ簡易に回答できるように質問数を絞った選択式の質問票とした。また、質問項目は PDM 内容に準拠しながら有効性とインパクトに焦点を当てた。

質問票は計 25 票を送付し、うち 14 票を回収した。

【結果】

多くの AO が現行の APCD の活動に満足していることが判明した。特に、研修・ワークショップ、行動計画の策定が効果的と回答している例が多く見られる。

またインパクトについても、「組織メンバーのモチベーションが向上した」、「組織の活動内容の質が向上し、活動バラエティも豊富になった」、「関係団体とのネットワークが拡大した」などの意見が多く寄せられた。

概ね全ての項目において好意的な回答が寄せられたが、あえて指摘すると、ニュースレターへの満足度が若干低くなっている。これはニュースレターが英文となっていることに起因する結果と考えられる。

【回答結果詳細】

(聞き取り調査時に 2 票を追加収集したため、回答結果の合計は 16 票から成る)

回答組織

| | 国 | 組織名 |
|----|-------|--|
| 1 | 日本 | 日本財団 |
| 2 | 日本 | FASID |
| 3 | インド | Asia Pacific Disability Rehabilitation Journal |
| 4 | キルギス | Kyrgyz National Association of Disabled People's Organizations |
| 5 | キルギス | Public Movement of Disabled Young People of the Kyrgyzstan |
| 6 | キルギス | Unity of Disabled Youngsters and Independent Association Women Invalids of Kyrgyz Republic |
| 7 | ラオス | VCDPA |
| 8 | ラオス | LDPA |
| 9 | マレーシア | Malaysian Association For the Blind (MAB) |
| 10 | ミャンマー | Eden Centre for Disabled Children |
| 11 | ミャンマー | Yangon Deaf Association |
| 12 | フィリピン | Resources for the Blind Incorporated |
| 13 | タイ | Nakhonpathom Independent Living Center |
| 14 | タイ | Inclusion Japan |

| | | |
|----|---------|-------------------------|
| 15 | ウズベキスタン | World Vision Uzbekistan |
| 16 | ベトナム | Club of Mother |

A. 有効性

(プロジェクト目標関連)

1. プロジェクト開始当初との比較において、APCD が有する障害者支援の地域センターとしての機能は強化されていますか。

| | 非常に強化 | 概ね強化 | 強化されたが、満足はできない | 強化されていない | 分からない | 計 |
|-----|-------|-------|----------------|----------|-------|-----|
| 回答数 | 4 | 6 | 1 | 0 | 4 | 15 |
| % | 25.0 | 37.50 | 6.25 | 0 | 25.0 | 100 |

(成果関連)

2. 行動計画 (Action Plan) は貴組織の活動にとって効果的に作用していますか。

| | 非常に効果的 | 概ね効果的 | 効果的だが、満足はできない | 効果的ではない | 分からない | 計 |
|-----|--------|-------|---------------|---------|-------|-----|
| 回答数 | 7 | 1 | 0 | 1 | 2 | 11 |
| % | 43.75 | 6.25 | 0 | 6.25 | 12.5 | 100 |

3. ワークショップ・研修は貴組織にとって効果的に作用していますか。

| | 非常に効果的 | 概ね効果的 | 効果的だが、満足はできない | 効果的ではない | 分からない | 計 |
|-----|--------|-------|---------------|---------|-------|-----|
| 回答数 | 10 | 2 | 1 | 0 | 1 | 14 |
| % | 62.5 | 12.5 | 6.25 | 0 | 6.25 | 100 |

4. DVDをはじめ様々な情報支援ツールは貴組織の活動に効果的に作用していますか。

| | 非常に効果的 | 概ね効果的 | 効果的だが、満足はできない | 効果的ではない | 分からない | 計 |
|-----|--------|-------|---------------|---------|-------|-----|
| 回答数 | 5 | 8 | 1 | 1 | 0 | 15 |
| % | 31.25 | 50.00 | 6.25 | 6.25 | 0 | 100 |

5. ニュースレターやホームページは情報共有の目的において、効果的に作用していますか。

| | 非常に効果的 | 概ね効果的 | 効果的だが、満足 はできない | 効果的ではない | 分からない | 計 |
|-----|--------|-------|-------------------|---------|-------|-----|
| 回答数 | 4 | 8 | 2 | 1 | 1 | 16 |
| % | 25.0 | 50.0 | 12.5 | 6.25 | 6.25 | 100 |

6. APCD とのコミュニケーション内容、頻度に満足していますか。

| | 非常に満足 | 概ね満足 | やや満足できな い | 満足できない | 分からない | 計 |
|-----|-------|-------|--------------|--------|-------|-----|
| 回答数 | 7 | 5 | 1 | 2 | 0 | 15 |
| % | 43.75 | 31.25 | 6.25 | 12.50 | 0 | 100 |

B. インパクト

7. プロジェクトへの参加によって貴組織に生じたインパクトがありますか。下表の選択肢に当てはまる項目を選択してください。

| インパクト項目 | 回答率 (%) |
|--|---------|
| 新たな活動を開始した・変更した | 37.5 |
| 活動の質が向上した | 56.2 |
| プロジェクトから提供された様々なツールを効果的に使うようになった (DVD など) | 31.2 |
| プロジェクトと作成したツールを独力で作るようになった (DVD など) | 12.5 |
| 組織の活動参加者が増大した | 31.2 |
| 組織の知名度・評判が向上した | 50.0 |
| 外部からの資金援助が増大した | 12.5 |
| メンバーのモチベーションが高まった | 56.2 |
| 新たに関係団体とのネットワークが広がった | 56.2 |
| 既存の関係団体とのネットワークが強化された | 50.0 |

以上

